

---

平成21年度  
県民アンケート調査  
報告書

---

平成21年10月

奈良県



# - 目 次 -

第1章 調査の実施概要-----	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の設計.....	1
3 調査票の配付・回収の状況.....	1
4 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項.....	1
5 回答者の状況.....	4
6 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて.....	7
第2章 調査結果の分析-----	9
1 県民の生活全般について.....	9
1 - 1 現在の暮らし向きの実感.....	9
1 - 2 1年前と比較した暮らし向きの実感.....	13
1 - 3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由.....	17
1 - 4 日頃の生活での悩みや不安の有無.....	20
1 - 5 日頃の生活での悩みや不安の内容.....	24
1 - 6 奈良県の住みやすさの評価.....	26
1 - 7 将来の奈良県での定住意向.....	30
1 - 8 将来的に奈良県に定住したくない理由.....	34
1 - 9 県政情報の入手方法.....	36
2 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について.....	38
2 - 1 県全体の重要度・満足度・ニーズ得点の順位.....	38
2 - 2 県全体の重要度と満足度の関係.....	41
2 - 3 地域別の重要度と満足度の経年比較.....	47
2 - 4 県全体と属性別の重要度・満足度の傾向の比較.....	53
3 県民の仕事に関する意識やニーズについて.....	72
3 - 1 職業.....	72
3 - 2 勤め先の所在地.....	77
3 - 3 県外で働いている理由.....	80
3 - 4 今の仕事を選んだ理由.....	84
3 - 5 仕事に対する満足度.....	86
3 - 6 働いていない人の現在の求職活動の状況.....	92
3 - 7 求職者が働くための条件として重視すること.....	95
3 - 8 定年後の仕事や生活のあり方の意向.....	98
3 - 9 現在の仕事を探すために活用した媒体や機関.....	101
3 - 10 行政が取り組むべき雇用・就労支援対策.....	104

4	県民のまちづくりに関する意識やニーズについて.....	107
4 - 1	地域のまちづくりの評価.....	107
4 - 2	地域で充実してほしい施設.....	124
4 - 3	不安に感じる犯罪.....	126
4 - 4	地域で重要だと思う防犯対策.....	128
4 - 5	地域で取り組んでいる防犯活動.....	130
4 - 6	警察による充実・強化が必要だと思う防犯対策.....	132
4 - 7	日頃から行っている災害等への備え.....	134
4 - 8	地域の生活環境の変化に対する評価.....	135
4 - 9	日頃から心がけている環境への配慮.....	137
4 - 10	地域で景観を損なう要因となっていると思うもの.....	138
4 - 11	行政が取り組むべき景観保全対策.....	140

資料	使用した調査票.....	143
----	--------------	-----

## 第1章 調査の実施概要

---



## 1 調査の目的

---

県民にとって身近な生活に関する事柄についての重要度・満足度のほか、「仕事」や「まちづくり」に関する意識やニーズを把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査の設計

---

調査地域 奈良県全域  
調査対象 県内在住の満20歳以上の男女・個人  
調査標本数 5,000人  
標本抽出法 層化二段無作為抽出法  
調査方法 郵送配付・郵送回収。調査期間内に、はがきによるお礼状兼督促状の配付1回  
調査時期 平成21年5月22日～6月8日

## 3 調査票の配付・回収の状況

---

調査票配付件数 5,000件	〔	回収数(率)	3,110件(62.2%)
		有効回答数(率)*	2,934件(58.7%)

## 4 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項

---

### (1) 標本抽出計画と集計母数(集計対象数)の補正について

今回の調査は、県内を6地域(地域の区分は次項「(2) 地域別、ライフステージ別、職業別の集計区分について」参照)に区分し、各地域から一定の集計標本数の回収を見込むため、各地域の母集団構成比とは異なる標本抽出率に基づいて標本抽出数を設定しました。

そのため、県全体の集計を調査票の実回収数のまま行くと、母集団の小さい地域の集計結果が県全体の集計に反映されすぎることが想定されます。

各地域の母集団構成比を反映した集計とするため、以下の表により、母集団構成比が最も小さい「地域6(南西部)」を基準(補正係数1.00)として、他の地域の実有効回答数に補正係数を乗じた補正後回答数を用いて集計を行っています。

ただし、地域別の集計は、各地域の標本抽出数を設定する段階で補正を行っているため、地域別の実有効回答数をそのまま集計に用いています。

---

\* 「有効回答数」は、「回収数」から白票、調査期間中に県外へ転居された方の回答票、居住市町村不明・無回答の回答票など無効票176件を除いた集計母数対象件数。「有効回答率」は、調査票配付件数に対する「有効回答数」の比率。

図表 標本抽出計画と補正係数及び補正後回答数

	標本抽出計画			地域別 実有効回答数	母集団構成比を反映した補正	
	母集団*	母集団構成比	抽出標本数 (調査票配付数)		補正係数	補正後 有効回答数
地域1(北部)	566,754人	49.14%	1,640件	991件	4.61	4,570件
地域2(西部)	120,803人	10.48%	675件	402件	2.42	974件
地域3(中部)	307,055人	26.63%	1,080件	628件	3.94	2,476件
地域4(東部)	84,584人	7.33%	600件	353件	1.93	682件
地域5(南東部)	39,557人	3.43%	510件	282件	1.13	319件
地域6(南西部)	34,478人	2.99%	495件	278件	1.00	278件
合計	1,153,231人	100%	5,000件	2,934件	---	9,299件

(2) 地域別、ライフステージ別、職業別の集計区分について

調査結果の集計・分析は、県民にとって身近な生活に関する事柄の重要度と満足度のほか、「仕事」や「まちづくり」に関する意識やニーズについて、「地域別」での傾向、回答者の年代や家族構成等の要素に基づく「ライフステージ別」での傾向、県民の働き方に基づく「職業別」での傾向を明らかにすることを特に重視しています。

地域別の集計については、39市町村個々の結果を39市町村間で比較することは困難なため、標本抽出計画で設定した6地域ごとに比較を行っています。また、ライフステージ別や職業別の集計についても、以下のように集計区分を整理・集約して行っています。

地域の区分

- 地域1(北部).....奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町
- 地域2(西部).....平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
- 地域3(中部).....大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町
- 地域4(東部).....桜井市・宇陀市・曽爾村・御杖村
- 地域5(南東部)...吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
- 地域6(南西部)...五條市・野迫川村・十津川村

ライフステージの区分と区分の設定条件

- 若者...20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者
- 夫婦...20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者
- 育児期...小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者
- 教育期前期...小・中学生、高校生の子どものいる世帯の回答者
- 教育期後期...専門学校生・短大生・大学生(院生)の子どものいる世帯の回答者
- 単身高齢者...65歳以上の単身世帯の回答者
- 高齢者夫婦...65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

職業の区分と区分の設定条件

- 農林漁業...「農林漁業の自営業・家族従業員」の回答者
  - 自営業...「商工・サービス業の自営業・家族従業員」と「その他自営業」の回答者
  - 正規社員等...「正規の職員・従業員」の回答者
  - 非正規社員等...「契約社員・嘱託」「派遣社員」「パート・アルバイト」の回答者
  - 企業などの役員...「企業などの役員」の回答者
  - 家事専業・無職...「家事専業・家事手伝い」と「無職」の回答者
  - 学生・その他...「企業などの役員」「学生」「その他」の回答者
- ただし、「学生・その他」について、有業者を対象とする設問の集計では、上記の集計区分から「企業などの役員」の回答者は切り離している。

\* 平成20年3月31日現在住民基本台帳登録20歳以上人口



【県内地域区分図】



### (3) 補正前回答件数に基づく調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、調査結果（標本測定値）から母集団の意識や課題、要望を推定することができます。ただ、標本（調査対象）抽出の際に生じる標本誤差を考慮したうえで調査結果を分析し、また母集団の意識や課題、要望を推定する必要があります。

世論調査では、信頼度95%（同じ調査を標本（調査対象）を変えて行った場合、100回中95回までは同様の結果が得られる（5回程度は異なる結果が出ることは許容される）と考えてもよい）の水準を求めるのが一般的とされています。

これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差は以下の数式で求められます。

$$= \pm 2 \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

：標本誤差  
 N：母集団数（本調査では1,153,231人）  
 P：標本測定値（50%のときに最大）

± 2：信頼度95%の時の信頼係数1.96の近似値  
 n：標本数（回収数。本調査では有効回答2,934件）

上記の式に必要な数値をあてはめて計算すると、「（標本誤差）= 2.56」（小数第3位四捨五入）という数値が得られます。このことから、今回と同じ調査を調査対象を変えて行った場合、ある設問のある選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は±2.56%（47.4%～52.6%）の範囲内であると考えても間違いはないといえます。

## 5 回答者の状況

### (1) 地域

	実有効回答数	構成比	地域名
奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町	991	33.8%	地域1 (北部)
平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町	402	13.7%	地域2 (西部)
大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町	628	21.4%	地域3 (中部)
桜井市・宇陀市・曽爾村・御杖村	353	12.0%	地域4 (東部)
吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村	282	9.6%	地域5 (南東部)
五條市・野迫川村・十津川村	278	9.5%	地域6 (南西部)
合計	2,934	100.0%	

## (2) 性

	実有効回答数		補正後 有効回答数	
	回答数	構成比	回答数	構成比
男性	1,371	46.7%	4,340	46.7%
女性	1,487	50.7%	4,714	50.7%
無回答	76	2.6%	244	2.6%
合計	2,934	100.0%	9,299	100.0%

## (3) 年齢

	実有効回答数		補正後 有効回答数	
	回答数	構成比	回答数	構成比
20歳代	376	12.8%	1,175	12.6%
30歳代	390	13.3%	1,216	13.1%
40歳代	426	14.5%	1,329	14.3%
50歳代	480	16.4%	1,561	16.8%
60歳代	537	18.3%	1,705	18.3%
70歳以上	654	22.3%	2,081	22.4%
無回答	71	2.4%	231	2.5%
合計	2,934	100.0%	9,299	100.0%

## (4) 婚姻状況

	実有効回答数		補正後 有効回答数	
	回答数	構成比	回答数	構成比
未婚	531	18.1%	1,640	17.6%
既婚	1,964	66.9%	6,292	67.7%
離婚・死別	329	11.2%	1,023	11.0%
無回答	110	3.7%	344	3.7%
合計	2,934	100.0%	9,299	100.0%

## (5) 世帯構成

	実有効回答数		補正後 有効回答数	
	回答数	構成比	回答数	構成比
単身	191	6.5%	595	6.4%
夫婦のみ	672	22.9%	2,168	23.3%
2世代家族	1,384	47.2%	4,482	48.2%
3世代家族	542	18.5%	1,593	17.1%
その他	53	1.8%	164	1.8%
無回答	92	3.1%	297	3.2%
合計	2,934	100.0%	9,299	100.0%

## (6) 職業

	実有効回答数		補正後 有効回答数	
	回答数	構成比	回答数	構成比
農林業の自営業・家族従業員	115	3.9%	280	3.0%
商工・サービス業の自営業・ 家族従業員	273	9.3%	795	8.5%
その他自営業	56	1.9%	167	1.8%
企業などの役員	48	1.6%	155	1.7%
正規の職員・従業員	698	23.8%	2,244	24.1%
契約社員・嘱託	114	3.9%	383	4.1%
派遣社員	23	0.8%	71	0.8%
パート・アルバイト(学生を 除く)	298	10.2%	950	10.2%
家事専業・家事手伝い	485	16.5%	1,604	17.2%
無職	567	19.3%	1,829	19.7%
学生	80	2.7%	251	2.7%
その他	71	2.4%	231	2.5%
無回答	106	3.6%	338	3.6%
合計	2,934	100.0%	9,299	100.0%

## (7) 勤め先の所在地

	実有効回答数		補正後 有効回答数	
	回答数	構成比	回答数	構成比
居住している市町村	643	39.6%	1,878	37.2%
県内の他の市町村	449	27.6%	1,364	27.0%
県外	428	26.3%	1,475	29.2%
無回答	105	6.5%	329	6.5%
合計	1,625	100.0%	5,046	100.0%

(8) 子どもの成長段階 (複数回答)\*

	実有効回答数		補正後 有効回答数	
	回答数	構成比	回答数	構成比
3歳以下	172	5.9%	573	6.2%
4歳以上で小学校入学前	151	5.1%	500	5.4%
小学生	315	10.7%	989	10.6%
中学生	208	7.1%	634	6.8%
高校生	226	7.7%	703	7.6%
専門学校生・短大生・大学生 (院生)	243	8.3%	758	8.2%
その他	201	6.9%	632	6.8%
対象者数	2,934	100.0%	9,299	100.0%

(9) ライフステージ (複数回答)\*

	実有効回答数		補正後 有効回答数	
	回答数	構成比	回答数	構成比
若者	355	12.1%	1,096	11.8%
夫婦	286	9.7%	887	9.5%
育児期	269	9.2%	888	9.5%
教育期前期	563	19.2%	1,756	18.9%
教育期後期	243	8.3%	758	8.2%
単身高齢者	99	3.4%	285	3.1%
高齢者夫婦	386	13.2%	1,281	13.8%
対象者数	2,934	100.0%	9,299	100.0%

(10) 居住地域の状況

	実有効回答数		補正後 有効回答数	
	回答数	構成比	回答数	構成比
商業地域	118	4.0%	412	4.4%
住宅地域	968	33.0%	3,554	38.2%
郊外の住宅地域	901	30.7%	3,041	32.7%
農村地域	496	16.9%	1,411	15.2%
山間地域	406	13.8%	737	7.9%
その他	12	0.4%	36	0.4%
無回答	33	1.1%	107	1.2%
合計	2,934	100.0%	9,299	100.0%

\* 「単身高齢者」「高齢者夫婦」でいう「高齢者」とは、65歳以上の回答者を指す。65歳以上の実有効回答者数は895人、構成比は30.5%である。

\* 就学前・就学中の子どもの有無を確認する設問構成としなかったため、「その他」の回答には、「子どもはいない」「孫」「成人した」など、選択肢に該当する年齢の子どもがいないことを示す回答となっている。

## 6 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

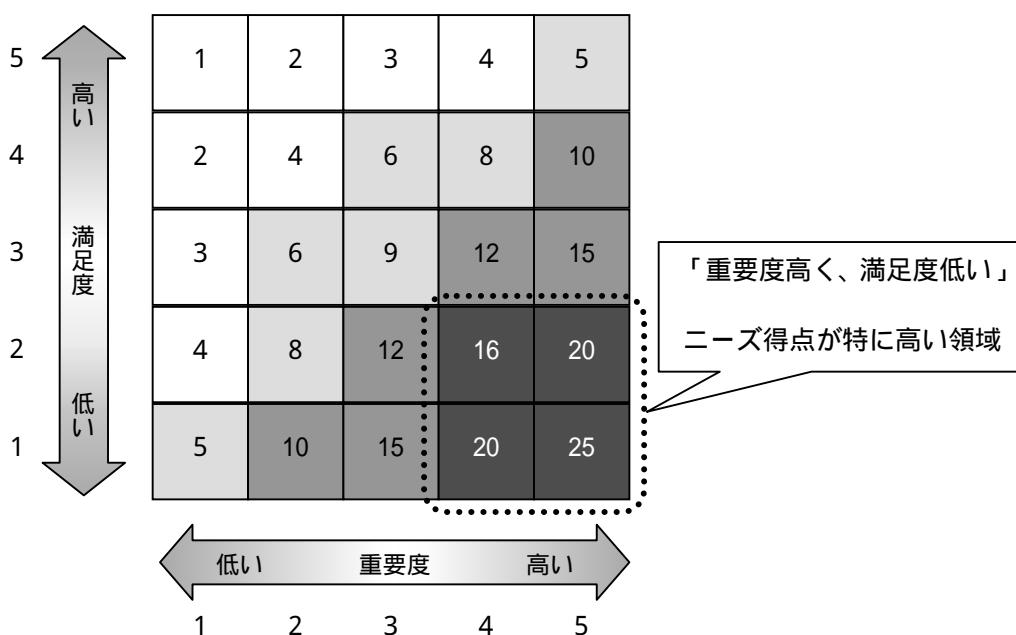
- 問1～問8、問10～問13、問15～問19、問21～問26、問28～問38（設問番号は、巻末「参考資料 使用した調査票」参照）は百分率（％）による集計で、小数第2位を四捨五入しています。単数回答設問の回答比率の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合があります。また、複数回答設問は当該設問に回答すべき人数を集計母数としており、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 問9、問14、問20、問27は加重平均（点）による集計で、小数第3位を四捨五入しています。加重平均は、「（選択肢の回答者数 × 選択肢ごとの配点（5点～1点））÷ 無回答者を除く当該設問の回答者数」により求められます。

図表 加重平均の集計結果の見方

選択肢の配点		1点	2点	3点	4点	5点
設問番号・ 選択肢	問9 - 重要度	まったく重要ではない	さほど重要ではない	どちらともいえない	かなり重要	きわめて重要
	問9 - 満足度	ほとんど満たされていない	あまり満たされていない	どちらともいえない	かなり満たされている	十分満たされている
	問14	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあ満足している	満足している
	問20	思わない	あまり思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
	問27	悪くなった	どちらかといえば悪くなった	どちらともいえない	どちらかといえばよくなった	よくなった

- 問9の重要度と満足度の関係を指標化し分析するため、「ニーズ得点」を算出しています。ニーズ得点は、「重要度 × 6 - 満足度」により求められます。ニーズ得点は重要度が高く、満足度の低い項目ほど高くなります（色の濃いエリア）。

図表 重要度と満足度からみたニーズ得点の配点





## 第2章 調査結果の分析

---

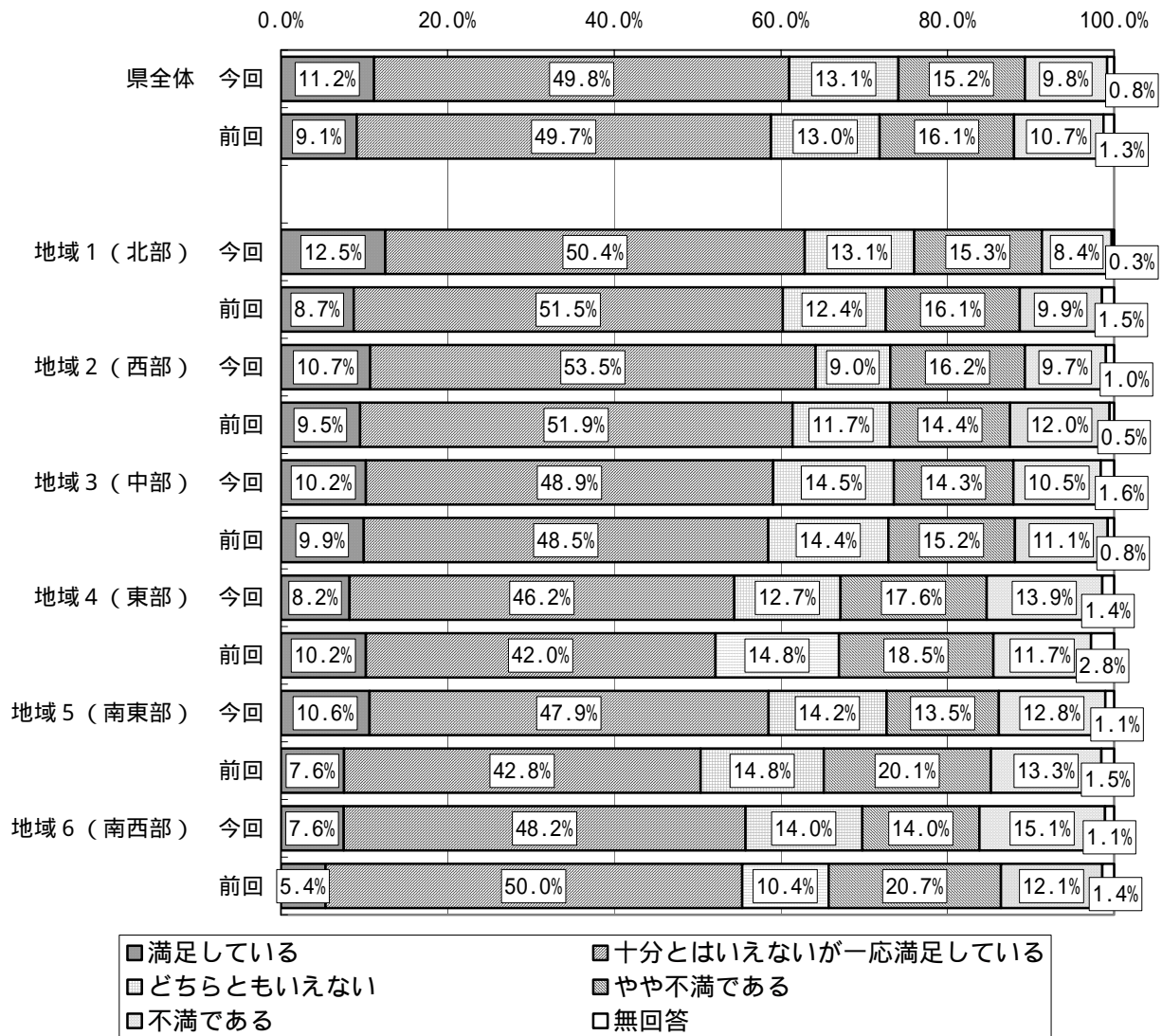




# 1 県民の生活全般について

## 1 - 1 現在の暮らし向きの実感

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答 / 県全体、地域別）



### 県全体

現在の暮らし向きの実感については、61.0%が「満足」（「満足している」＋「十分とはいえないが一応満足している」）しており、「不満」（「不満である」＋「やや不満である」）を抱えている人は25.0%となっています。

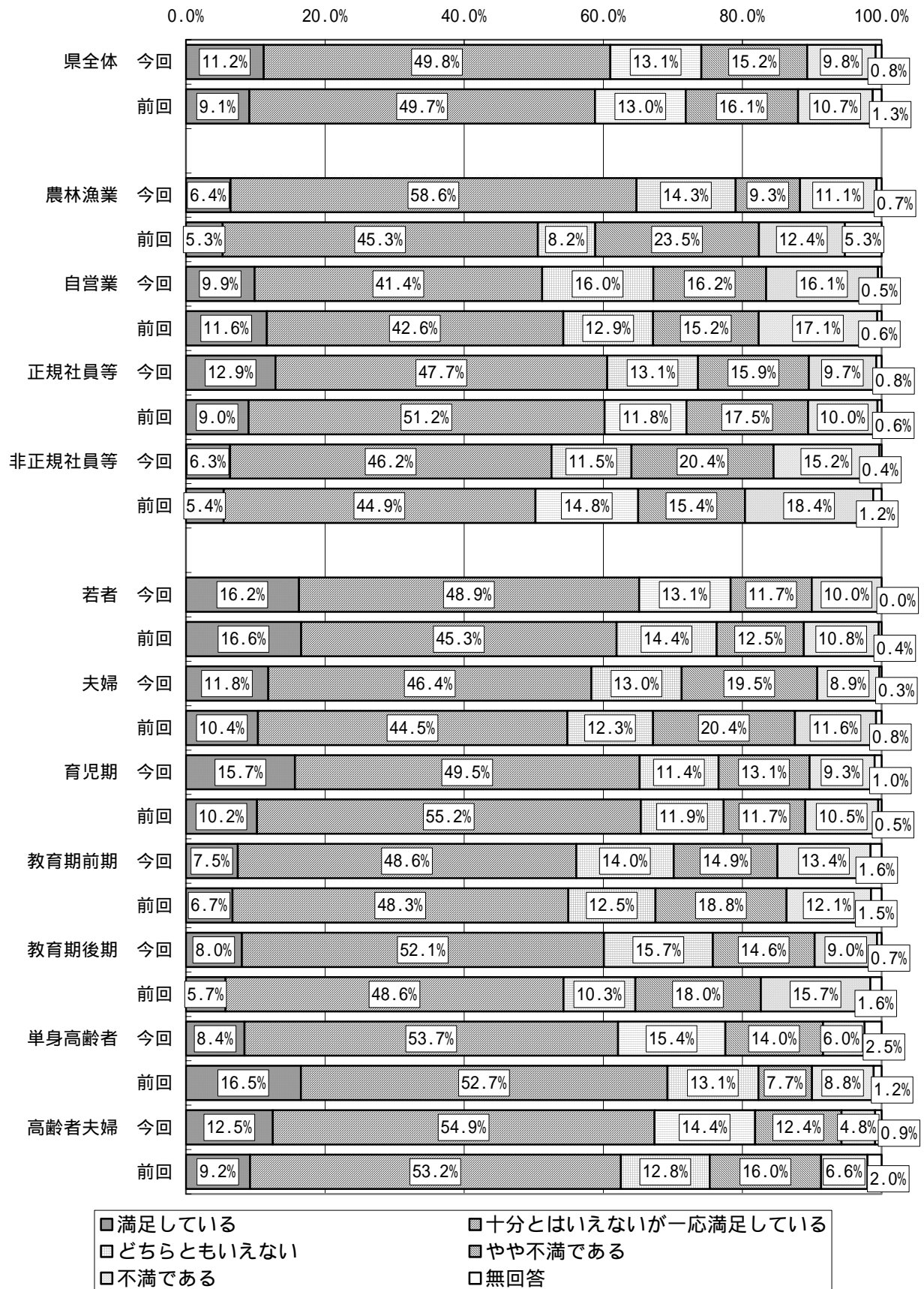
前回と比較すると、「満足」している人は58.8%から2.2ポイントの増加、「不満」を抱えている人は26.8%から1.8ポイントの減少にとどまり、大きな差はみられません。

### 地域別

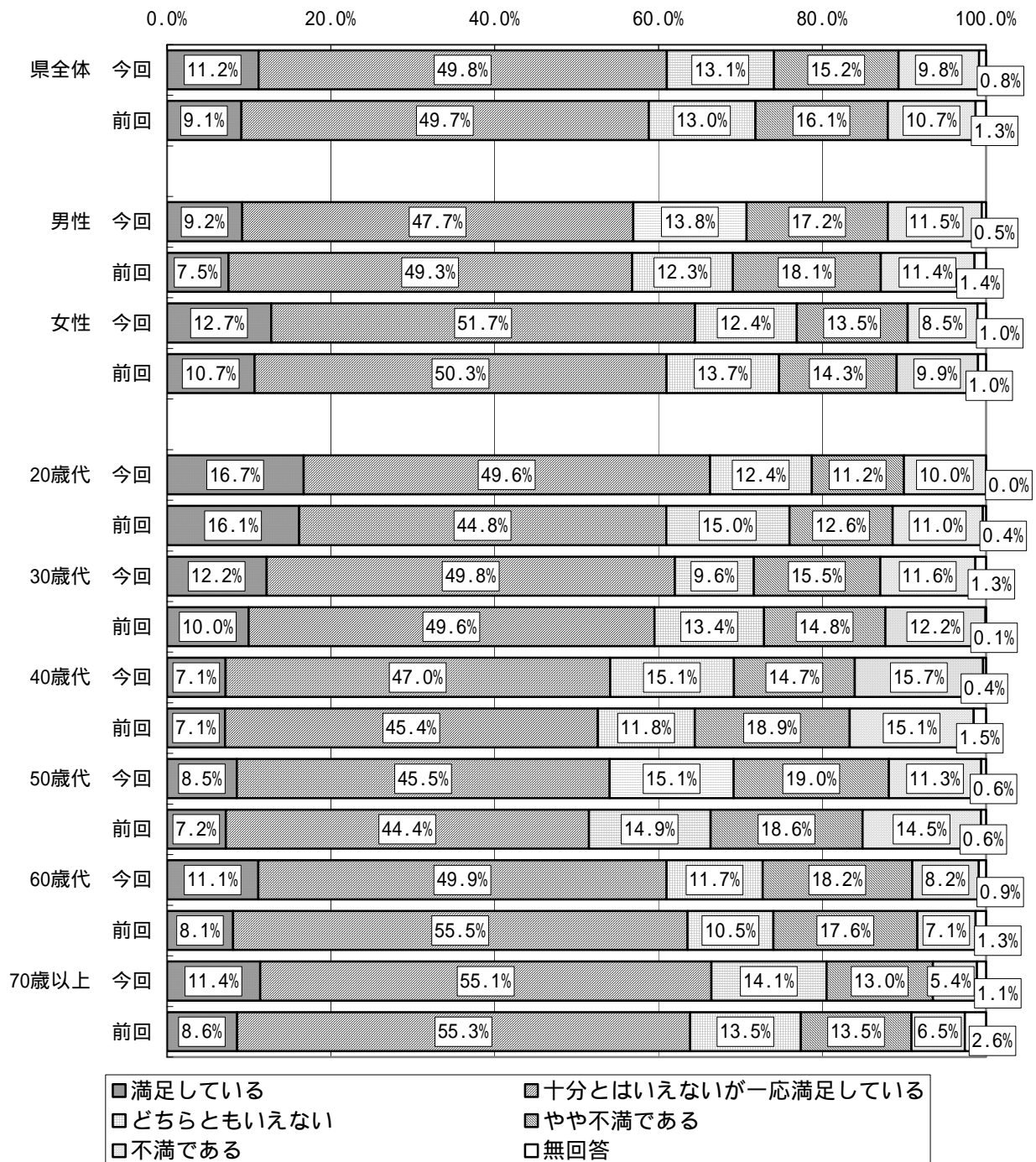
「満足」している人が最も多いのは「地域2 (西部)」（64.2%）で、逆に「不満」を抱えている人が最も多いのは「地域4 (東部)」（31.5%）となっています。

前回と比較すると、大きな差ではない地域もありますが、総じて「満足」している人は増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答 / 県全体、職業別、ライフステージ別）



図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答 / 県全体、性別、年齢別）



#### 職業別

「満足」している人が最も多いのは「農林漁業」(65.0%)で、逆に、「不満」を抱いている人が最も多いのは「非正規社員等」(35.6%)となっています。

前回と比較すると、「不満」を抱いている人は、「農林漁業」では35.9%から20.4%へと15.5ポイント減少していますが、他の職業では大きな差はみられません。

#### ライフステージ別

「不満」を抱いている人は、「夫婦」では28.4%、「教育期前期」では28.3%で、他のライフステージより「不満」を抱いている人が多くなっています。

前回と比較すると、「単身高齢者」では、「満足」している人が69.2%から62.1%へと7.1ポイント減少し、「不満」を抱いている人が16.5%から20.0%へと3.5ポイント増加しています。

#### 性別

「満足」している人は、「女性」(64.4%)が「男性」(56.9%)に比べて多くなっています。

前回と比較すると、「満足」している人は、「女性」では61.0%から3.4ポイント増加しています。

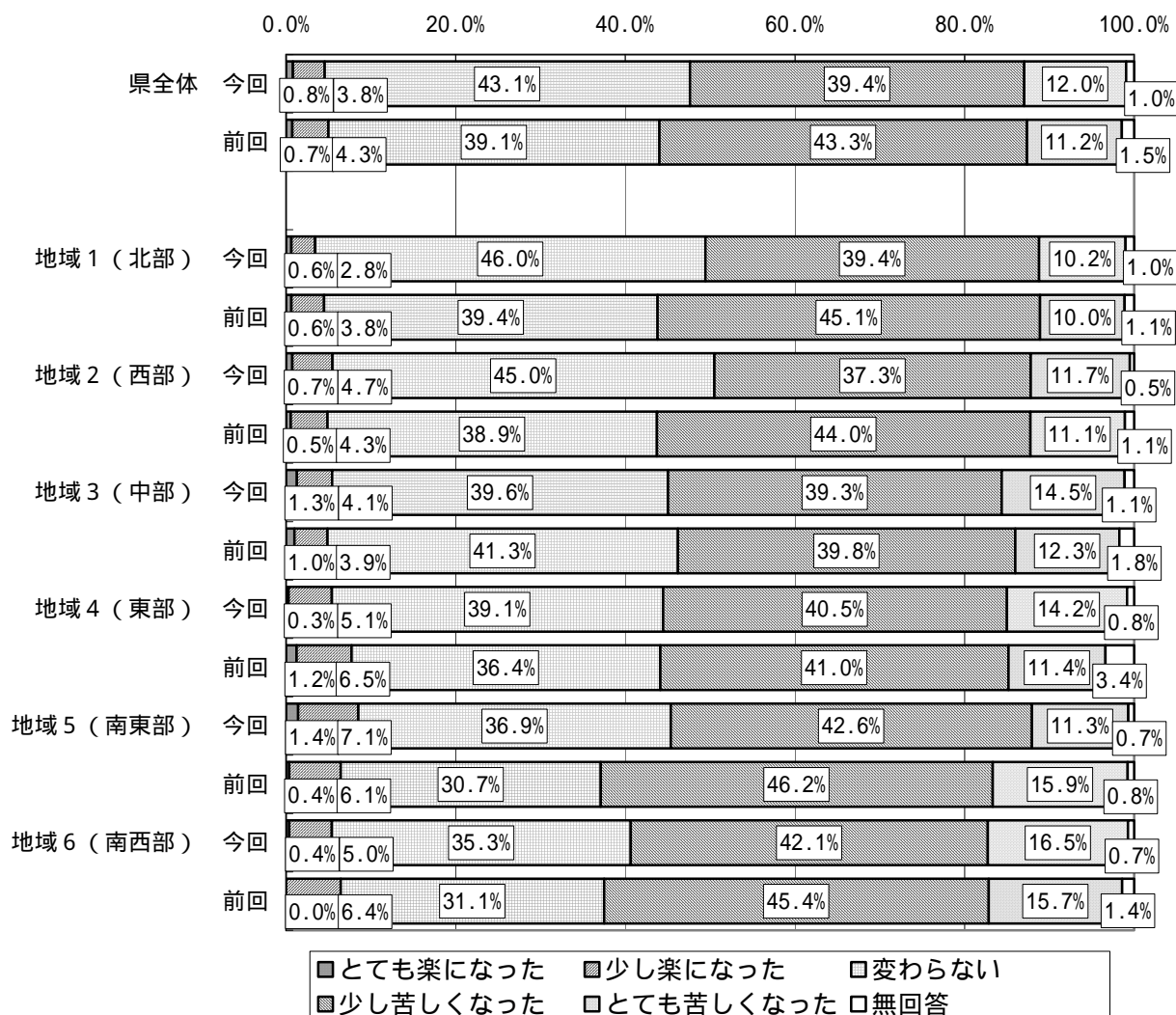
#### 年齢別

「不満」を抱いている人は「40歳代」と「50歳代」では30%以上を占めており、他の年齢層に比べて「不満」を抱いている人が多くなっています。

前回と比較すると、大きな差ではない年齢層もありますが、「60歳代」以外の年齢層では、「満足」している人が増加しています。

## 1 - 2 1年前と比較した暮らし向きの実感

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（単数回答／県全体、地域別）



### 県全体

1年前と比較した暮らし向きの実感については、51.4%が「苦しくなった」（「とても苦しくなった」＋「少し苦しくなった」）と感じています。

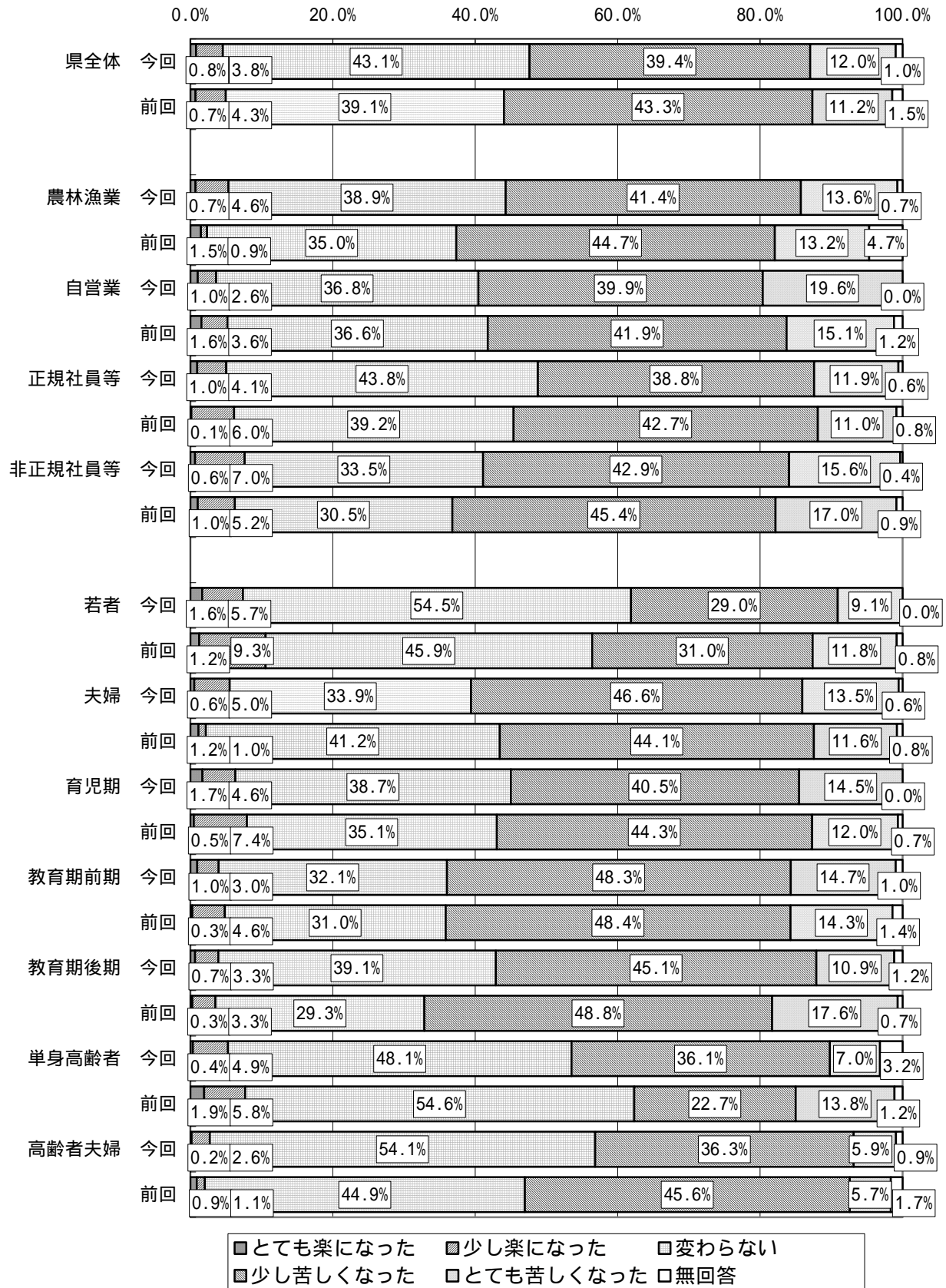
前回と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は54.5%から3.1ポイント減少しています。また、「変わらない」は4.0ポイント増加しています。

### 地域別

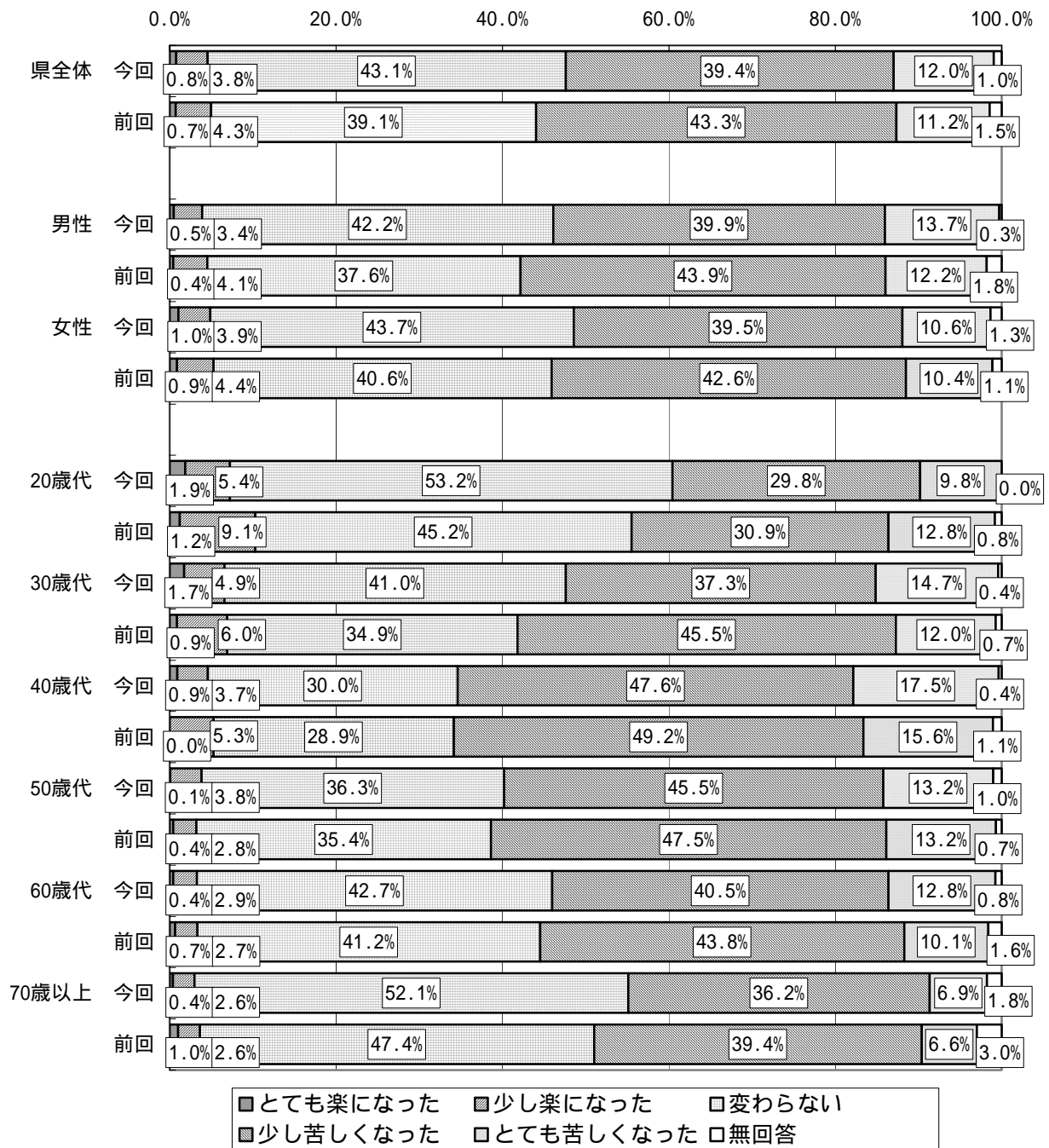
「苦しくなった」と感じている人は、「地域3（中部）」「地域4（東部）」「地域5（南東部）」「地域6（南西部）」では半数以上を占めています。

前回と比較すると、「地域3（中部）」と「地域4（東部）」では「苦しくなった」と感じている人の増加がみられますが、2ポイント前後と大幅な増加ではありません。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（単数回答／県全体、職業別、ライフステージ別）



図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（単数回答／県全体、性別、年齢別）



#### 職業別

「苦しくなった」と感じている人は「自営業」(59.5%)で最も多くなっています。前回と比較すると、「苦しくなった」と感じている人「自営業」では増加していますが、それ以外の職業では減少しています。

#### ライフステージ別

「夫婦」「育児期」「教育期前期」「教育期後期」では半数以上が「苦しくなった」と感じており、特に「夫婦」と「教育期前期」では60%以上を占めています。

前回と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、「単身高齢者」では6.6ポイント、「夫婦」では4.4ポイントそれぞれ増加しています。また、「変わらない」は、「高齢者夫婦」では9.2ポイント、「若者」では8.6ポイントそれぞれ増加しています。

#### 性別

「苦しくなった」と感じている人は、「男性」(53.6%)が「女性」(50.1%)に比べて多くなっています。

前回と比較すると、男性では「変わらない」が4.6ポイント増加しています。

#### 年齢別

「苦しくなった」と感じている人は「40歳代」が65.1%で最も多く、「50歳代」でも58.7%となっており、「40歳代」と「50歳代」で「苦しくなった」と感じている人が特に多くなっています。

前回と比較すると、「変わらない」は、「20歳代」では8.0ポイント、「30歳代」では6.1ポイントそれぞれ増加しています。大きな差ではない年齢層もありますが、「苦しくなった」と感じている人は総じて減少しています。



### 1 - 3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由

図表 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由（複数回答／県全体、地域別、職業別、ライフステージ別）

		少給料 料や した から 増え ない、 また は減	ら税 金や 保 険料 の支 払い が増 えたか	日家 族の 生活 費が 増え たか ら	出家 が増 えた から 支	減利 率の 低下 など によ り預 貯金 が目	教育 にか かる 費用 が増 えた から	減失 業、 退職、 病気 など で働 き手 が	が結 婚、 出産、 病気 など 特別 な出 費	が家 業や 商 売な どに かか る営 業経 費	そ 他	
県全体	今回	<b>69.6%</b>	<b>40.1%</b>	<b>31.3%</b>	27.2%	24.4%	21.7%	20.5%	16.5%	9.2%	7.2%	
	前回	60.9%	52.1%	52.8%	32.2%	20.8%	21.7%	16.2%	16.7%	8.3%	6.2%	
地域別	地域1（北部）	今回	<b>68.6%</b>	<b>41.8%</b>	<b>32.6%</b>	29.5%	26.5%	24.6%	18.3%	16.5%	9.0%	6.9%
		前回	63.0%	55.5%	53.0%	31.9%	21.3%	21.9%	15.8%	15.7%	8.7%	6.2%
	地域2（西部）	今回	<b>77.7%</b>	<b>33.0%</b>	<b>30.5%</b>	24.9%	26.9%	21.8%	<b>21.8%</b>	18.3%	6.1%	6.6%
		前回	56.7%	46.3%	54.7%	29.1%	18.7%	24.6%	13.8%	15.8%	4.4%	6.4%
	地域3（中部）	今回	<b>67.5%</b>	<b>38.2%</b>	<b>29.6%</b>	24.0%	20.7%	17.8%	<b>24.0%</b>	16.6%	8.9%	9.5%
		前回	58.8%	50.9%	51.7%	33.3%	22.5%	22.5%	16.9%	18.7%	7.1%	4.5%
	地域4（東部）	今回	<b>71.0%</b>	<b>48.2%</b>	<b>30.1%</b>	29.0%	23.3%	18.7%	21.2%	15.5%	12.4%	3.1%
		前回	56.5%	41.8%	53.5%	34.7%	15.9%	14.7%	18.2%	17.6%	10.6%	8.2%
	地域5（南東部）	今回	<b>70.4%</b>	<b>40.8%</b>	<b>32.2%</b>	24.3%	21.7%	20.4%	17.8%	13.8%	9.2%	4.6%
		前回	67.1%	53.0%	49.4%	32.9%	20.1%	20.1%	20.7%	20.7%	15.2%	9.8%
	地域6（南西部）	今回	<b>73.0%</b>	<b>35.6%</b>	<b>32.5%</b>	28.2%	22.7%	21.5%	<b>19.6%</b>	16.0%	16.0%	7.4%
		前回	59.6%	50.9%	53.2%	31.0%	18.7%	19.3%	14.6%	14.6%	11.1%	8.8%
職業別	農林漁業	今回	<b>66.2%</b>	<b>46.8%</b>	22.1%	35.1%	24.0%	9.7%	29.2%	11.0%	<b>42.2%</b>	14.9%
		前回	69.5%	55.8%	52.8%	36.0%	20.3%	14.2%	8.6%	11.7%	39.1%	5.1%
	自営業	今回	<b>83.2%</b>	<b>39.8%</b>	24.4%	22.3%	17.6%	14.5%	11.5%	12.9%	<b>39.4%</b>	7.9%
		前回	79.5%	47.1%	42.1%	27.4%	14.0%	17.6%	12.2%	17.9%	37.8%	4.0%
	正規社員等	今回	<b>85.6%</b>	<b>41.9%</b>	<b>32.7%</b>	28.6%	20.3%	32.6%	10.4%	11.5%	2.1%	2.7%
		前回	73.2%	50.5%	58.7%	44.5%	15.5%	34.5%	9.8%	11.3%	2.7%	5.6%
非正規社員等	今回	<b>86.1%</b>	<b>34.7%</b>	27.5%	<b>31.6%</b>	22.7%	24.7%	22.5%	19.2%	3.2%	4.7%	
	前回	76.3%	51.7%	55.7%	38.0%	14.9%	30.8%	17.6%	14.6%	1.2%	6.2%	
ライフステージ別	若者	今回	<b>78.2%</b>	<b>40.0%</b>	<b>23.9%</b>	23.4%	11.0%	13.2%	13.4%	9.1%	4.1%	10.0%
		前回	60.0%	50.2%	51.5%	41.7%	11.7%	9.7%	17.0%	12.1%	2.7%	6.8%
	夫婦	今回	<b>71.6%</b>	<b>38.3%</b>	26.3%	<b>31.8%</b>	25.8%	3.8%	30.1%	24.8%	8.8%	2.8%
		前回	64.5%	43.6%	42.6%	35.1%	22.3%	2.7%	19.8%	21.1%	13.4%	3.7%
	育児期	今回	<b>76.8%</b>	<b>44.5%</b>	<b>64.8%</b>	36.3%	13.9%	44.3%	17.6%	23.0%	5.1%	3.9%
		前回	62.4%	45.9%	79.0%	38.6%	9.3%	36.9%	9.6%	19.5%	9.0%	4.6%
	教育期前期	今回	<b>79.2%</b>	30.7%	<b>38.6%</b>	32.9%	17.5%	<b>68.2%</b>	12.7%	8.9%	6.5%	3.6%
		前回	68.0%	50.1%	70.5%	37.5%	11.4%	71.6%	9.3%	8.6%	7.6%	2.9%
	教育期後期	今回	<b>74.8%</b>	<b>36.0%</b>	28.0%	33.4%	23.3%	<b>61.4%</b>	12.7%	10.4%	12.5%	5.4%
		前回	70.4%	49.6%	56.7%	33.9%	16.3%	53.5%	11.4%	16.3%	12.0%	2.7%
	単身高齢者	今回	<b>33.3%</b>	<b>40.7%</b>	17.1%	16.3%	<b>30.9%</b>	4.1%	12.2%	19.5%	0.0%	22.0%
		前回	15.8%	47.4%	8.4%	15.8%	14.7%	0.0%	15.8%	16.8%	0.0%	23.2%
高齢者夫婦	今回	<b>41.2%</b>	<b>52.9%</b>	28.5%	19.8%	<b>38.8%</b>	0.2%	17.4%	20.3%	4.1%	14.4%	
	前回	40.4%	61.2%	39.0%	17.5%	34.6%	0.0%	11.8%	17.2%	10.7%	12.8%	

（注）集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは前回よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

図表 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由（複数回答／県全体、性別、年齢別）

		少給料や収益が増えない、または減少したから	税金や保険料の支払いが増えたから	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから	家や自動車、家電などにかかる支出が増えたから	利率の低下などにより預貯金が目減りしたから	教育にかかる費用が増えたから	失業、退職、病気などで働き手が減ったから	結婚、出産、病気など特別な出費があつたから	家業や商売などにかかる営業経費が増えたから	その他	
県全体		今回	<b>69.6%</b>	<b>40.1%</b>	<b>31.3%</b>	27.2%	24.4%	21.7%	20.5%	16.5%	9.2%	7.2%
		前回	60.9%	52.1%	52.8%	32.2%	20.8%	21.7%	16.2%	16.7%	8.3%	6.2%
性別	男性	今回	<b>73.8%</b>	<b>42.2%</b>	<b>28.6%</b>	28.5%	26.7%	18.9%	20.4%	14.0%	9.8%	6.3%
	前回	62.9%	54.4%	49.9%	32.5%	20.3%	18.2%	15.3%	14.5%	11.2%	5.8%	
性別	女性	今回	<b>66.3%</b>	<b>38.2%</b>	<b>34.2%</b>	26.0%	21.9%	24.7%	20.8%	19.0%	8.0%	8.3%
	前回	59.0%	49.6%	55.3%	31.8%	21.2%	24.9%	17.0%	18.8%	5.8%	6.6%	
年齢別	20歳代	今回	<b>75.3%</b>	<b>38.9%</b>	26.0%	<b>28.2%</b>	9.9%	12.7%	13.8%	14.0%	3.7%	9.9%
		前回	61.4%	51.0%	53.3%	44.1%	11.1%	9.2%	16.4%	16.2%	2.5%	6.5%
	30歳代	今回	<b>82.0%</b>	<b>42.7%</b>	<b>49.8%</b>	32.6%	12.8%	33.9%	<b>19.3%</b>	17.1%	7.0%	5.7%
		前回	70.4%	49.8%	69.0%	38.9%	8.6%	35.4%	12.8%	15.8%	6.7%	3.7%
	40歳代	今回	<b>85.5%</b>	32.1%	<b>33.7%</b>	29.9%	16.7%	<b>57.1%</b>	11.5%	8.6%	9.1%	2.4%
		前回	72.2%	51.2%	67.2%	41.0%	13.5%	61.9%	10.8%	8.3%	7.7%	2.9%
	50歳代	今回	<b>78.1%</b>	<b>37.1%</b>	26.1%	<b>27.3%</b>	25.3%	21.6%	23.3%	20.7%	9.8%	3.3%
		前回	74.5%	48.0%	48.3%	35.7%	22.7%	17.7%	18.8%	18.6%	11.1%	5.1%
	60歳代	今回	<b>65.2%</b>	<b>42.1%</b>	26.1%	25.6%	32.3%	2.6%	<b>34.4%</b>	16.8%	11.8%	7.8%
		前回	53.6%	48.2%	42.1%	22.4%	31.1%	3.3%	23.7%	23.4%	12.1%	6.5%
	70歳以上	今回	<b>40.9%</b>	<b>48.3%</b>	30.2%	22.1%	<b>38.1%</b>	3.9%	16.6%	20.7%	9.5%	15.4%
		前回	34.3%	63.5%	40.0%	18.8%	28.7%	1.2%	13.7%	16.6%	6.6%	12.6%

（注）集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは前回よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

### 県全体

1年前と比較して暮らし向きが「苦しくなった」と実感している人に対して、その理由をたずねたところ、「給料や収益が増えない、または減少したから」（69.6%）が最も多く、以下、「税金や保険料の支払いが増えたから」（40.1%）、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」（31.3%）と続いています。

前回と比較すると、「給料や収益が増えない、または減少したから」は60.9%から8.7ポイント増加しています。また、上位3項目は前回と同じ項目となっています。

### 地域別

「地域4（東部）」と「地域6（南西部）」では「家業や商売などにかかる営業経費が増えたから」が10%を超えており、他の地域に比べて多くなっています。

前回と比較すると、「給料や収益が増えない、または減少したから」は、「地域2（西部）」「地域4（東部）」「地域6（南西部）」では10ポイント以上の大幅な増加となっています。

### 職業別

職業に関係なく、上位2項目は「給料や収益が増えない、または減少したから」と「税金や保険料の支払いが増えたから」ですが、これらに続いて、「農林漁業」と「自営業」では「家業や商売などにかかる営業経費が増えたから」となっています。

前回と比較すると、「給料や収益が増えない、または減少したから」は、「正規社員等」では12.4ポイント、「非正規社員等」では9.8ポイント増加しており、他の職業に比べて増加の幅が大きくなっています。

### ライフステージ別

「若者」「夫婦」「育児期」「教育期前期」「教育期後期」では「給料や収益が増えない、または減少したから」、「単身高齢者」と「高齢者夫婦」では「税金や保険料の支払いが増えたから」がそれぞれ最も多くなっており、ライフステージによって主な理由に違いがみられます。

前回と比較すると、「教育期後期」では「教育にかかる費用が増えたから」の増加の幅が最も大きくなっています。

### 性別

上位3項目については、男女ともに「県全体」の上位3項目と違いはありません。

前回と比較すると、男女ともに「給料や収益が増えない、または減少したから」の増加の幅が特に大きくなっていますが、このほかに、「男性」では「利率の低下などにより預貯金が目減りしたから」や「失業、退職、病気などで働き手が減ったから」の増加の幅も大きくなっています。

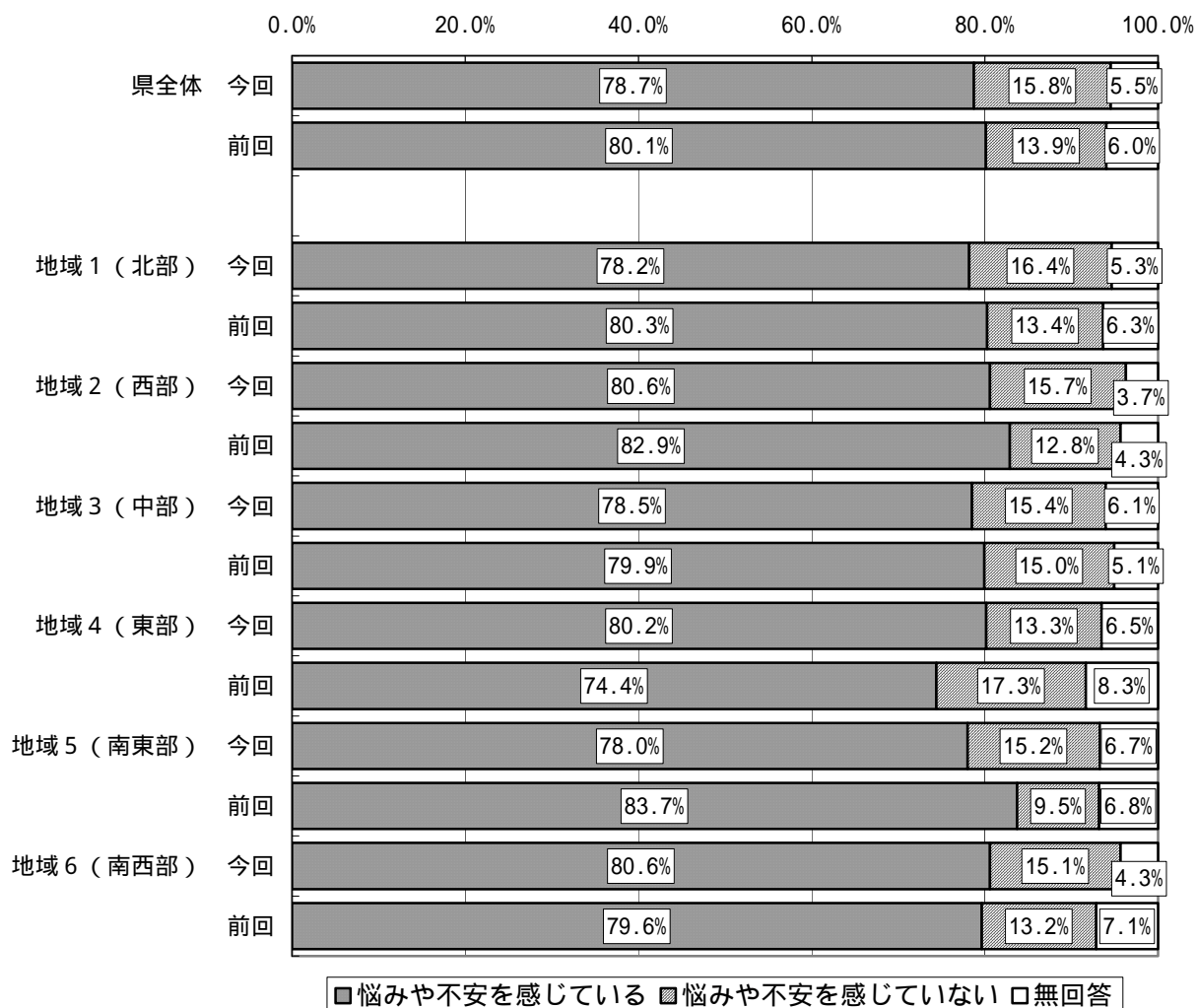
### 年齢別

「40歳代」では「教育にかかる費用が増えたから」が57.1%と突出しています。また、「利率の低下などにより預貯金が目減りしたから」は、年齢層が高いほど多い傾向となっています。

前回と比較すると、「50歳代」以外では「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多く増加しています。

## 1 - 4 日頃の生活での悩みや不安の有無

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答 / 県全体、地域別）



### 県全体

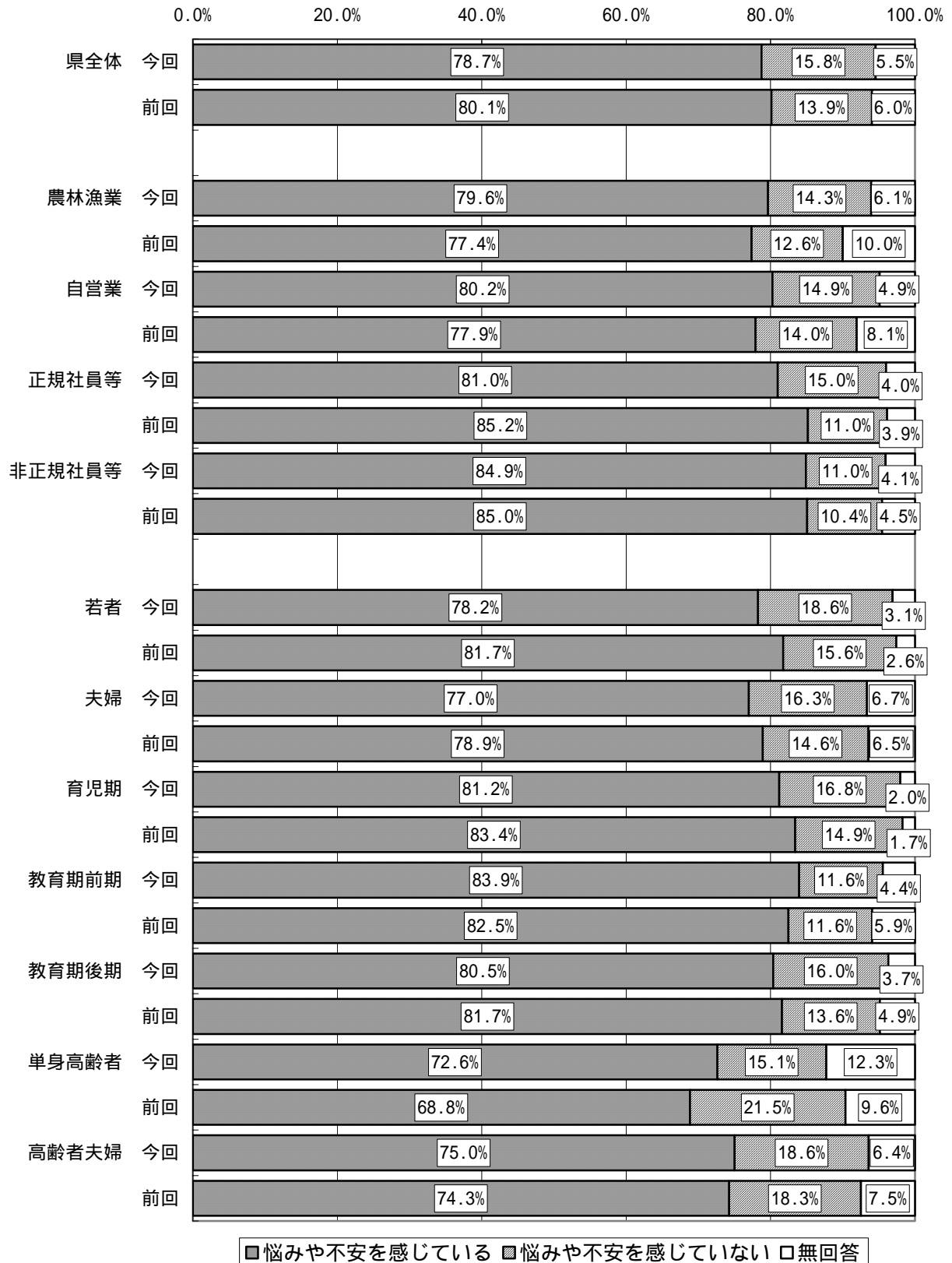
日頃の生活での悩みや不安の有無については、78.7%が「悩みや不安を感じている」ことがあると回答しており、前回の80.1%と大きな差はありません。

### 地域別

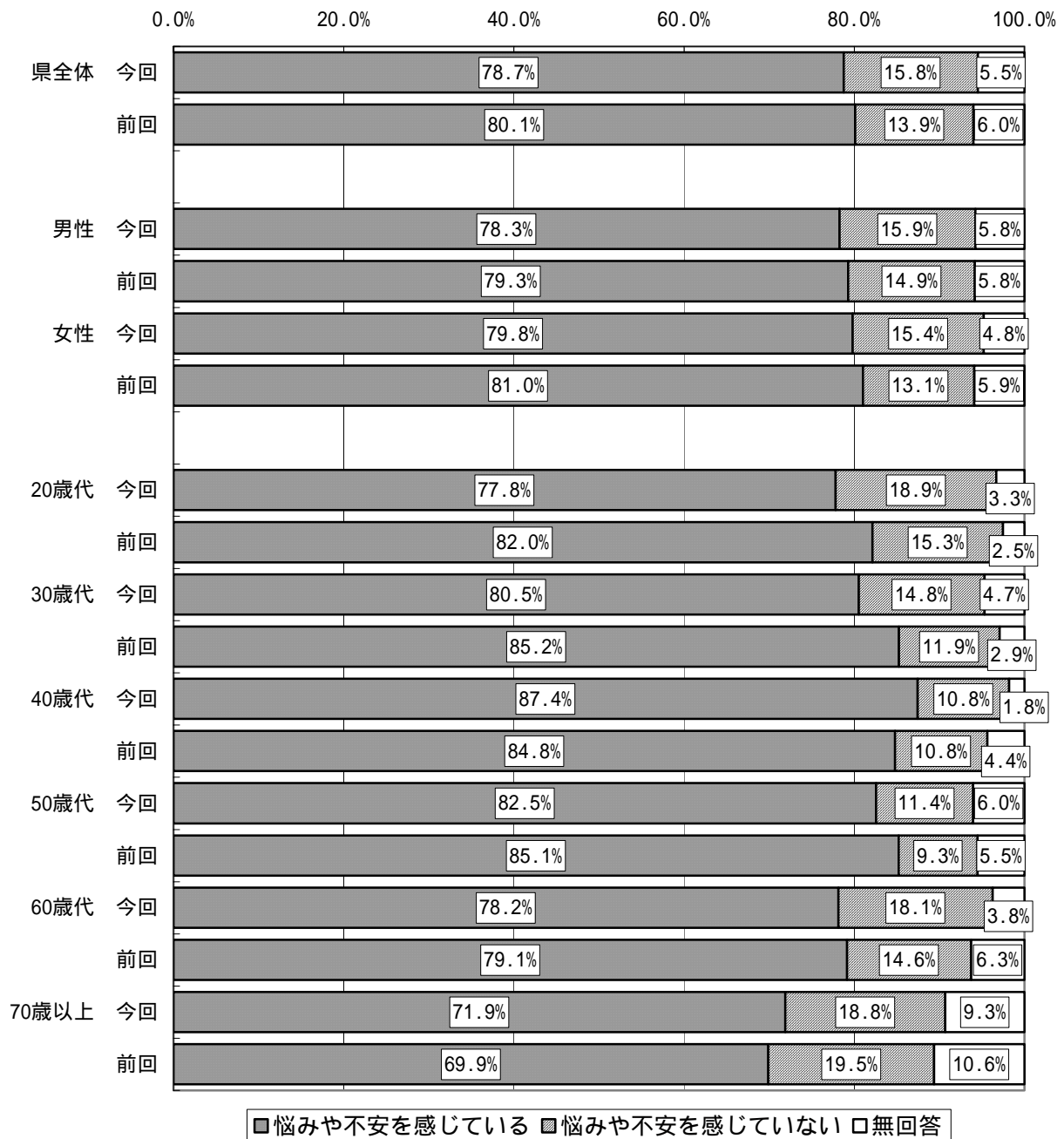
「悩みや不安を感じている」人は、「地域2 (西部)」「地域4 (東部)」「地域6 (南西部)」では80%以上を占めており、他の地域に比べてやや多くなっています。

前回と比較すると、「悩みや不安を感じている」は、「地域4 (東部)」では74.4%から5.8ポイント増加しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答 / 県全体、職業別、ライフステージ別）



図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答 / 県全体、性別、年齢別）



### 職業別

「悩みや不安を感じている」は、「非正規社員等」では84.9%と最も多くなっています。前回と比較すると、大きな差ではありませんが、「農林漁業」と「自営業」では「悩みや不安を感じている」人が増加しています。

### ライフステージ別

「悩みや不安を感じている」は、「育児期」「教育期前期」「教育期後期」では80%以上を占めており、他のライフステージに比べてやや多くなっています。前回と比較すると、大きな差ではありませんが、「教育期前期」「単身高齢者」「高齢者夫婦」では「悩みや不安を感じている」人が増加しています。

#### 性別

「悩みや不安を感じている」人は、「女性」が79.8%、「男性」が78.3%と大きな差はありません。前回と比較すると、大きな差ではありませんが、男女ともに「悩みや不安を感じている」人が減少しています。

#### 年齢別

「悩みや不安を感じている」人は、「30歳代」「40歳代」「50歳代」では80%以上を占めています。前回と比較すると、大きな差ではありませんが、「40歳代」と「70歳以上」では「悩みや不安を感じている」人が増加しています。

# 1 - 5 日頃の生活での悩みや不安の内容

図表 日頃の生活での悩みや不安の内容（複数回答／県全体、地域別、職業別、ライフステージ別、性別、年齢別）

		老後の生活設計について	自分の健康について	今後の収入や資産の見通しについて	家族の健康について	現在の収入や資産について	家族の生活上（進学、就職、結婚など）の問題について	自分の生活上（進学、就職、結婚など）の問題について	勤務先での仕事や人間関係について	家族・親族間の人間関係について	事業や家業の経営上の問題について	近隣・地域との関係について	その他	
県全体	今回	<b>58.0%</b>	<b>56.8%</b>	<b>54.7%</b>	53.6%	38.2%	29.2%	17.6%	12.3%	11.0%	10.8%	6.4%	1.7%	
	前回	61.1%	54.0%	56.8%	54.0%	33.2%	27.6%	14.5%	14.1%	12.6%	10.3%	8.9%	3.1%	
地域別	地域1（北部）	今回	<b>59.0%</b>	<b>59.2%</b>	54.6%	<b>55.4%</b>	38.5%	30.5%	15.6%	11.6%	11.4%	9.8%	6.1%	1.3%
		前回	61.7%	53.7%	58.0%	56.0%	32.2%	26.8%	13.6%	14.2%	12.3%	11.4%	9.2%	3.1%
	地域2（西部）	今回	<b>58.3%</b>	<b>55.9%</b>	<b>52.8%</b>	50.9%	38.0%	24.7%	21.0%	12.0%	9.0%	7.7%	4.9%	2.2%
		前回	61.3%	56.7%	53.4%	52.1%	29.8%	28.9%	16.1%	14.1%	12.5%	8.2%	6.6%	2.0%
	地域3（中部）	今回	<b>59.0%</b>	<b>55.2%</b>	<b>55.4%</b>	52.5%	36.5%	30.4%	18.7%	12.6%	11.0%	12.2%	6.3%	1.6%
		前回	60.2%	53.7%	56.6%	52.7%	35.6%	29.0%	14.4%	14.4%	13.2%	8.0%	7.8%	3.4%
	地域4（東部）	今回	<b>52.3%</b>	51.6%	<b>54.4%</b>	<b>54.1%</b>	41.0%	24.0%	23.3%	14.8%	10.2%	12.4%	7.1%	3.2%
		前回	57.3%	53.1%	55.6%	51.5%	34.4%	27.0%	19.1%	13.7%	14.1%	10.0%	11.6%	1.7%
	地域5（南東部）	今回	50.9%	<b>56.4%</b>	<b>53.2%</b>	<b>51.8%</b>	39.5%	26.8%	18.6%	12.7%	12.3%	15.5%	10.9%	3.2%
		前回	63.3%	52.5%	57.5%	48.4%	34.4%	29.0%	15.8%	12.7%	11.3%	16.3%	14.0%	5.9%
	地域6（南西部）	今回	<b>53.1%</b>	<b>49.6%</b>	<b>60.3%</b>	43.3%	40.6%	29.0%	13.8%	14.3%	12.5%	15.6%	11.2%	1.8%
		前回	63.7%	55.2%	52.5%	51.1%	37.7%	24.2%	12.1%	10.8%	12.1%	13.5%	9.0%	4.0%
職業別	農林漁業	今回	<b>64.1%</b>	<b>61.9%</b>	<b>60.5%</b>	51.6%	45.3%	17.9%	9.4%	0.9%	10.8%	31.4%	11.2%	0.0%
		前回	62.0%	59.3%	52.5%	70.0%	35.0%	20.5%	2.7%	1.9%	16.3%	36.1%	8.7%	4.6%
	自営業	今回	<b>60.9%</b>	50.8%	<b>62.2%</b>	52.7%	47.8%	22.8%	13.1%	7.0%	8.3%	<b>55.1%</b>	4.1%	2.2%
		前回	62.3%	45.3%	62.7%	47.2%	40.4%	28.6%	12.8%	10.2%	9.5%	48.9%	4.3%	1.9%
	正規社員等	今回	<b>51.3%</b>	41.1%	<b>63.1%</b>	<b>47.2%</b>	39.5%	36.4%	25.5%	30.6%	8.1%	2.3%	3.4%	0.8%
		前回	57.0%	42.3%	68.5%	45.4%	35.5%	30.0%	22.7%	35.9%	11.0%	3.7%	7.3%	1.5%
非正規社員等	今回	<b>69.7%</b>	<b>53.4%</b>	<b>62.6%</b>	53.2%	46.6%	34.1%	23.1%	14.6%	11.1%	5.6%	5.9%	1.7%	
	前回	66.9%	47.8%	59.7%	53.7%	39.0%	38.5%	18.1%	16.5%	14.2%	2.7%	5.7%	2.3%	
ライフステージ別	若者	今回	19.8%	29.2%	<b>56.4%</b>	35.7%	<b>45.5%</b>	16.3%	<b>76.5%</b>	27.8%	9.8%	3.4%	4.0%	0.6%
		前回	17.9%	29.4%	57.2%	30.4%	41.8%	10.5%	69.2%	33.5%	11.0%	3.7%	4.6%	0.3%
	夫婦	今回	<b>74.5%</b>	54.9%	<b>65.0%</b>	<b>57.2%</b>	45.4%	17.0%	5.0%	10.1%	10.8%	13.0%	5.4%	0.6%
		前回	73.1%	58.5%	61.5%	59.3%	30.5%	16.5%	3.2%	12.0%	12.3%	10.5%	5.8%	3.4%
	育児期	今回	45.4%	34.0%	<b>71.2%</b>	<b>46.3%</b>	<b>54.5%</b>	31.3%	10.1%	15.0%	18.3%	9.0%	11.2%	2.5%
		前回	49.9%	30.3%	70.6%	42.9%	46.9%	26.9%	5.0%	16.5%	20.9%	8.8%	9.5%	2.4%
	教育期前期	今回	<b>56.2%</b>	41.5%	<b>68.5%</b>	49.8%	44.3%	<b>51.9%</b>	6.4%	15.9%	13.3%	12.2%	7.8%	1.6%
		前回	59.3%	38.0%	71.0%	44.6%	38.3%	51.4%	6.1%	18.5%	17.8%	12.3%	9.0%	1.3%
	教育期後期	今回	<b>68.5%</b>	56.7%	<b>63.8%</b>	<b>59.8%</b>	35.1%	58.7%	7.0%	13.4%	9.8%	15.7%	3.9%	1.5%
		前回	67.8%	45.3%	68.8%	49.5%	31.7%	52.0%	7.1%	17.6%	10.8%	15.3%	4.3%	1.0%
単身高齢者	今回	<b>59.9%</b>	<b>84.5%</b>	<b>30.0%</b>	17.9%	23.2%	6.3%	6.8%	0.0%	5.3%	1.0%	13.5%	3.4%	
	前回	53.6%	84.4%	17.9%	22.9%	17.9%	8.9%	3.4%	0.0%	9.5%	2.8%	12.8%	2.8%	
高齢者夫婦	今回	<b>64.0%</b>	<b>79.2%</b>	34.0%	<b>66.9%</b>	26.6%	7.8%	0.9%	0.2%	12.5%	6.0%	11.9%	2.0%	
	前回	67.6%	79.9%	38.6%	74.2%	27.2%	6.3%	1.4%	1.0%	10.4%	8.6%	12.5%	5.8%	
性別	男性	今回	<b>57.7%</b>	<b>54.9%</b>	<b>57.9%</b>	49.2%	42.1%	27.1%	18.8%	13.8%	7.6%	12.6%	5.4%	1.6%
		前回	61.0%	54.6%	61.5%	51.0%	34.5%	23.5%	15.6%	17.6%	9.5%	12.4%	8.4%	3.5%
女性	今回	<b>57.7%</b>	<b>57.3%</b>	52.8%	<b>57.4%</b>	35.2%	31.1%	17.2%	11.1%	14.1%	9.0%	7.4%	1.7%	
	前回	61.0%	53.1%	52.8%	56.2%	31.9%	31.2%	13.8%	11.2%	15.6%	8.5%	9.2%	2.8%	
年齢別	20歳代	今回	20.7%	28.4%	<b>56.6%</b>	35.8%	<b>46.3%</b>	16.3%	<b>73.3%</b>	27.1%	9.6%	3.7%	3.7%	0.9%
		前回	19.1%	28.7%	58.3%	31.1%	43.5%	10.6%	67.2%	33.8%	11.4%	3.6%	4.4%	0.9%
	30歳代	今回	41.2%	31.1%	<b>72.1%</b>	<b>42.2%</b>	<b>49.9%</b>	26.4%	27.4%	21.8%	14.9%	11.1%	8.0%	1.7%
		前回	50.2%	32.2%	70.7%	42.4%	51.5%	26.9%	23.0%	23.2%	15.4%	8.8%	11.2%	2.3%
	40歳代	今回	<b>61.2%</b>	45.9%	<b>67.3%</b>	<b>57.5%</b>	49.1%	48.6%	14.5%	18.8%	9.6%	13.8%	5.7%	1.8%
		前回	62.6%	38.2%	71.2%	50.7%	35.7%	49.6%	11.1%	22.3%	16.9%	13.7%	8.5%	1.2%
	50歳代	今回	<b>77.3%</b>	<b>58.9%</b>	<b>61.3%</b>	58.7%	33.1%	42.1%	6.7%	13.3%	10.9%	13.4%	3.1%	1.2%
		前回	78.1%	54.9%	64.6%	59.7%	27.3%	42.7%	4.8%	13.7%	12.4%	11.9%	7.4%	3.7%
	60歳代	今回	<b>75.3%</b>	<b>69.8%</b>	48.2%	<b>57.5%</b>	33.9%	26.6%	4.1%	2.1%	9.8%	13.7%	7.4%	2.0%
		前回	76.9%	71.3%	46.8%	65.6%	25.5%	22.8%	1.8%	2.6%	10.9%	14.1%	7.6%	3.7%
70歳以上	今回	<b>56.0%</b>	<b>84.0%</b>	35.2%	<b>60.4%</b>	26.8%	14.7%	2.5%	0.5%	12.1%	7.3%	9.8%	2.3%	
	前回	60.5%	81.0%	35.0%	61.8%	23.3%	11.0%	2.2%	0.7%	10.6%	6.5%	12.1%	5.6%	

（注）集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは前回よりも5ポイント以上増えた項目を示している。



## 県全体

日頃の生活で「悩みや不安を感じている」ことがある人に対して、その内容をたずねたところ、「老後の生活設計について」(58.0%)が最も多く、以下、「自分の健康について」(56.8%)、「今後の収入や資産の見通しについて」(54.7%)と続いています。

上位3項目は前回と同じ項目となっていますが、「現在の収入や資産について」は33.2%から5.0ポイント増加しています。

## 地域別

「地域2(西部)」と「地域3(中部)」は「老後の生活設計について」、「地域1(北部)」と「地域5(南東部)」は「自分の健康について」、「地域4(東部)」と「地域6(南西部)」は「今後の収入や資産の見通しについて」がそれぞれ最も多くなっています。

前回と比較すると、「現在の収入や資産について」は、「地域2(西部)」の増加の幅が8.2ポイントと最も大きくなっています。

## 職業別

「農林漁業」と「非正規社員等」では「老後の生活設計について」、「自営業」と「正規社員等」では「今後の収入や資産の見通しについて」がそれぞれ最も多くなっています。

前回と比較すると、「農林漁業」「自営業」「非正規社員等」では「現在の収入や資産について」、「正規社員等」では「家族の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」の増加の幅が、それぞれ最も大きくなっています。

## ライフステージ別

「若者」では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」(76.5%)、「夫婦」と「教育期後期」では「老後の生活設計について」(夫婦:74.5%、教育期後期:68.5%)、「育児期」と「教育期前期」では「今後の収入や資産の見通しについて」(育児期:71.2%、教育期前期:68.5%)、「単身高齢者」と「高齢者夫婦」では「自分の健康について」(単身高齢者:84.5%、高齢者夫婦:79.2%)がそれぞれ最も多く、ライフステージによって悩みや不安の違いが顕著に現れています。

前回と比較すると、「現在の収入や資産について」は、「夫婦」「育児期」「教育期前期」「単身高齢者」の4つのライフステージで5ポイント以上の増加がみられます。

## 性別

上位3項目については、「県全体」の傾向と大差はありませんが、「男性」では「今後の収入や資産の見通しについて」、「女性」では「老後の生活設計について」がそれぞれ最も多くなっています。

前回と比較すると、「男性」の「現在の収入や資産について」が最も増加しています。

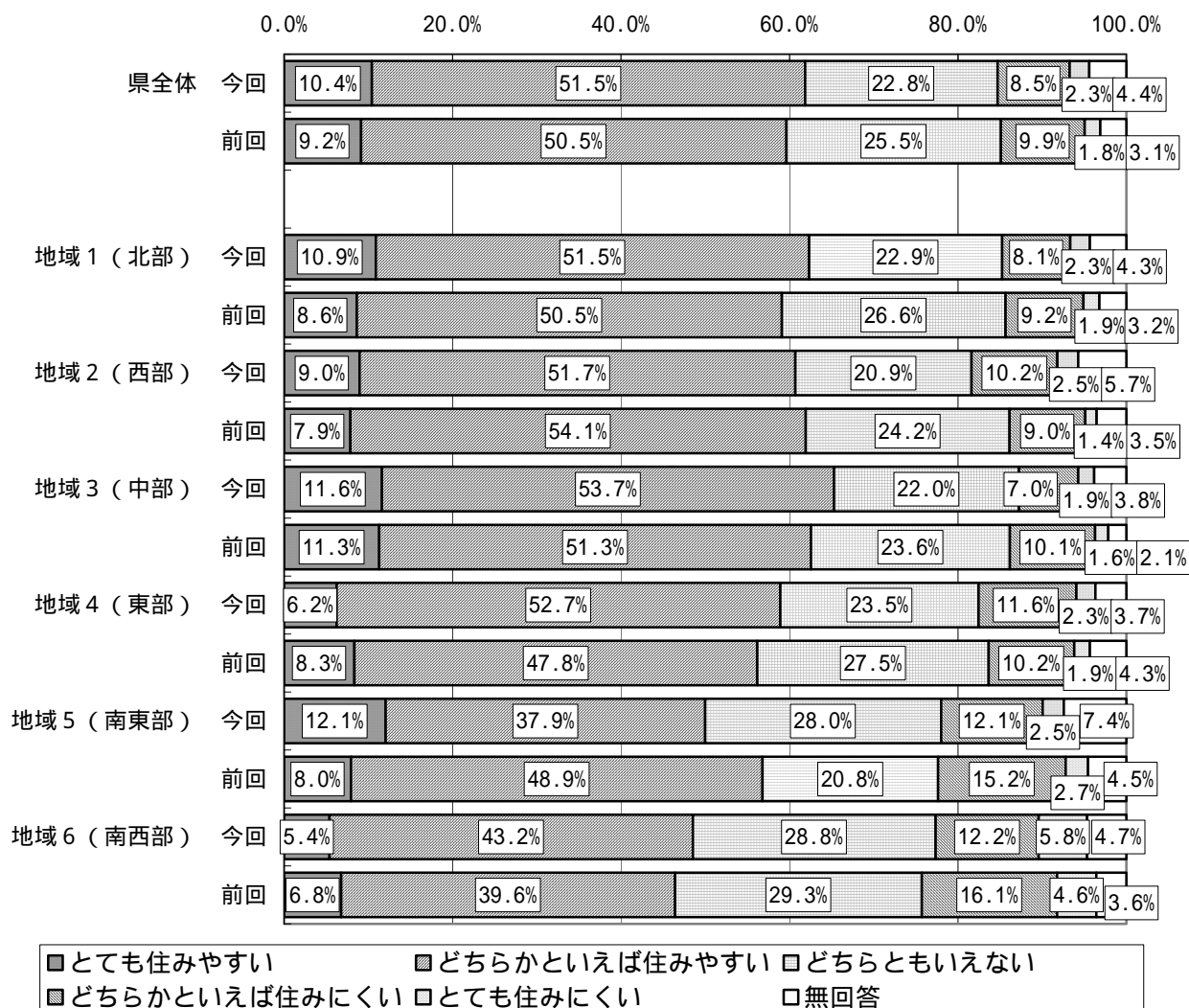
## 年齢別

「20歳代」では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」(73.3%)、「30歳代」と「40歳代」では「今後の収入や資産の見通しについて」(30歳代:72.1%、40歳代:67.3%)、「50歳代」と「60歳代」では「老後の生活設計について」(50歳代:77.3%、60歳代:75.3%)、「70歳以上」では「自分の健康について」(84.0%)がそれぞれ最も多くなっています。

前回と比較すると、「40歳代」の「現在の収入や資産について」の増加の幅が13.4ポイントと特に大きくなっています。

## 1 - 6 奈良県の住みやすさの評価

図表 奈良県の住みやすさの評価（単数回答／県全体、地域別）



### 県全体

奈良県の住みやすさの評価については、61.9%が「住みやすい」（「とても住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」）と感じており、「住みにくい」（「とても住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）と感じている人は10.8%となっています。

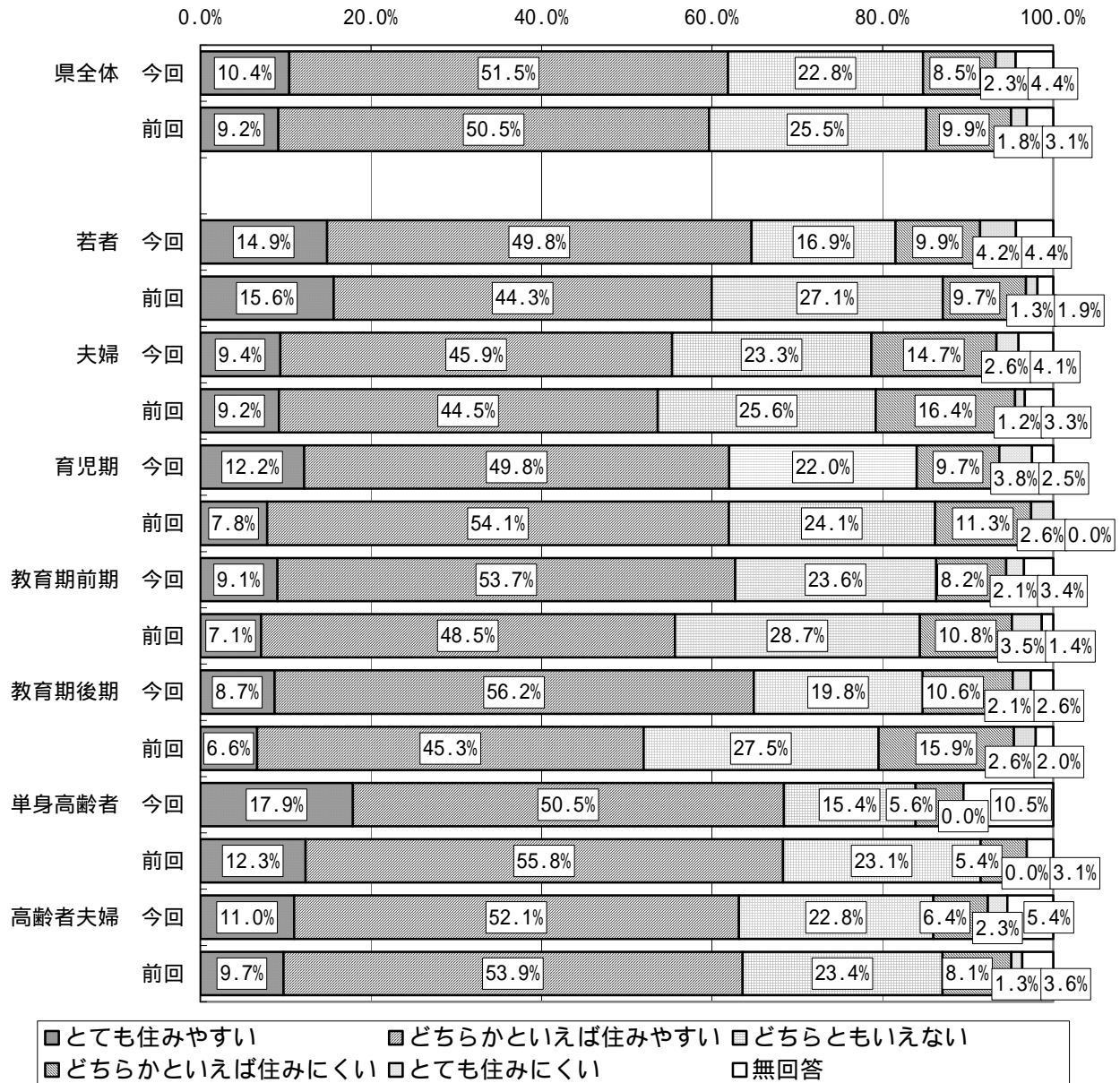
前回と比較すると、「住みやすい」と感じている人は59.7%から2.2ポイントの増加、「住みにくい」と感じている人は11.7%から0.9ポイントの減少にとどまり、大きな差はみられません。

### 地域別

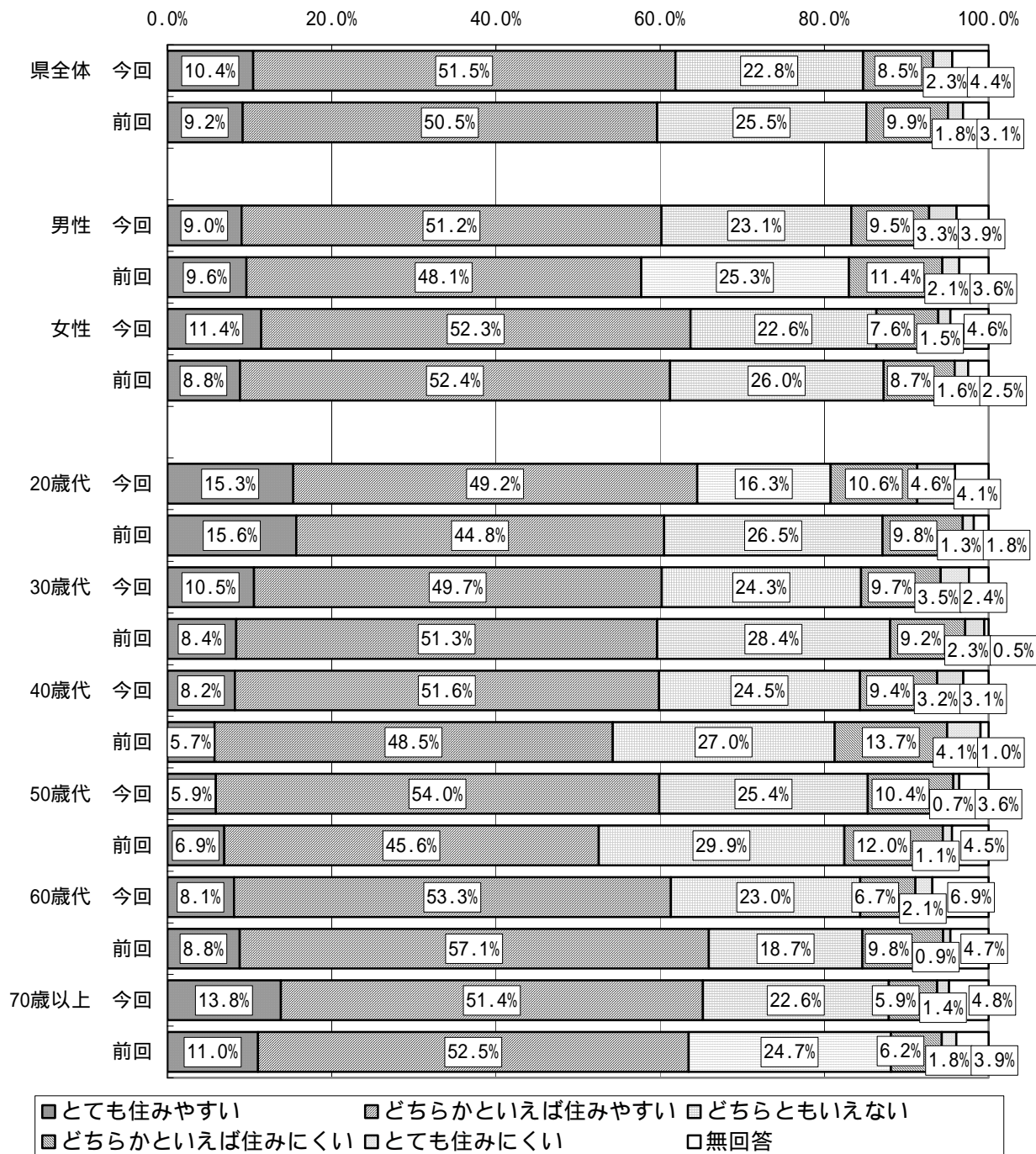
「地域1（北部）」と「地域3（中部）」では「住みやすい」と感じている人が「県全体」よりも多く、「地域3（中部）」は65.3%で最も多くなっています。逆に、「住みにくい」と感じている人は県南部ほど多い傾向となっており、「地域6（南西部）」では18.0%と最も多くなっています。

前回と比較すると、大きな差ではない地域もありますが、「地域1（北部）」「地域3（中部）」「地域4（東部）」「地域6（南西部）」では「住みやすい」と感じている人が増加しています。

図表 奈良県の住みやすさの評価（単数回答 / 県全体、ライフステージ別）



図表 奈良県の住みやすさの評価（単数回答 / 県全体、性別、年齢別）



ライフステージ別

「住みやすい」と感じている人は「単身高齢者」(68.4%)で最も多く、「高齢者夫婦」とあわせて、「住みにくい」と感じている人は高齢者では10%未満にとどまっています。逆に「住みにくい」と感じている人は「夫婦」(17.3%)で最も多くなっています。

前回と比較すると、大きな差ではないライフステージもありますが、「住みやすい」と感じている人は総じて増加しています。「住みにくい」と感じている人は、「若者」では11.0ポイントから14.1ポイントへと3.1ポイント増加しています。

#### 性別

「住みにくい」と感じている人は、「男性」(12.8%)が「女性」(9.1%)に比べて多くなっています。

前回と比較すると、大きな差ではありませんが、男女ともに「住みやすい」と感じている人が増加し、「住みにくい」と感じている人が減少しています。

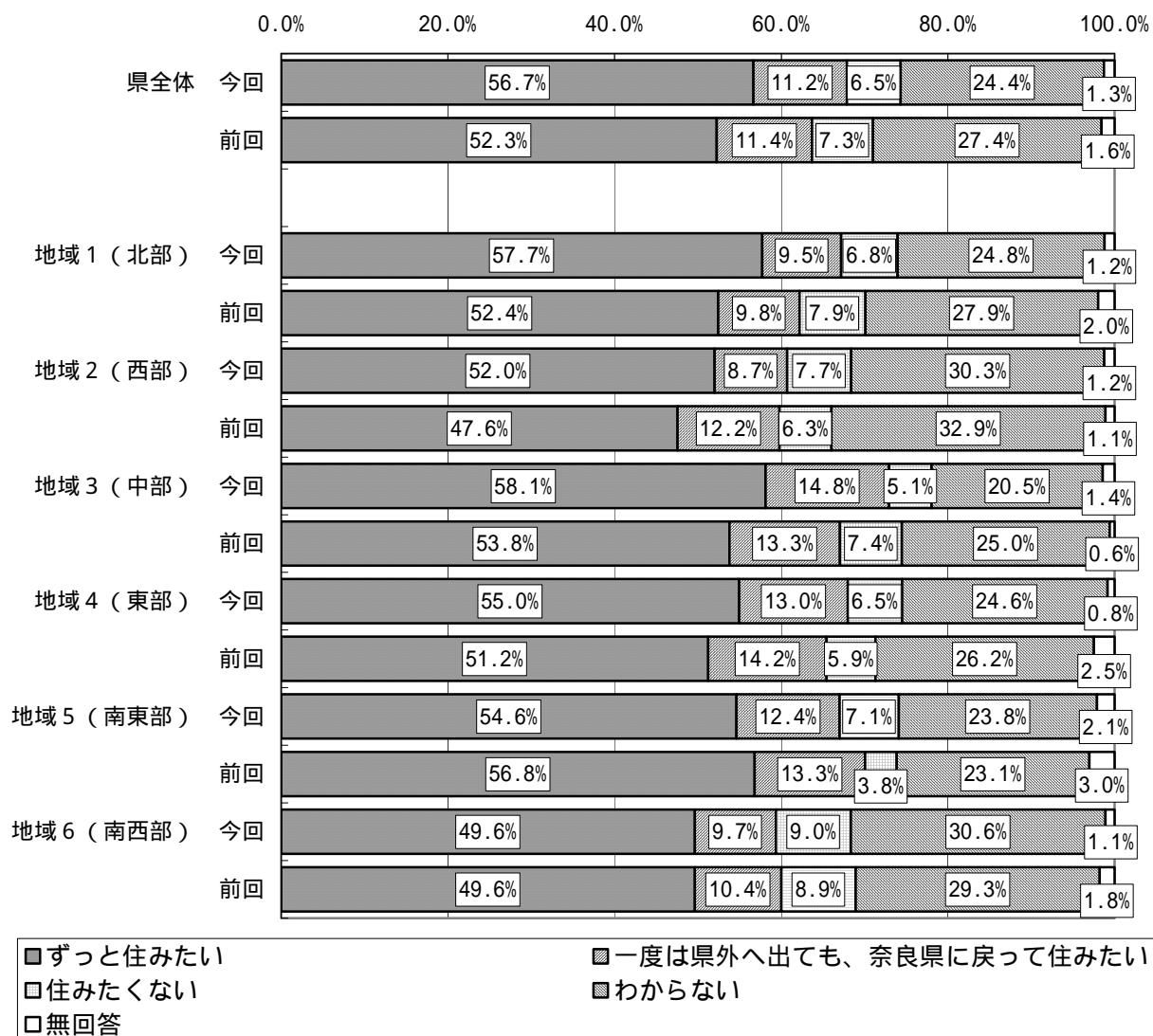
#### 年齢別

「住みにくい」と感じている人は、年齢層が低いほど多い傾向となっています。

前回と比較すると、「60歳代」では「住みやすい」と感じている人が65.9%から61.4%へと4.5ポイント減少していますが、他の年齢層では、大きな差ではない年齢層もありますが、総じて「住みやすい」と感じている人が増加しています。「住みにくい」と感じている人は、「20歳代」では11.1%から15.2%へと4.1ポイント増加しています。

## 1 - 7 将来の奈良県での定住意向

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／県全体、地域別）



### 県全体

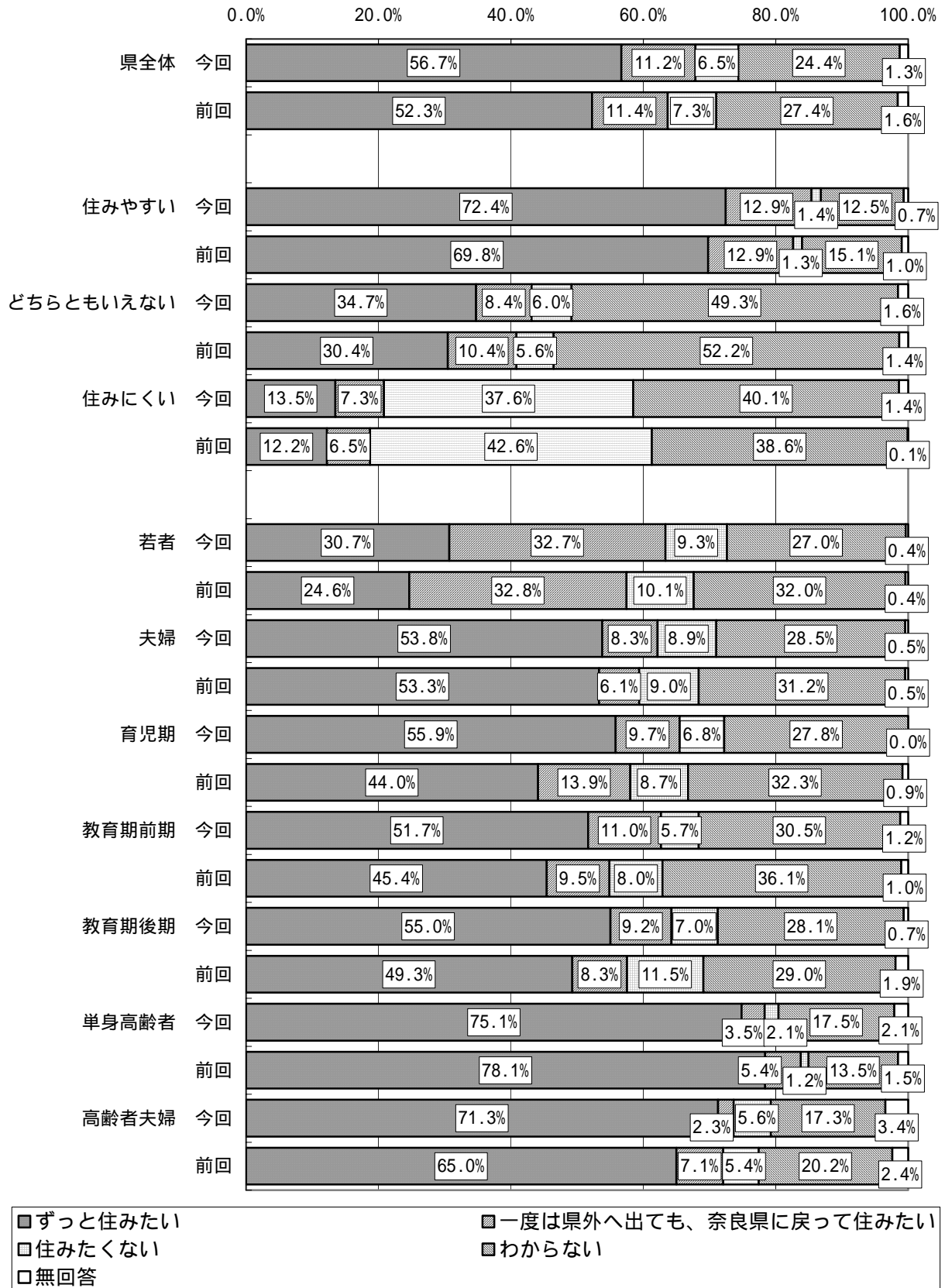
将来の奈良県での定住意向については、56.7%が「ずっと住みたい」と継続的な定住を希望しています。また、11.2%が「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えていることから、67.9%が奈良県に「住みたい」（「ずっと住みたい」＋「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」）と考えており、前回の63.7%から4.2ポイントの増加となっています。

### 地域別

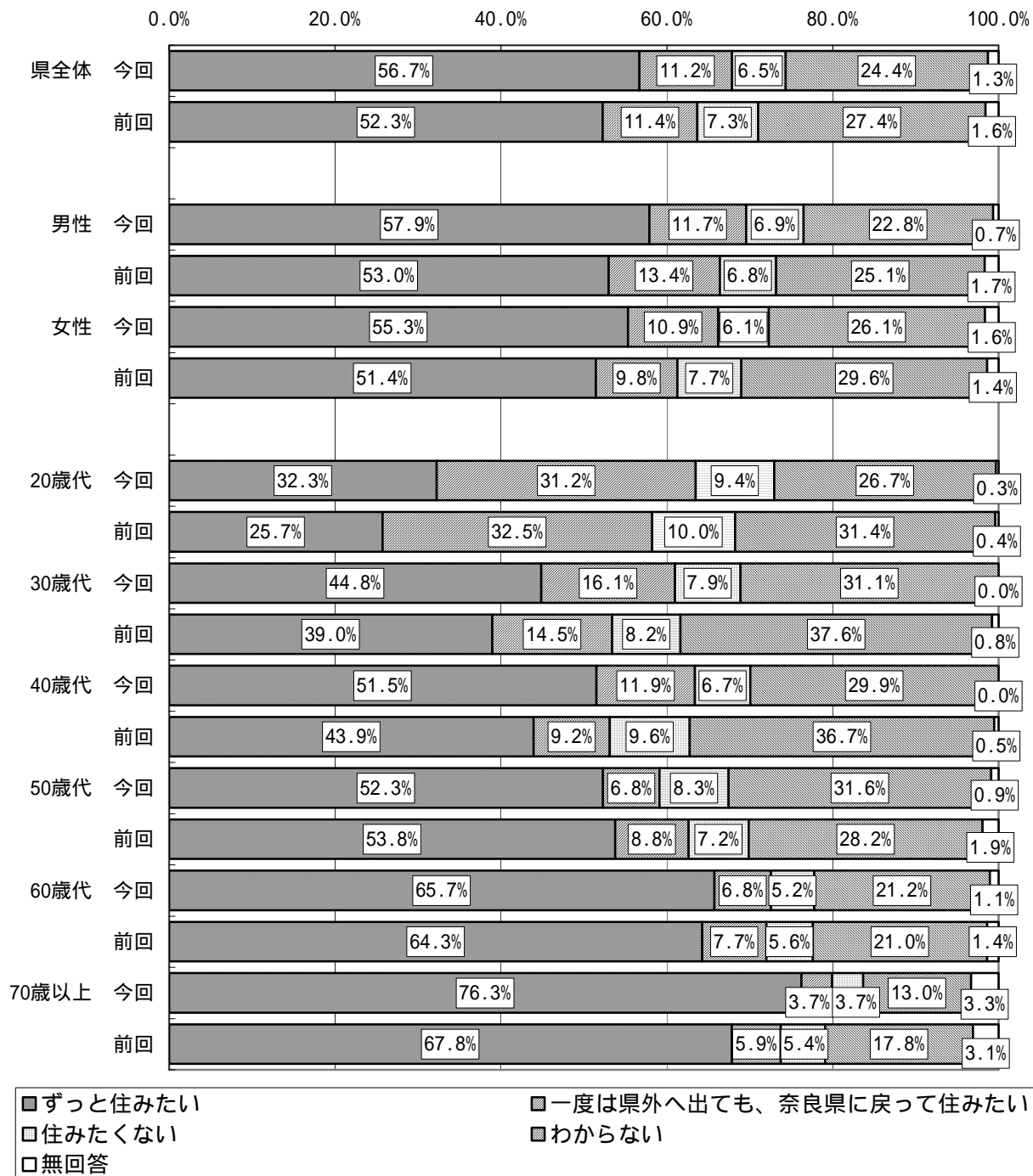
「ずっと住みたい」は「地域3(中部)」(58.1%)で最も多く、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」(14.8%)までを含めると72.9%の人は奈良県に「住みたい」と考えています。

前回と比較すると、大きな差ではありませんが、「住みたい」と感じている人は、「地域5(南東部)」と「地域6(南西部)」では前回に比べて減少しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／県全体、住みやすさ評価別、ライフステージ別）



図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答 / 県全体、性別、年齢別）



住みやすさ評価別

「住みやすい」（「とても住みやすい」 + 「どちらかといえば住みやすい」）と感じている人では、奈良県に「住みたい」と考えている人が85.3%となっています。

逆に、「住みにくい」（「とても住みにくい」 + 「どちらかといえば住みにくい」）と感じている人では、奈良県に「住みたい」と考えている人は20.8%にとどまり、「住みやすさ」の実感と定住意向に一定の関係があることがうかがえます。

前回と比較すると、大きな差ではありませんが、住みやすさの評価に関係なく、「住みたい」と感じている人は前回に比べて増加しています。



### ライフステージ別

「若者」では「ずっと住みたい」が30.7%と継続的な定住を希望する人は最も少なくなっていますが、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」は32.7%で最も多く、将来的に奈良県で「住みたい」と考えている「若者」は63.4%となっています。

前回と比較すると、「単身高齢者」では、「住みたい」と考えている人が83.5%から78.6%へと4.9ポイント減少しています。

### 性別

奈良県に「住みたい」と考えている人は、「男性」(69.6%)が「女性」(66.2%)に比べて多くなっています。

前回と比較すると、男女ともに「住みたい」と考えている人が増加しています。

### 年齢別

「ずっと住みたい」と継続的な定住を希望する人は年齢層が高いほど多く、「40歳代」以上では半数以上を占めています。

「20歳代」では「ずっと住みたい」が32.3%と継続的な定住を希望する人は最も少なくなっていますが、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」は31.2%で最も多く、将来的に奈良県に「住みたい」と考えている人は63.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差ではありませんが、「50歳代」では「住みたい」と考えている人が62.6%から59.1%へと3.5ポイント減少していますが、他の年齢層では「住みたい」と考えている人が増加しています。

# 1 - 8 将来的に奈良県に定住したくない理由

図表 将来的に奈良県に定住したくない理由

(複数回答 / 県全体、地域別、住みやすさ評価別、ライフステージ別、性別、年齢別)

		医療が充実していないから	買い物など日常生活環境が整っていないから	福祉サービスが充実していないから	通勤・通学に不便だから	身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから	奈良県や身近な地域に愛着を感じないから	災害を防ぐための対策が不十分だから	治安を守るための対策が不十分だから	教育環境が充実していないから	家賃など住居費が高いから	騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから	緑などの自然環境がよくないから	その他	
県全体	今回	<b>45.3%</b>	<b>36.7%</b>	<b>34.5%</b>	31.1%	24.7%	21.4%	14.7%	14.5%	13.1%	9.5%	6.7%	3.4%	19.5%	
	前回	52.3%	36.3%	33.7%	34.1%	25.8%	23.0%	18.2%	17.8%	15.1%	8.8%	9.8%	3.1%	19.2%	
地域別	地域1(北部)	今回	<b>47.6%</b>	<b>36.1%</b>	<b>33.9%</b>	25.2%	26.5%	21.1%	13.1%	15.0%	10.5%	11.2%	6.7%	3.5%	20.4%
		前回	51.0%	36.8%	34.8%	29.6%	26.4%	22.9%	18.6%	19.7%	13.9%	8.7%	11.3%	4.1%	22.9%
	地域2(西部)	今回	<b>39.2%</b>	<b>30.7%</b>	28.8%	<b>32.0%</b>	19.0%	23.5%	16.3%	11.1%	11.1%	6.5%	9.2%	1.3%	22.2%
		前回	50.0%	31.3%	31.3%	32.6%	21.5%	22.9%	16.7%	15.3%	18.1%	5.6%	11.8%	3.5%	19.4%
	地域3(中部)	今回	<b>34.2%</b>	<b>31.1%</b>	<b>36.0%</b>	28.0%	24.2%	25.5%	14.9%	19.3%	13.7%	9.3%	6.8%	5.6%	19.3%
		前回	53.0%	28.3%	33.1%	34.9%	25.3%	27.1%	15.7%	18.7%	15.1%	9.6%	8.4%	2.4%	17.5%
	地域4(東部)	今回	<b>60.0%</b>	<b>50.9%</b>	45.5%	<b>49.1%</b>	25.5%	15.5%	20.0%	10.9%	17.3%	6.4%	6.4%	2.7%	14.5%
		前回	50.0%	49.0%	34.6%	48.1%	27.9%	14.4%	18.3%	12.5%	14.4%	10.6%	4.8%	0.0%	4.8%
	地域5(南東部)	今回	<b>57.5%</b>	<b>57.5%</b>	<b>28.7%</b>	<b>62.1%</b>	14.9%	9.2%	19.5%	6.9%	19.5%	5.7%	1.1%	1.1%	16.1%
		前回	69.0%	66.2%	32.4%	62.0%	19.7%	12.7%	35.2%	12.7%	21.1%	11.3%	1.4%	0.0%	11.3%
	地域6(南西部)	今回	<b>61.8%</b>	<b>50.0%</b>	<b>38.2%</b>	<b>61.8%</b>	29.1%	17.3%	13.6%	6.4%	<b>36.4%</b>	8.2%	2.7%	0.0%	13.6%
		前回	65.4%	56.1%	29.9%	51.4%	35.5%	20.6%	24.3%	6.5%	19.6%	10.3%	5.6%	1.9%	12.1%
住みやすさ評価別	住みやすい	今回	<b>33.3%</b>	22.5%	<b>23.0%</b>	<b>24.9%</b>	16.4%	18.4%	10.2%	12.5%	6.7%	6.5%	6.4%	1.5%	27.0%
		前回	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	どちらともいえない	今回	<b>44.3%</b>	<b>39.5%</b>	<b>34.6%</b>	31.1%	26.4%	21.2%	15.2%	13.5%	14.2%	7.8%	6.0%	3.3%	15.8%
		前回	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
住みにくい	今回	<b>61.7%</b>	<b>48.1%</b>	<b>46.8%</b>	37.0%	28.8%	24.6%	18.6%	18.8%	18.1%	14.2%	8.5%	5.0%	16.4%	
	前回	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
ライフステージ別	若者	今回	<b>30.8%</b>	<b>45.6%</b>	20.8%	<b>51.1%</b>	27.1%	21.1%	8.3%	12.5%	8.5%	7.3%	3.5%	1.3%	17.3%
		前回	45.3%	43.6%	18.7%	53.7%	32.3%	15.8%	9.4%	12.8%	14.8%	5.2%	3.4%	1.7%	19.7%
	夫婦	今回	<b>50.0%</b>	<b>37.7%</b>	<b>42.5%</b>	27.4%	19.3%	22.3%	12.0%	11.1%	8.1%	13.3%	9.9%	4.2%	17.8%
		前回	56.3%	33.0%	29.3%	27.9%	16.4%	35.1%	19.3%	13.2%	6.3%	8.6%	16.1%	4.3%	20.7%
	育児期	今回	<b>46.9%</b>	<b>29.0%</b>	<b>39.7%</b>	23.8%	25.1%	25.1%	6.5%	12.7%	28.7%	18.6%	3.6%	5.2%	27.7%
		前回	49.7%	27.6%	26.9%	33.2%	22.5%	27.1%	9.5%	18.8%	26.7%	4.2%	4.2%	4.2%	26.2%
	教育期前期	今回	<b>53.3%</b>	30.8%	<b>34.1%</b>	<b>34.4%</b>	23.3%	23.1%	12.9%	15.1%	25.9%	10.4%	5.5%	3.6%	22.6%
		前回	54.6%	35.6%	40.9%	36.7%	24.4%	23.1%	12.1%	24.1%	28.2%	8.8%	6.7%	2.2%	17.7%
	教育期後期	今回	<b>57.1%</b>	36.1%	<b>36.5%</b>	<b>38.3%</b>	22.6%	19.9%	25.2%	18.8%	18.4%	3.8%	3.8%	4.5%	21.8%
		前回	60.5%	34.8%	34.8%	49.2%	24.1%	21.7%	16.4%	15.4%	28.1%	4.3%	12.0%	0.0%	16.4%
	単身高齢者	今回	<b>25.5%</b>	<b>27.3%</b>	<b>34.5%</b>	0.0%	21.8%	<b>32.7%</b>	21.8%	3.6%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%
		前回	18.4%	47.4%	15.8%	23.7%	15.8%	28.9%	31.6%	7.9%	2.6%	0.0%	13.2%	7.9%	18.4%
高齢者夫婦	今回	<b>54.4%</b>	<b>37.1%</b>	<b>46.3%</b>	22.4%	23.1%	14.6%	19.4%	20.7%	6.8%	6.5%	9.5%	4.4%	9.5%	
	前回	58.9%	46.4%	42.9%	14.5%	33.4%	17.5%	29.3%	23.1%	10.9%	8.3%	8.3%	5.0%	18.6%	
性別	男性	今回	<b>45.3%</b>	<b>34.9%</b>	<b>35.9%</b>	32.4%	26.6%	23.5%	15.6%	17.5%	14.5%	10.8%	6.9%	3.4%	18.2%
		前回	49.8%	36.3%	34.6%	34.4%	27.8%	19.8%	19.2%	20.0%	15.6%	8.3%	11.1%	2.4%	23.7%
女性	今回	<b>45.7%</b>	<b>37.7%</b>	<b>32.7%</b>	30.7%	22.5%	19.5%	13.1%	12.3%	12.1%	8.4%	6.4%	3.6%	21.2%	
	前回	53.7%	36.6%	32.9%	34.2%	24.3%	25.4%	17.3%	16.5%	15.0%	9.3%	8.9%	3.7%	16.3%	
年齢別	20歳代	今回	<b>32.2%</b>	<b>46.4%</b>	21.9%	<b>50.4%</b>	26.6%	20.5%	7.8%	12.7%	10.1%	8.2%	3.3%	1.2%	17.2%
		前回	45.6%	44.1%	18.5%	54.1%	32.0%	15.6%	9.3%	12.7%	14.6%	5.9%	4.1%	1.7%	19.5%
	30歳代	今回	<b>45.6%</b>	<b>32.7%</b>	30.8%	<b>35.4%</b>	27.8%	19.8%	5.9%	10.5%	24.5%	11.8%	4.6%	3.4%	26.4%
		前回	53.7%	32.2%	25.9%	33.5%	18.9%	26.7%	13.7%	17.5%	19.2%	11.3%	6.5%	4.0%	21.1%
	40歳代	今回	<b>54.0%</b>	<b>35.7%</b>	29.4%	<b>39.0%</b>	16.8%	21.6%	15.2%	18.3%	22.6%	11.9%	6.4%	4.1%	22.0%
		前回	52.5%	34.6%	33.7%	40.8%	27.8%	20.3%	12.4%	20.5%	27.2%	6.2%	9.1%	1.5%	21.0%
	50歳代	今回	<b>47.9%</b>	<b>32.4%</b>	<b>36.4%</b>	24.8%	26.4%	21.2%	16.8%	13.9%	10.6%	10.4%	7.2%	3.4%	21.5%
		前回	57.6%	36.5%	41.5%	38.9%	23.9%	27.6%	18.5%	17.6%	11.2%	10.5%	9.4%	2.6%	20.1%
	60歳代	今回	<b>51.6%</b>	<b>34.7%</b>	<b>50.0%</b>	22.2%	24.7%	23.1%	20.0%	14.0%	5.6%	6.4%	11.1%	4.4%	16.4%
		前回	51.8%	33.2%	43.7%	21.2%	29.9%	26.0%	24.1%	17.1%	6.8%	10.7%	13.2%	4.5%	20.0%
70歳以上	今回	<b>37.9%</b>	<b>38.2%</b>	<b>37.9%</b>	14.9%	<b>24.7%</b>	22.1%	20.1%	18.4%	4.3%	6.6%	6.9%	4.3%	12.6%	
	前回	49.3%	41.5%	38.0%	17.0%	24.7%	20.3%	33.6%	20.7%	9.0%	7.0%	16.4%	4.8%	12.4%	

(注) 集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは前回よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

## 県全体

将来的に奈良県に「住みたくない」と「わからない」人に対して、その理由をたずねたところ、「医療が充実していないから」(45.3%)が最も多く、以下、「買物など日常の生活環境が整っていないから」(36.7%)、「福祉サービスが充実していないから」(34.5%)と続いています。

上位2項目は前回と同じ項目ですが、前回最も多かった「医療が充実していないから」は52.3%から7.0ポイント減少しています。

「その他」の意見としては、「公共交通機関が充実していない・車がないと不便だから」や「仕事がない・働ける場がないから」「県外の故郷・実家へ戻る(戻りたい)から」などが多くみられます。

## 地域別

「地域1(北部)」「地域2(西部)」「地域4(東部)」「地域6(南西部)」では「医療が充実していないから」(「地域6(南西部)」では「通勤・通学に不便だから」も同率で最多)、「地域3(中部)」では「福祉サービスが充実していないから」、「地域5(南東部)」では「通勤・通学に不便だから」がそれぞれ最も多く、地域によって主な理由に違いがみられます。

前回と比較すると、「地域4(東部)」では、「医療が充実していないから」と「福祉サービスが充実していないから」が10ポイント程度増加しています。また、「地域6(南西部)」では「通勤・通学に不便だから」と「教育環境が充実していないから」がそれぞれ10ポイント以上増加しています。

## 住みやすさ評価別

住みやすさの評価に関係なく、「医療が充実していないから」が最も多くなっていますが、「住みやすい」と感じている人では33.3%であるのに対して、「住みにくい」と感じている人では61.7%と多くなっています。

## ライフステージ別

「若者」では「通勤・通学に不便だから」、「単身高齢者」では「福祉サービスが充実していないから」が最も多くなっていますが、他のライフステージでは「医療が充実していないから」が最も多く、ライフステージによって主な理由に違いがみられます。

前回と比較すると、「夫婦」「育児期」「単身高齢者」では、「福祉サービスが充実していないから」が10ポイント以上増加しています。

## 性別

男女ともに「医療が充実していないから」が最も多くなっており、前回と比較しても、男女ともに大幅に増加した項目はみられません。

## 年齢別

「20歳代」では「通勤・通学に不便だから」、「70歳以上」では「買物など日常の生活環境が整っていないから」が最も多く、他の年齢層では「医療が充実していないから」が最も多くなっています。顕著な傾向ではありませんが、「福祉サービスが充実していないから」や「災害を防ぐための対策が不十分だから」は年齢層が高いほど多い傾向となっています。

前回と比較すると、「30歳代」では「身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから」や「教育環境が充実していないから」、「40歳代」では「家賃など住居費が高いから」、「60歳代」では「福祉サービスが充実していないから」がそれぞれ増加の幅が大きくなっています。

## 1 - 9 県政情報の入手方法

図表 県政情報の入手方法（複数回答／県全体、地域別、ライフステージ別、年齢別）

	県民だより奈良 (県広報誌)	新聞	市町村の 広報誌	テレビの 広報番組	県の ホームページ	その他	
県全体	<b>79.1%</b>	<b>53.9%</b>	<b>48.8%</b>	24.9%	7.5%	1.8%	
地域別	地域1（北部）	<b>79.2%</b>	<b>55.2%</b>	<b>45.1%</b>	22.3%	8.1%	1.4%
	地域2（西部）	<b>80.3%</b>	<b>51.5%</b>	<b>51.5%</b>	<b>18.7%</b>	5.2%	1.5%
	地域3（中部）	<b>81.2%</b>	<b>53.8%</b>	<b>53.5%</b>	27.1%	7.6%	2.1%
	地域4（東部）	<b>74.8%</b>	<b>51.6%</b>	<b>52.1%</b>	31.2%	6.2%	2.5%
	地域5（南東部）	<b>73.0%</b>	<b>47.2%</b>	<b>52.5%</b>	35.5%	6.4%	3.5%
	地域6（南西部）	<b>70.5%</b>	<b>55.4%</b>	<b>47.5%</b>	43.5%	9.4%	3.6%
ライフ ステージ 別	若者	<b>58.5%</b>	<b>45.3%</b>	<b>33.1%</b>	23.3%	9.7%	2.2%
	夫婦	<b>78.2%</b>	<b>52.4%</b>	<b>46.2%</b>	19.2%	4.7%	2.4%
	育児期	<b>77.5%</b>	<b>42.9%</b>	<b>47.5%</b>	20.0%	9.3%	1.9%
	教育期前期	<b>83.4%</b>	<b>53.4%</b>	<b>51.5%</b>	24.3%	8.7%	1.3%
	教育期後期	<b>78.6%</b>	<b>59.5%</b>	<b>50.1%</b>	23.6%	8.7%	1.8%
	単身高齢者	<b>81.8%</b>	<b>48.8%</b>	<b>51.6%</b>	34.0%	1.8%	3.5%
	高齢者夫婦	<b>86.6%</b>	<b>66.3%</b>	<b>56.3%</b>	29.0%	4.8%	0.2%
年齢 別	20歳代	<b>57.3%</b>	<b>44.3%</b>	<b>32.6%</b>	23.0%	9.8%	2.5%
	30歳代	<b>75.2%</b>	<b>42.5%</b>	<b>38.7%</b>	20.0%	10.5%	3.2%
	40歳代	<b>82.5%</b>	<b>51.5%</b>	<b>53.3%</b>	20.4%	9.6%	2.1%
	50歳代	<b>79.1%</b>	<b>55.9%</b>	<b>52.3%</b>	24.0%	8.0%	1.5%
	60歳代	<b>86.5%</b>	<b>60.1%</b>	<b>52.2%</b>	23.3%	5.9%	1.3%
	70歳以上	<b>85.0%</b>	<b>61.2%</b>	<b>56.3%</b>	32.5%	4.8%	1.2%

（注）集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べており、太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

### 県全体

県政情報の入手方法については、「県民だより奈良（県広報誌）」（79.1%）が最も多く、以下、「新聞」（53.9%）、「市町村の広報誌」（48.8%）と続いています。

### 地域別

地域に関係なく「県民だより奈良（県広報誌）」が最も多くなっています。

#### ライフステージ別

ライフステージに関係なく「県民だより奈良（県広報誌）」が最も多くなっており、「教育期前期」「単身高齢者」「高齢者夫婦」では80%を超えています。

#### 年齢別

顕著な傾向ではありませんが、「県民だより奈良（県広報誌）」「新聞」「市町村の広報誌」は年齢層が低いほど少ない傾向となっています。一方で、「県のホームページ」は、「20歳代」から「40歳代」では10%前後みられ、「60歳代」以上の5%前後に比べて多くなっています。

## 2 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について

### 2 - 1 県全体の重要度・満足度・ニーズ得点の順位

#### (1) 重要度の順位

図表 県全体の重要度の順位（今回の重要度の高い順）

順位	項目番号	項目	重要度	
			今回	前回
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.66	4.66
2	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.56	4.65
3	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.46	4.58
4	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.45	4.60
5	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.43	4.35
6	29	失業の不安がなく働けること	4.41	4.40
7	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.55
8	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.34	4.46
9	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.25	4.29
10	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.23	4.25
11	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.19	4.17
12	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること	4.14	4.31
13	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.13	4.18
14	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.09	3.90
15	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	4.08	4.09
16	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	4.01	4.28
17	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.00	4.18
18	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.99	3.97
19	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.97	4.22
20	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.96	3.98
21	27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.93	4.15
22	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.86	3.97
23	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.85	3.73
24	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.84	3.69
25	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.82	3.94
26	30	県内で買いたいものが販売されていること	3.82	3.80
27	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.73	4.02
28	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.55	3.64
29	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.35	3.35
30	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.33	3.38
31	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.10	3.22
項目全体の平均			4.03	4.05

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮している。  
 網かけは前回よりも重要度が上昇したことを意味しており、前回との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、前回と今回との点数が同じ場合に網かけをしていることがある。  
 「県民の身近な項目」は、今回は31項目であるのに対して前は82項目設定されていたため、項目全体の平均のうち、前回の重要度の県全体の平均は、82項目での平均となっている。

県全体の重要度が高い順に並べると、上位5項目までには健康・福祉に関する項目が3項目みられます。

前回に比べて重要度が上昇したのは9項目で、差が最も大きいのは「いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること」(0.19上昇)となっています。

## (2) 満足度の順位

図表 県全体の満足度の順位（今回の満足度の高い順）

順位	項目番号	項目	満足度	
			今回	前回
1	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.49	3.40
2	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	3.18	2.76
3	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.14	3.25
4	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.08	2.95
5	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.05	3.08
6	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.03	2.95
7	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	3.02	2.62
8	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.01	3.01
9	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	2.98	2.99
10	30	県内で買いたいものが販売されていること	2.95	2.95
11	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	2.95	2.87
12	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	2.93	2.90
13	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	2.89	2.64
14	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	2.88	2.83
15	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	2.87	2.70
16	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	2.87	2.80
17	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	2.85	2.84
18	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	2.83	2.75
19	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	2.78	2.73
20	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	2.76	2.52
21	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	2.76	2.84
22	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	2.74	2.69
23	27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	2.74	2.64
24	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	2.72	2.52
25	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	2.68	2.62
26	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	2.67	2.60
27	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	2.66	2.63
28	29	失業の不安がなく働けること	2.47	2.62
29	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	2.47	2.47
30	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	2.45	2.39
31	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	2.43	2.35
項目全体の平均			2.85	2.79

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。

網かけは前回よりも満足度が低下したことを意味しており、前回との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、前回と今回との点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県民の身近な項目」は、今回は31項目であるのに対して前回は82項目設定されていたため、項目全体の平均のうち、前回の満足度の県全体の平均は、82項目での平均となっている。

県全体の満足度が高い順に並べると、下位5項目までには就労に関する項目が2項目みられます。前回に比べて満足度が低下したのは6項目で、差が最も大きいのは「失業の不安がなく働けること」(0.15低下)となっています。

### (3) ニーズ得点の順位

図表 県全体のニーズ得点の順位（今回のニーズ得点の高い順）

順位	項目番号	項目	ニーズ得点	
			今回	前回
1	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	15.93	16.75
2	29	失業の不安がなく働けること	15.56	14.87
3	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	15.47	15.77
4	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	14.66	15.08
5	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	14.45	13.76
6	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	14.26	14.24
7	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	14.22	15.81
8	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	14.09	14.45
9	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	13.85	15.43
10	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	13.65	13.83
11	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	13.60	15.74
12	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	13.59	15.00
13	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	13.05	13.28
14	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	12.85	12.45
15	27	一人ひとりが普通の生活においてCO2削減に取り組むこと	12.81	13.93
16	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	12.49	13.79
17	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	12.38	13.37
18	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	12.24	14.43
19	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	12.13	12.46
20	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	12.09	12.69
21	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	11.96	12.62
22	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	11.82	12.50
23	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	11.64	11.95
24	30	県内で買いたいものが販売されていること	11.64	11.61
25	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	11.52	11.18
26	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	11.34	10.94
27	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	11.16	11.52
28	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	10.22	10.48
29	8	文化遺産や史跡が大事にされること	10.02	10.31
30	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	9.81	10.46
31	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	9.72	10.32

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。

網かけは前回よりもニーズ得点が上昇したことを意味しており、前回との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、前回と今回との点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

県全体のニーズ得点が高い順に並べると、上位5項目までには健康・福祉や就労に関する項目がみられます。

前回に比べてニーズ得点が増えたのは7項目で、就労や産業に関する項目がみられます。また、差が最も大きいのは「失業の不安がなく働けること」と「いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること」(ともに0.69上昇)となっており、いずれも就労に関する項目となっています。



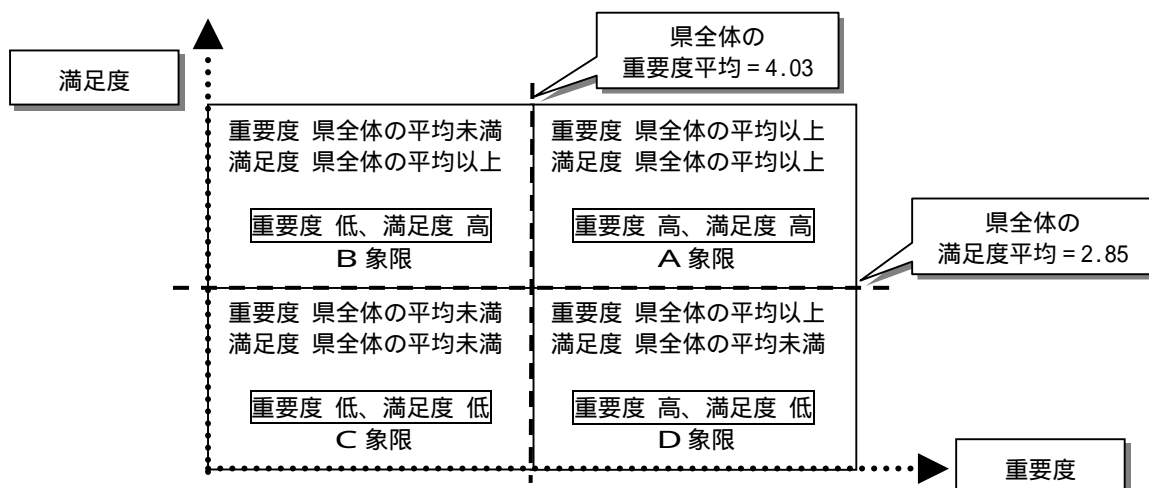
## 2 - 2 県全体の重要度と満足度の関係

### (1) 重要度と満足度の関係についての考え方

「県民の身近な生活に関する項目」31項目全体での重要度と満足度の平均点を県全体で求め、各平均点と31項目それぞれの重要度・満足度の対応を分析します。

31項目それぞれの重要度・満足度の評価は、「重要度が高く、満足度が高い(A象限)」「重要度が低く、満足度が高い(B象限)」「重要度が低く、満足度が低い(C象限)」「重要度が高く、満足度が低い(D象限)」という4つの象限でその関係を整理することができます。

図表 県全体の重要度と満足度の平均点及び31項目の重要度と満足度の関係図



31項目それぞれがどの象限に位置し、県全体の重要度と満足度の平均点に対して重要度あるいは満足度が高いのか、低いのかを検討する際には、以下の点に留意する必要があります。

今回の調査の重要度・満足度それぞれの評価の中間は「どちらともいえない=3.00」ですが、県全体の31項目全体での重要度の平均点は4.03、満足度の平均点は2.85です。重要度は「かなり重要」、満足度は「あまり満たされていない」という評価だといえます。

このことから、重要度については、県全体の重要度の平均点(4.03)が「どちらともいえない」よりも高いことから、県全体の重要度の平均点と「どちらともいえない」の間に属する項目は、県全体の重要度に比べて低い評価になりますが、今回の調査では31項目すべてが3.01以上であり、すべての項目が「重要である」という評価だということになります。

また、満足度については、県全体の満足度の平均点(2.85)が「どちらともいえない」よりも低いことから、県全体の満足度の平均点と2.99(「どちらともいえない」未満)の間に属する項目は、県全体の満足度に比べて高い評価になりますが、厳密には、「あまり満たされていないが、県全体の満足度の平均点からみると満足度は高いほうだ」という解釈ができることとなります。

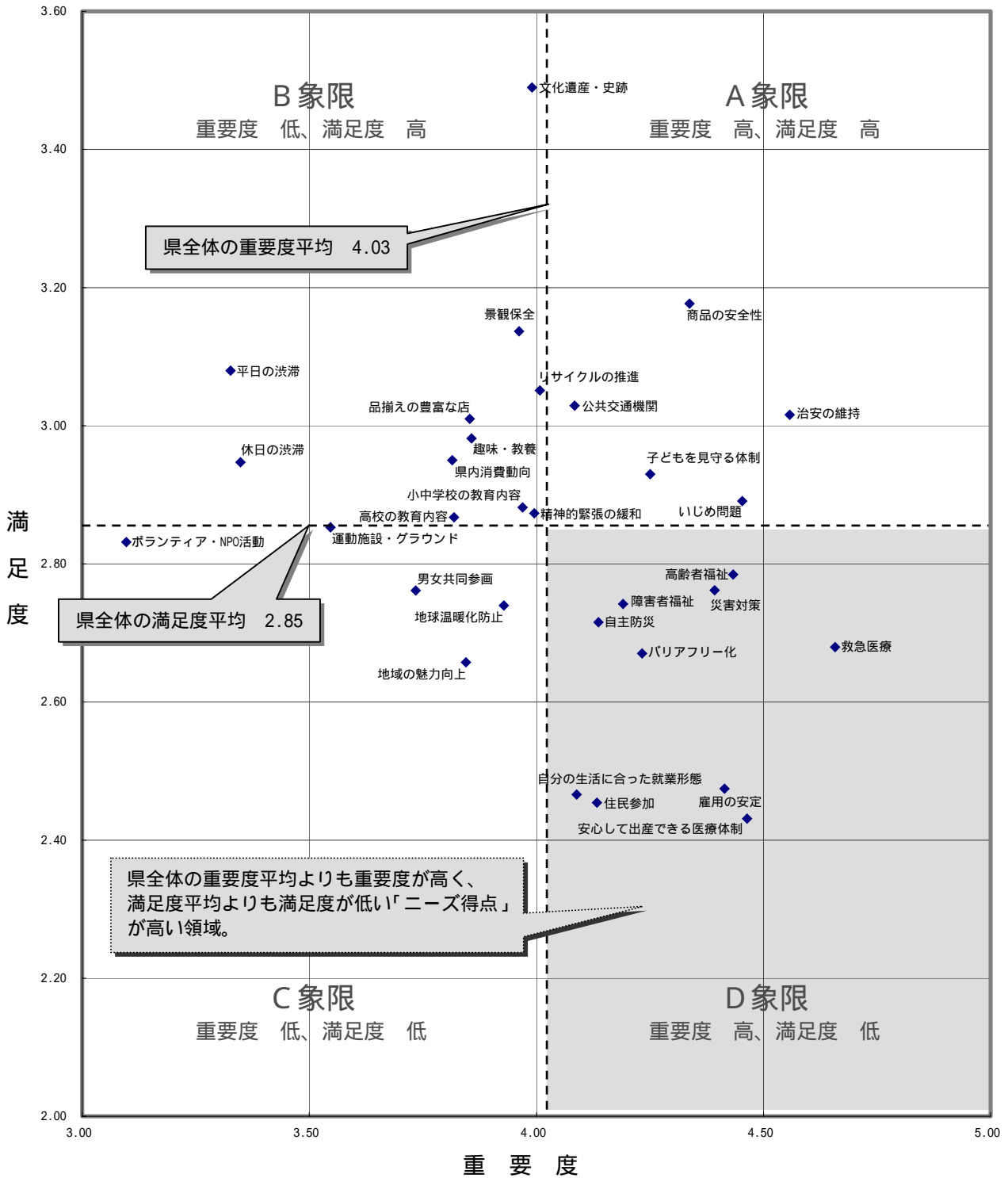
(2) 県民の身近な生活に関する31項目の重要度と満足度の関係

項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の高い順）

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	ニーズ得点
1	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心して出産できる医療体制	4.46	2.43	15.93
2	29	失業の不安がなく働けること	雇用の安定	4.41	2.47	15.56
3	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	救急医療	4.66	2.68	15.47
4	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	住民参加	4.13	2.45	14.66
5	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	自分の生活に合った就業形態	4.09	2.47	14.45
6	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	高齢者福祉	4.43	2.78	14.26
7	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	災害対策	4.39	2.76	14.22
8	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	バリアフリー化	4.23	2.67	14.09
9	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	いじめ問題	4.45	2.89	13.85
10	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者福祉	4.19	2.74	13.65
11	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	治安の維持	4.56	3.02	13.60
12	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災	4.14	2.72	13.59
13	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもを見守る体制	4.25	2.93	13.05
14	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域の魅力向上	3.84	2.66	12.85
15	27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	地球温暖化防止	3.93	2.74	12.81
16	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的緊張の緩和	4.00	2.87	12.49
17	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	小中学校の教育内容	3.97	2.88	12.38
18	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	商品の安全性	4.34	3.18	12.24
19	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通機関	4.08	3.03	12.13
20	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女共同参画	3.73	2.76	12.09
21	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	高校の教育内容	3.82	2.87	11.96
22	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	リサイクルの推進	4.01	3.05	11.82
23	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	趣味・教養	3.86	2.98	11.64
24	30	県内で買いたいものが販売されていること	県内消費動向	3.82	2.95	11.64
25	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.85	3.01	11.52
26	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	景観保全	3.96	3.14	11.34
27	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	運動施設・グラウンド	3.55	2.85	11.16
28	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞	3.35	2.95	10.22
29	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産・史跡	3.99	3.49	10.02
30	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPO活動	3.10	2.83	9.81
31	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞	3.33	3.08	9.72

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。

今回調査の重要度と満足度の関係図



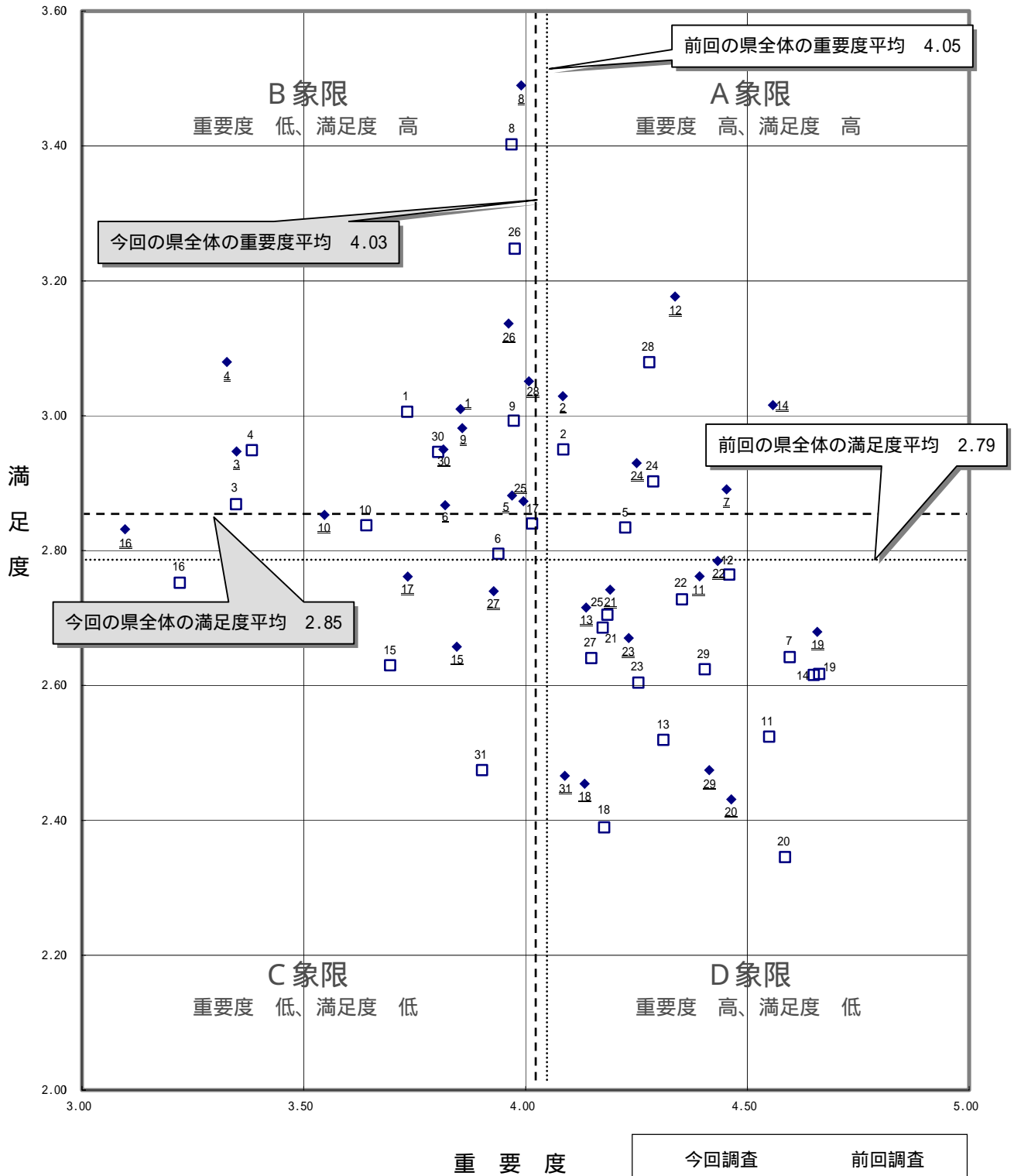
(3) 県民の身近な生活に関する31項目の重要度と満足度の前回調査との比較

重要度と満足度の関係の前回調査との比較

項目番号	項目	項目の略称	重要度		満足度		重要度・満足度の関係	
			今回	前回	今回	前回	前回	今回
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.85	3.73	3.01	3.01	B	B
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通機関	4.08	4.09	3.03	2.95	A	A
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞	3.35	3.35	2.95	2.87	B	B
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞	3.33	3.38	3.08	2.95	B	B
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	小中学校の教育内容	3.97	4.22	2.88	2.83	D	B
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	高校の教育内容	3.82	3.94	2.87	2.80	B	B
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	いじめ問題	4.45	4.60	2.89	2.64	D	A
8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産・史跡	3.99	3.97	3.49	3.40	B	B
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	趣味・教養	3.86	3.97	2.98	2.99	B	B
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	運動施設・グラウンド	3.55	3.64	2.85	2.84	B	B
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	災害対策	4.39	4.55	2.76	2.52	D	D
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	商品の安全性	4.34	4.46	3.18	2.76	D	A
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災	4.14	4.31	2.72	2.52	D	D
14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	治安の維持	4.56	4.65	3.02	2.62	D	A
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域の魅力向上	3.84	3.69	2.66	2.63	C	C
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPO活動	3.10	3.22	2.83	2.75	C	C
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女共同参画	3.73	4.02	2.76	2.84	B	C
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	住民参加	4.13	4.18	2.45	2.39	D	D
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	救急医療	4.66	4.66	2.68	2.62	D	D
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心して出産できる医療体制	4.46	4.58	2.43	2.35	D	D
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者福祉	4.19	4.17	2.74	2.69	D	D
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	高齢者福祉	4.43	4.35	2.78	2.73	D	D
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	バリアフリー化	4.23	4.25	2.67	2.60	D	D
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもを見守る体制	4.25	4.29	2.93	2.90	A	A
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的緊張の緩和	4.00	4.18	2.87	2.70	D	B
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	景観保全	3.96	3.98	3.14	3.25	B	B
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	地球温暖化防止	3.93	4.15	2.74	2.64	D	C
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	リサイクルの推進	4.01	4.28	3.05	3.08	A	B
29	失業の不安がなく働けること	雇用の安定	4.41	4.40	2.47	2.62	D	D
30	県内で買いたいものが販売されていること	県内消費動向	3.82	3.80	2.95	2.95	B	B
31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	自分の生活に合った就業形態	4.09	3.90	2.47	2.47	C	D

(注) 「重要度と満足度の関係」の前回と今回のA～Dの記号の対応については、41ページ「図表 県全体の重要度と満足度の平均点及び31項目の重要度と満足度の関係図」のA～Dの象限に対応している。  
網かけをした項目は、前回と今回で象限の移動(重要度と満足度の関係の変化)があったことを示している。

### 重要度と満足度の関係の前回調査との比較



(注)「県民の身近な項目」は、今回は31項目であるのに対して前回は82項目設定されていたため、上図の前回の重要度と満足度の県全体の平均は、82項目での平均となっている。

今回調査で設定した県民の身近な生活に関する31項目の重要度と満足度の関係図を前回調査の結果に基づく関係図と重ね合わせると、象限の移動(重要度と満足度の関係の変化)があった項目は、「5 小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること」(D B)、「7 子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと」(D A)、「12 食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること」(D A)、「14 住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること」(D A)、「17 男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること」(B C)、「25 イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと」(D B)、「27 一人ひとりが普段の生活においてCO<sub>2</sub>削減に取り組むこと」(D C)、「28 ゴミのリサイクルのしくみが整っていること」(A B)、「31 いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること」(C D)の9項目です。

このうち、ニーズ得点が高い「D象限」からニーズ得点が高い「B象限」へ移動したのは「5 小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること」と「25 イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと」となっています。

## 2 - 3 地域別の重要度と満足度の経年比較

### (1) 地域1 (北部)

図表 「地域1 (北部)」における重要度と満足度の経年比較

項目番号	項目	重要度			満足度		
		今回	前回	今回-前回	今回	前回	今回-前回
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.87	3.74	0.13	3.04	3.06	0.02
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	4.14	4.12	0.01	3.22	3.09	0.13
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.37	3.37	0.00	2.92	2.81	0.10
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.34	3.41	0.07	3.05	2.89	0.16
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	4.01	4.24	0.23	2.93	2.84	0.09
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.85	3.97	0.13	2.89	2.80	0.09
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.50	4.62	0.11	2.89	2.64	0.25
8	文化遺産や史跡が大事にされること	4.03	3.98	0.05	3.51	3.44	0.07
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.87	3.99	0.12	3.04	3.02	0.02
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.56	3.65	0.09	2.84	2.80	0.04
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.37	4.58	0.21	2.79	2.55	0.24
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.35	4.47	0.12	3.20	2.77	0.43
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.14	4.32	0.18	2.73	2.51	0.22
14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.56	4.68	0.12	3.04	2.59	0.45
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.82	3.69	0.14	2.73	2.63	0.11
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.09	3.21	0.12	2.84	2.74	0.10
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.76	4.03	0.27	2.79	2.84	0.05
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.13	4.18	0.05	2.51	2.38	0.13
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.65	4.68	0.02	2.72	2.62	0.10
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.46	4.57	0.11	2.49	2.41	0.08
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.21	4.18	0.03	2.78	2.68	0.10
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.46	4.37	0.10	2.80	2.69	0.11
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.27	4.25	0.02	2.70	2.60	0.11
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.29	4.28	0.00	2.94	2.92	0.02
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	3.99	4.18	0.19	2.90	2.72	0.18
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	4.00	3.97	0.03	3.19	3.21	0.03
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.96	4.14	0.18	2.77	2.65	0.12
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	4.02	4.27	0.25	3.08	3.07	0.01
29	失業の不安がなく働けること	4.40	4.41	0.01	2.51	2.64	0.12
30	県内で買いたいものが販売されていること	3.80	3.78	0.02	2.96	2.96	0.01
31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.06	3.89	0.17	2.53	2.50	0.03

(注) 網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第3位以下も考慮している。

重要度が最も上昇した項目は「いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること」、満足度が最も低下した項目は「失業の不安がなく働けること」となっています。

(2) 地域2 (西部)

図表 「地域2 (西部)」における重要度と満足度の経年比較

項目番号	項目	重要度			満足度		
		今回	前回	今回-前回	今回	前回	今回-前回
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.88	3.73	0.16	2.92	2.95	0.03
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	4.10	4.12	0.01	3.05	2.98	0.07
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.34	3.30	0.04	2.96	2.93	0.04
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.26	3.29	0.03	3.09	2.98	0.11
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.89	4.26	0.37	2.90	2.77	0.12
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.73	3.92	0.19	2.90	2.74	0.15
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.39	4.59	0.20	2.95	2.62	0.33
8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.97	4.08	0.11	3.53	3.40	0.12
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.88	4.07	0.19	2.99	2.99	0.00
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.55	3.70	0.15	2.96	2.93	0.02
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.59	0.20	2.82	2.51	0.30
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.36	4.47	0.11	3.15	2.76	0.39
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.15	4.31	0.16	2.70	2.49	0.21
14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.61	4.65	0.05	2.92	2.55	0.37
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.88	3.72	0.16	2.73	2.71	0.01
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.10	3.24	0.13	2.85	2.80	0.05
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.71	4.05	0.33	2.78	2.85	0.07
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.21	4.13	0.08	2.45	2.51	0.06
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.68	4.65	0.03	2.80	2.66	0.14
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.37	4.60	0.22	2.50	2.44	0.06
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.15	4.20	0.05	2.81	2.75	0.06
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.45	4.34	0.12	2.80	2.79	0.01
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.25	4.29	0.04	2.71	2.66	0.05
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.26	4.33	0.07	2.98	2.87	0.12
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.01	4.17	0.16	2.92	2.73	0.19
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.96	4.03	0.08	3.15	3.27	0.13
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.99	4.14	0.15	2.72	2.68	0.03
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	4.00	4.30	0.30	2.98	3.03	0.05
29	失業の不安がなく働けること	4.37	4.42	0.05	2.59	2.69	0.10
30	県内で買いたいものが販売されていること	3.75	3.83	0.08	2.88	2.89	0.01
31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.06	3.95	0.11	2.48	2.39	0.09

(注) 網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第3位以下も考慮している。

重要度が最も上昇した項目は「品揃えの豊富な店が近くにあること」と「自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること」、満足度が最も低下した項目は「自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと」となっています。



(3) 地域3 (中部)

図表 「地域3 (中部)」における重要度と満足度の経年比較

項目番号	項目	重要度			満足度		
		今回	前回	今回-前回	今回	前回	今回-前回
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.87	3.72	0.15	3.27	3.20	0.08
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	4.07	4.01	0.06	3.08	3.08	0.01
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.37	3.36	0.02	2.95	2.92	0.02
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.35	3.39	0.04	3.11	3.02	0.09
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.92	4.21	0.28	2.87	2.87	0.00
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.80	3.93	0.13	2.86	2.81	0.04
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.39	4.58	0.19	2.89	2.63	0.25
8	文化遺産や史跡が大事にされること	4.01	3.95	0.06	3.48	3.39	0.09
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.88	3.94	0.06	2.95	3.02	0.06
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.58	3.64	0.06	2.89	2.90	0.02
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.43	4.50	0.07	2.76	2.54	0.22
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.32	4.45	0.12	3.24	2.76	0.48
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.14	4.29	0.16	2.74	2.57	0.17
14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.57	4.62	0.05	2.96	2.64	0.32
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.84	3.66	0.18	2.67	2.68	0.00
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.12	3.20	0.09	2.83	2.77	0.06
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.71	3.98	0.27	2.77	2.85	0.08
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.13	4.17	0.03	2.44	2.39	0.06
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.66	4.65	0.01	2.72	2.66	0.06
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.50	4.58	0.08	2.45	2.34	0.11
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.19	4.16	0.03	2.73	2.70	0.03
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.41	4.34	0.06	2.80	2.76	0.03
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.22	4.28	0.07	2.67	2.63	0.04
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.23	4.31	0.08	2.93	2.90	0.02
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.00	4.20	0.20	2.85	2.68	0.17
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.93	3.97	0.03	3.06	3.25	0.19
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.89	4.16	0.28	2.70	2.59	0.10
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	4.01	4.31	0.30	3.01	3.10	0.10
29	失業の不安がなく働けること	4.43	4.38	0.05	2.43	2.63	0.20
30	県内で買いたいものが販売されていること	3.84	3.82	0.02	3.07	2.99	0.07
31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.11	3.84	0.27	2.44	2.56	0.13

(注) 網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第3位以下も考慮している。

重要度が最も上昇した項目は「いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること」、満足度が最も低下した項目は「失業の不安がなく働けること」となっています。

(4) 地域4 (東部)

図表 「地域4 (東部)」における重要度と満足度の経年比較

項目番号	項目	重要度			満足度		
		今回	前回	今回-前回	今回	前回	今回-前回
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.75	3.74	0.01	2.57	2.60	0.03
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.96	4.12	0.16	2.51	2.31	0.20
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.25	3.27	0.02	3.13	3.01	0.13
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.32	3.35	0.03	3.23	3.05	0.17
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.95	4.23	0.29	2.77	2.78	0.01
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.81	3.84	0.03	2.85	2.78	0.07
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.43	4.54	0.12	2.82	2.68	0.15
8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.90	3.90	0.00	3.44	3.28	0.16
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.77	3.93	0.16	2.88	2.87	0.01
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.46	3.55	0.09	2.74	2.78	0.04
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.40	4.47	0.07	2.69	2.46	0.23
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.32	4.44	0.12	3.03	2.77	0.25
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.10	4.30	0.20	2.68	2.49	0.18
14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.49	4.63	0.13	3.10	2.67	0.44
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.88	3.75	0.13	2.36	2.53	0.17
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.05	3.24	0.19	2.80	2.78	0.02
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.66	4.02	0.36	2.67	2.87	0.20
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.04	4.25	0.21	2.32	2.38	0.07
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.64	4.65	0.02	2.44	2.60	0.16
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.46	4.62	0.17	2.39	2.32	0.07
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.15	4.14	0.00	2.67	2.64	0.04
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.38	4.33	0.05	2.69	2.73	0.04
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.16	4.20	0.04	2.56	2.57	0.01
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.15	4.25	0.10	2.82	2.86	0.04
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.05	4.18	0.13	2.78	2.71	0.07
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.90	4.00	0.11	3.07	3.35	0.28
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.83	4.17	0.33	2.74	2.66	0.08
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.92	4.25	0.33	3.09	3.10	0.02
29	失業の不安がなく働けること	4.44	4.38	0.06	2.32	2.60	0.27
30	県内で買いたいものが販売されていること	3.90	3.85	0.06	2.75	2.86	0.11
31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.15	3.99	0.16	2.29	2.45	0.16

(注) 網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第3位以下も考慮している。

重要度が最も上昇した項目は「いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること」、満足度が最も低下した項目は「自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと」となっています。

(5) 地域5 (南東部)

図表 「地域5 (南東部)」における重要度と満足度の経年比較

項目番号	項目	重要度			満足度		
		今回	前回	今回-前回	今回	前回	今回-前回
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.69	3.71	0.02	2.29	2.30	0.00
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.80	4.04	0.24	2.12	2.15	0.03
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.18	3.25	0.07	2.94	2.86	0.08
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.20	3.33	0.13	3.00	2.92	0.08
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	4.03	4.21	0.18	2.77	2.76	0.00
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.83	3.90	0.07	2.74	2.73	0.02
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.44	4.55	0.11	3.03	2.60	0.43
8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.77	3.95	0.18	3.37	3.31	0.05
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.79	3.90	0.12	2.82	2.89	0.07
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.32	3.62	0.29	2.77	2.93	0.16
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.45	4.59	0.14	2.60	2.36	0.24
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.20	4.49	0.29	2.95	2.79	0.16
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.11	4.39	0.27	2.59	2.47	0.13
14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.38	4.60	0.22	3.12	2.73	0.40
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.94	3.85	0.09	2.22	2.40	0.18
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.08	3.36	0.28	2.75	2.62	0.14
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.71	4.06	0.35	2.64	2.76	0.11
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.09	4.24	0.16	2.37	2.36	0.01
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.64	4.68	0.04	2.31	2.24	0.07
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.49	4.63	0.14	1.85	1.70	0.15
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.17	4.18	0.01	2.47	2.63	0.16
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.34	4.36	0.02	2.78	2.74	0.04
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.07	4.17	0.10	2.54	2.53	0.01
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.13	4.27	0.14	3.05	2.90	0.15
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	3.93	4.16	0.22	2.82	2.61	0.21
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.90	3.98	0.08	3.21	3.33	0.12
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.83	4.19	0.36	2.70	2.63	0.07
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	4.02	4.21	0.19	3.19	3.08	0.11
29	失業の不安がなく働けること	4.46	4.48	0.02	2.44	2.38	0.06
30	県内で買いたいものが販売されていること	3.90	3.82	0.08	2.87	2.87	0.01
31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.11	4.06	0.05	2.28	2.05	0.23

(注) 網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第3位以下も考慮している。

重要度が最も上昇した項目及び満足度が最も低下した項目は「自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること」となっています。

(6) 地域6 (南西部)

図表 「地域6 (南西部)」における重要度と満足度の経年比較

項目番号	項目	重要度			満足度		
		今回	前回	今回-前回	今回	前回	今回-前回
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.79	3.73	0.06	2.31	2.38	0.08
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.95	3.99	0.04	1.73	1.87	0.15
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.31	3.38	0.07	2.98	2.80	0.18
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.37	3.37	0.00	3.03	2.92	0.11
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	4.04	4.05	0.01	2.56	2.80	0.24
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.83	3.81	0.02	2.70	2.84	0.15
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.45	4.53	0.08	2.74	2.73	0.01
8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.72	3.75	0.03	3.33	3.21	0.11
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.75	3.92	0.17	2.70	2.82	0.12
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.42	3.59	0.16	2.74	2.61	0.13
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.45	4.53	0.08	2.54	2.40	0.14
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.32	4.30	0.02	3.00	2.75	0.25
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.17	4.32	0.15	2.54	2.40	0.14
14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.58	4.57	0.02	3.01	2.76	0.24
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.96	3.73	0.23	2.24	2.44	0.20
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.11	3.23	0.12	2.72	2.66	0.06
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.83	3.95	0.12	2.57	2.81	0.24
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.23	4.20	0.03	2.11	2.24	0.13
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.71	4.58	0.13	2.26	2.48	0.21
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.61	4.68	0.07	1.74	1.79	0.05
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.19	4.15	0.03	2.48	2.58	0.09
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.35	4.33	0.02	2.61	2.72	0.10
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.12	4.20	0.08	2.42	2.52	0.09
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.23	4.15	0.08	2.72	2.85	0.14
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	3.93	4.13	0.21	2.76	2.67	0.09
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.84	3.81	0.02	3.08	3.36	0.28
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.92	4.11	0.19	2.67	2.65	0.02
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	4.07	4.27	0.20	2.93	3.08	0.14
29	失業の不安がなく働けること	4.46	4.45	0.01	2.27	2.44	0.17
30	県内で買いたいものが販売されていること	3.79	3.84	0.05	2.67	2.80	0.13
31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.18	4.03	0.15	2.28	2.15	0.13

(注) 網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。なお、点数の比較の際には、小数第3位以下も考慮している。

重要度が最も上昇した項目は「自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること」、満足度が最も低下した項目は「自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと」となっています。

## 2 - 4 県全体と属性別の重要度・満足度の傾向の比較

### (1) 地域別の重要度・満足度の比較

#### 「県全体」の重要度上位10項目及び地域別での比較

図表 「県全体」の重要度上位10項目及び地域別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.66	4.65	4.68	4.66	4.64	4.64	4.71
2	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.56	4.56	4.61	4.57	4.49	4.38	4.58
3	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.46	4.46	4.37	4.50	4.46	4.49	4.61
4	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.45	4.50	4.39	4.39	4.43	4.44	4.45
5	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.43	4.46	4.45	4.41	4.38	4.34	4.35
6	29	失業の不安がなく働けること	4.41	4.40	4.37	4.43	4.44	4.46	4.46
7	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.37	4.39	4.43	4.40	4.45	4.45
8	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.34	4.35	4.36	4.32	4.32	4.20	4.32
9	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.25	4.29	4.26	4.23	4.15	4.13	4.23
10	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.23	4.27	4.25	4.22	4.16	4.07	4.12

(注) 網かけは、地域での重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」と地域との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の上位10項目を地域別にみると、「地域1(北部)」と「地域2(西部)」では「県全体」よりも重要度が高い項目が6項目で、他の地域に比べて多くなっています。

## 地域別の重要度上位 5 項目の傾向

図表 地域別の重要度上位 5 項目の傾向

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.56	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.45	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43
地域 1 (北部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.65	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.56	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.50	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.46	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46
地域 2 (西部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.68	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.61	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.45	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.39	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.39
地域 3 (中部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.57	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.50	失業の不安がなく働けること 4.43	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.43
地域 4 (東部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.64	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.49	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46	失業の不安がなく働けること 4.44	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.43
地域 5 (南東部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.64	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.49	失業の不安がなく働けること 4.46	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.45	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.44
地域 6 (南西部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.71	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.61	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.58	失業の不安がなく働けること 4.46	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.45

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。  
点数表記は小数第 2 位までだが、順位の決定には小数第 3 位以下も考慮している。

重要度上位 5 項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「失業の不安がなく働けること」(「地域 5 (南東部)」の第 3 位、「地域 3 (中部)」「地域 4 (東部)」「地域 6 (南西部)」の第 4 位)、「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」(「地域 2 (西部)」と「地域 5 (南東部)」の第 4 位、「地域 3 (中部)」と「地域 6 (南西部)」の第 5 位)となっています。

「県全体」の満足度上位10項目と下位10項目及び地域別での比較

図表 「県全体」の満足度上位10項目と下位10項目及び地域別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.49	3.51	3.53	3.48	3.44	3.37	3.33
2	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	3.18	3.20	3.15	3.24	3.03	2.95	3.00
3	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.14	3.19	3.15	3.06	3.07	3.21	3.08
4	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.08	3.05	3.09	3.11	3.23	3.00	3.03
5	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.05	3.08	2.98	3.01	3.09	3.19	2.93
6	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.03	3.22	3.05	3.08	2.51	2.12	1.73
7	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	3.02	3.04	2.92	2.96	3.10	3.12	3.01
8	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.01	3.04	2.92	3.27	2.57	2.29	2.31
9	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	2.98	3.04	2.99	2.95	2.88	2.82	2.70
10	30	県内で買いたいものが販売されていること	2.95	2.96	2.88	3.07	2.75	2.87	2.67
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
22	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	2.74	2.78	2.81	2.73	2.67	2.47	2.48
23	27	一人ひとりが普通の生活においてCO2削減に取り組むこと	2.74	2.77	2.72	2.70	2.74	2.70	2.67
24	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること	2.72	2.73	2.70	2.74	2.68	2.59	2.54
25	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	2.68	2.72	2.80	2.72	2.44	2.31	2.26
26	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	2.67	2.70	2.71	2.67	2.56	2.54	2.42
27	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	2.66	2.73	2.73	2.67	2.36	2.22	2.24
28	29	失業の不安がなく働けること	2.47	2.51	2.59	2.43	2.32	2.44	2.27
29	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	2.47	2.53	2.48	2.44	2.29	2.28	2.28
30	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	2.45	2.51	2.45	2.44	2.32	2.37	2.11
31	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	2.43	2.49	2.50	2.45	2.39	1.85	1.74

(注) 網かけは、地域での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と地域との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の上位・下位10項目を地域別にみると、「地域6(南西部)」では、上位・下位の10項目すべての満足度が「県全体」に比べて低くなっています。

## 地域別の満足度上位5項目の傾向

図表 地域別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡が大事にされること 3.49	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.18	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.14	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.08	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.05
地域1 (北部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.51	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 3.22	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.20	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.19	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.08
地域2 (西部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.53	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.15	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.15	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.09	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 3.05
地域3 (中部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.48	品揃えの豊富な店が近くにあること 3.27	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.24	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.11	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 3.08
地域4 (東部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.44	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.23	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.13	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.10	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.09
地域5 (南東部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.37	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.21	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.19	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.12	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること 3.05
地域6 (南西部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.33	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.08	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.03	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.01	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.00

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

満足度上位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと」(「地域1(北部)」の第2位、「地域2(西部)」と「地域3(中部)」の第5位)、「住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること」(「地域4(東部)」「地域5(南東部)」「地域6(南西部)」の第4位)などとなっています。



## 地域別の満足度下位 5 項目の傾向

図表 地域別の満足度下位 5 項目の傾向

	第31位	第30位	第29位	第28位	第27位
県全体	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.43	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.45	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	失業の不安がなく働けること 2.47	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.66
地域1 (北部)	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.49	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.51	失業の不安がなく働けること 2.51	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.53	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること 2.70
地域2 (西部)	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.45	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.48	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.50	失業の不安がなく働けること 2.59	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと 2.70
地域3 (中部)	失業の不安がなく働けること 2.43	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.44	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.44	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.45	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること 2.67
地域4 (東部)	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.29	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.32	失業の不安がなく働けること 2.32	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.36	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.39
地域5 (南東部)	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 1.85	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 2.12	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.22	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.28	品揃えの豊富な店が近くにあること 2.29
地域6 (南西部)	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 1.73	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 1.74	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.11	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.24	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.26

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の下位 5 項目にはない項目。

点数表記は小数第 2 位までだが、順位の設定は小数第 3 位以下も考慮している。

満足度下位 5 項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと」(「地域 6 (南西部)」の第 31 位、「地域 5 (南東部)」の第 30 位)、「高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること」(「地域 1 (北部)」と「地域 3 (中部)」の第 27 位) などとなっています。

(2) ライフステージ別の重要度・満足度の比較

「県全体」の重要度上位10項目及びライフステージ別での比較

図表 「県全体」の重要度上位10項目及びライフステージ別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	若者	夫婦	育児期	教育期前期	教育期後期	単身高齢者	高齢者夫婦
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.66	4.71	4.66	4.72	4.66	4.74	4.55	4.57
2	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.56	4.66	4.55	4.65	4.63	4.65	4.15	4.44
3	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.46	4.61	4.38	4.58	4.46	4.56	3.90	4.28
4	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.45	4.41	4.36	4.69	4.66	4.43	4.37	4.38
5	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.43	4.40	4.43	4.32	4.39	4.49	4.43	4.48
6	29	失業の不安がなく働けること	4.41	4.55	4.41	4.42	4.52	4.47	3.83	4.19
7	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.47	4.40	4.42	4.43	4.51	4.15	4.25
8	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.34	4.42	4.36	4.40	4.39	4.34	3.91	4.20
9	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.25	4.22	4.20	4.49	4.38	4.24	3.51	4.24
10	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.23	4.25	4.23	4.19	4.22	4.27	3.96	4.26

(注) 網かけは、ライフステージでの重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」とライフステージとの比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の上位10項目をライフステージ別にみると、「単身高齢者」では10項目すべてが「県全体」の重要度を下回っています。

## ライフステージ別の重要度上位5項目の傾向

図表 ライフステージ別の重要度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.56	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.45	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43
若者	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.71	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.66	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.61	失業の不安がなく働けること 4.55	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.47
夫婦	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.55	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43	失業の不安がなく働けること 4.41	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.40
育児期	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.72	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.69	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.65	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.58	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること 4.49
教育期前期	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.66	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.63	失業の不安がなく働けること 4.52	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46
教育期後期	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.74	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.65	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.56	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.51	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.49
単身高齢者	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.55	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.37	文化遺産や史跡が大事にされること 4.22	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 4.20
高齢者夫婦	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.57	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.48	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.44	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.38	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.28

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

重要度上位5項目で、個別のライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「失業の不安がなく働けること」(「若者」「夫婦」「教育期前期」の第4位)、「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」(「教育期後期」の第4位、「若者」と「夫婦」の第5位)などとなっています。

「県全体」の満足度上位10項目と下位10項目及びライフステージ別での比較

図表 「県全体」の満足度上位10項目と下位10項目及びライフステージ別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	若者	夫婦	育児期	教育期前期	教育期後期	単身高齢者	高齢者夫婦
1	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.49	3.48	3.40	3.52	3.50	3.46	3.19	3.64
2	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	3.18	3.20	3.05	3.18	3.16	3.04	3.30	3.38
3	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.14	3.17	3.08	3.10	3.17	3.09	3.10	3.21
4	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.08	3.05	3.03	3.03	3.09	3.05	3.05	3.18
5	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.05	2.78	3.04	2.93	3.01	2.96	3.24	3.50
6	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.03	2.84	2.97	2.85	2.99	3.00	3.09	3.20
7	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	3.02	3.01	2.98	2.87	2.95	3.02	2.91	3.14
8	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.01	2.74	2.93	2.92	3.05	2.96	2.68	3.05
9	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	2.98	2.84	2.91	2.96	2.93	2.88	2.98	3.26
10	30	県内で買いたいものが販売されていること	2.95	2.60	2.90	2.81	3.02	3.02	3.17	3.17
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
22	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	2.74	2.73	2.69	2.75	2.73	2.70	3.16	2.90
23	27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	2.74	2.64	2.75	2.72	2.73	2.73	3.04	2.87
24	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	2.72	2.62	2.69	2.70	2.69	2.67	2.22	2.88
25	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	2.68	2.51	2.50	2.52	2.63	2.58	3.20	3.00
26	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	2.67	2.69	2.58	2.64	2.66	2.59	2.97	2.80
27	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	2.66	2.59	2.66	2.64	2.72	2.62	2.70	2.74
28	29	失業の不安がなく働けること	2.47	2.35	2.37	2.53	2.53	2.47	2.84	2.63
29	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	2.47	2.44	2.46	2.41	2.47	2.44	2.67	2.58
30	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	2.45	2.41	2.44	2.33	2.41	2.44	2.90	2.61
31	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	2.43	2.23	2.34	2.43	2.39	2.41	2.85	2.76

(注) 網かけは、ライフステージでの満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」とライフステージとの比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の上位10項目をライフステージ別にみると、「夫婦」では上位10項目すべての満足度が「県全体」に比べて低くなっています。

下位10項目では、「教育期後期」で10項目すべての満足度が「県全体」に比べて低くなっています。

## ライフステージ別の満足度上位5項目の傾向

図表 ライフステージ別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡が大事にされること 3.49	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.18	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.14	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.08	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.05
若者	文化遺産や史跡が大事にされること 3.48	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.20	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.17	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.05	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.01
夫婦	文化遺産や史跡が大事にされること 3.40	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.08	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.05	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.04	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.03
育児期	文化遺産や史跡が大事にされること 3.52	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.18	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.10	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.03	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること 2.96
教育期前期	文化遺産や史跡が大事にされること 3.50	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.17	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.16	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.09	品揃えの豊富な店が近くにあること 3.05
教育期後期	文化遺産や史跡が大事にされること 3.46	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.09	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.05	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.04	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.02
単身高齢者	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.30	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.24	急病時に診てもらえる医療機関があること 3.20	文化遺産や史跡が大事にされること 3.19	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること 3.18
高齢者夫婦	文化遺産や史跡が大事にされること 3.64	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.50	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.38	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること 3.26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.21

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

満足度上位5項目で、個別のライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること」(「高齢者夫婦」の第4位、「育児期」の第5位)、「住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること」(「若者」と「教育期後期」の第5位)などとなっています。

## ライフステージ別の満足度下位5項目の傾向

図表 ライフステージ別の満足度下位5項目の傾向

	第31位	第30位	第29位	第28位	第27位
県全体	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.43	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.45	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	失業の不安がなく働けること 2.47	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.66
若者	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.23	失業の不安がなく働けること 2.35	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.41	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.44	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.51
夫婦	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.34	失業の不安がなく働けること 2.37	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.44	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.46	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.50
育児期	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.41	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.43	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.52	失業の不安がなく働けること 2.53
教育期前期	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.39	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.41	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	失業の不安がなく働けること 2.53	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.63
教育期後期	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.41	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.44	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.44	失業の不安がなく働けること 2.47	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.58
単身高齢者	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること 2.22	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 2.62	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.67	品揃えの豊富な店が近くにあること 2.68	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと 2.69
高齢者夫婦	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.58	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.61	失業の不安がなく働けること 2.63	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.74	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.76

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

満足度下位5項目で、個別のライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「急病時に診てもらえる医療機関があること」(「育児期」の第28位、「若者」「夫婦」「教育期前期」「教育期後期」の第27位)、「家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること」(「単身高齢者」の第31位)、「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」(「単身高齢者」の第30位)などとなっています。

### (3) 性別の重要度・満足度の比較

#### 「県全体」の重要度上位10項目及び性別での比較

図表 「県全体」の重要度上位10項目及び性別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	男性	女性
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.66	4.62	4.69
2	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.56	4.51	4.61
3	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.46	4.43	4.50
4	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.45	4.36	4.54
5	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.43	4.35	4.51
6	29	失業の不安がなく働けること	4.41	4.36	4.47
7	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.32	4.47
8	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.34	4.28	4.40
9	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.25	4.18	4.32
10	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.23	4.15	4.31

(注) 網かけは、性別での重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」と性別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の上位10項目を性別にみると、「女性」では、10項目すべての重要度が「県全体」と「男性」に比べて高くなっています。

## 性別の重要度上位5項目の傾向

図表 性別の重要度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.56	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.45	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43
男性	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.62	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.51	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.43	失業の不安がなく働けること 4.36	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.36
女性	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.69	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.61	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.54	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.51	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.50

(注) 網かけは、性別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

重要度上位5項目で、性別にはあるが「県全体」にはない項目(性別により個別に重要度が高い項目)は、「失業の不安がなく働けること」(「男性」の第4位)となっています。



「県全体」の満足度上位10項目と下位10項目及び性別での比較

図表 「県全体」の満足度上位10項目と下位10項目及び性別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	男性	女性
1	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.49	3.52	3.46
2	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	3.18	3.22	3.13
3	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.14	3.09	3.18
4	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.08	3.02	3.14
5	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.05	2.99	3.10
6	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.03	3.05	3.00
7	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	3.02	3.04	2.99
8	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.01	3.03	2.99
9	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	2.98	3.01	2.95
10	30	県内で買いたいものが販売されていること	2.95	2.93	2.97
∴	∴	∴	∴	∴	∴
22	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	2.74	2.72	2.76
23	27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	2.74	2.70	2.78
24	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること	2.72	2.73	2.70
25	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	2.68	2.67	2.67
26	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	2.67	2.69	2.65
27	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	2.66	2.61	2.70
28	29	失業の不安がなく働けること	2.47	2.48	2.47
29	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	2.47	2.48	2.45
30	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	2.45	2.41	2.49
31	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	2.43	2.48	2.38

(注) 網かけは、性別での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と性別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の下位10項目を性別にみると、「失業の不安がなく働けること」や「いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること」といった就労に関する項目の満足度は、「女性」が「男性」に比べて低くなっています。

## 性別の満足度上位5項目の傾向

図表 性別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡が大事にされること 3.49	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.18	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.14	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.08	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.05
男性	文化遺産や史跡が大事にされること 3.52	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.22	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.09	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 3.05	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.04
女性	文化遺産や史跡が大事にされること 3.46	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.18	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.14	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.13	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.10

(注) 網かけは、性別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

満足度上位5項目で、性別にはあるが「県全体」にはない項目は、「男性」の「電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと」(第4位)、「住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること」(第5位)となっています。

## 性別の満足度下位5項目の傾向

図表 性別の満足度下位5項目の傾向

	第31位	第30位	第29位	第28位	第27位
県全体	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.43	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.45	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	失業の不安がなく働けること 2.47	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.66
男性	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.41	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.48	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.48	失業の不安がなく働けること 2.48	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.61
女性	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.38	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.45	失業の不安がなく働けること 2.47	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.49	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること 2.65

(注) 網かけは、性別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

満足度下位5項目で、性別にはあるが「県全体」にはない項目は、「女性」の「高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること」(第27位)となっています。

(4) 年齢別の重要度・満足度の比較

「県全体」の重要度上位10項目及び年齢別での比較

図表 「県全体」の重要度上位10項目及び年齢別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.66	4.72	4.72	4.67	4.69	4.60	4.58
2	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.56	4.67	4.68	4.61	4.57	4.47	4.43
3	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.46	4.63	4.54	4.51	4.44	4.39	4.32
4	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.45	4.43	4.60	4.51	4.46	4.40	4.32
5	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.43	4.41	4.34	4.45	4.51	4.43	4.44
6	29	失業の不安がなく働けること	4.41	4.57	4.48	4.52	4.44	4.36	4.17
7	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.47	4.44	4.43	4.41	4.33	4.30
8	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.34	4.43	4.37	4.40	4.36	4.26	4.25
9	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.25	4.25	4.43	4.26	4.23	4.21	4.16
10	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.23	4.27	4.24	4.25	4.30	4.17	4.18

(注) 網かけは、年齢での重要度が「県全体」よりも高いことを意味する。ただし、「県全体」と年齢との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の上位10項目を年齢別にみると、「40歳代」では、10項目すべての重要度が「県全体」に比べて高くなっており、「30歳代」でも10項目中9項目の重要度が「県全体」に比べて高くなっています。

「急病時に診てもらえる医療機関があること」や「住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること」「安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること」「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」「食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること」などは、年齢層が低いほど重要度が高い傾向がみられます。

## 年齢別の重要度上位5項目の傾向

図表 年齢別の重要度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.56	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.45	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43
20歳代	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.72	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.67	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.63	失業の不安がなく働けること 4.57	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.47
30歳代	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.72	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.68	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.60	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.54	失業の不安がなく働けること 4.48
40歳代	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.67	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.61	失業の不安がなく働けること 4.52	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.51	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.51
50歳代	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.69	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.57	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.51	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.46	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.44
60歳代	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.60	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.47	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.40	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.39
70歳以上	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.58	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.44	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.43	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.32	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.32

(注) 網かけは、年齢にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

重要度上位5項目で、個別の年齢にはあるが「県全体」にはない項目は、「失業の不安がなく働けること」(「40歳代」の第3位、「20歳代」の第4位、「30歳代」の第5位)、「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」(「20歳代」の第5位)となっています。

## 「県全体」の満足度上位10項目と下位10項目及び年齢別での比較

図表 「県全体」の満足度上位10項目と下位10項目及び年齢別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.49	3.47	3.47	3.45	3.44	3.51	3.59
2	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	3.18	3.18	3.13	3.17	3.06	3.16	3.36
3	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.14	3.16	3.09	3.13	3.06	3.16	3.21
4	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.08	3.03	3.09	3.08	3.01	3.13	3.14
5	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.05	2.78	2.85	2.96	2.99	3.17	3.43
6	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.03	2.82	2.94	2.97	3.03	3.14	3.18
7	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	3.02	2.99	2.88	2.97	3.02	3.05	3.14
8	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.01	2.74	3.02	3.04	3.02	3.14	3.05
9	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	2.98	2.85	2.94	2.86	2.95	3.07	3.17
10	30	県内で買いたいものが販売されていること	2.95	2.60	2.79	3.00	2.97	3.05	3.17
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
22	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	2.74	2.72	2.70	2.70	2.68	2.75	2.89
23	27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	2.74	2.62	2.67	2.75	2.67	2.77	2.93
24	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	2.72	2.60	2.69	2.71	2.64	2.80	2.82
25	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	2.68	2.49	2.42	2.61	2.62	2.76	3.05
26	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	2.67	2.67	2.60	2.63	2.58	2.67	2.84
27	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	2.66	2.58	2.67	2.67	2.64	2.63	2.76
28	29	失業の不安がなく働けること	2.47	2.33	2.49	2.46	2.49	2.42	2.64
29	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	2.47	2.44	2.37	2.47	2.44	2.47	2.58
30	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	2.45	2.41	2.34	2.43	2.44	2.43	2.63
31	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	2.43	2.23	2.28	2.41	2.41	2.50	2.72

(注) 網かけは、年齢での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と年齢との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の上位10項目を年齢別にみると、「20歳代」から「40歳代」では10項目中8項目の満足度が「県全体」に比べて低くなっています。

下位10項目は、「20歳代」では10項目すべての満足度が「県全体」に比べて低くなっており、満足度上位・下位10項目については、年齢層が低いほど「県全体」に比べて低い項目が多くなっています。

## 年齢別の満足度上位5項目の傾向

図表 年齢別の満足度上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡が大事に されること 3.49	食品や薬品などの商品・ サービスの安全性が確保 されていること 3.18	自分の住む地域の景観や 町並みが美しいこと 3.14	平日の道路の渋滞が解消 され、自動車での外出が 快適なこと 3.08	ゴミのリサイクルのしく みが整っていること 3.05
20歳代	文化遺産や史跡が大事に されること 3.47	食品や薬品などの商品・ サービスの安全性が確保 されていること 3.18	自分の住む地域の景観や 町並みが美しいこと 3.16	平日の道路の渋滞が解消 され、自動車での外出が 快適なこと 3.03	住民が犯罪に遭うことが なく、その不安も感じる ことなく暮らせること 2.99
30歳代	文化遺産や史跡が大事に されること 3.47	食品や薬品などの商品・ サービスの安全性が確保 されていること 3.13	自分の住む地域の景観や 町並みが美しいこと 3.09	平日の道路の渋滞が解消 され、自動車での外出が 快適なこと 3.09	品揃えの豊富な店が近く にあること 3.02
40歳代	文化遺産や史跡が大事に されること 3.45	食品や薬品などの商品・ サービスの安全性が確保 されていること 3.17	自分の住む地域の景観や 町並みが美しいこと 3.13	平日の道路の渋滞が解消 され、自動車での外出が 快適なこと 3.08	品揃えの豊富な店が近く にあること 3.04
50歳代	文化遺産や史跡が大事に されること 3.44	食品や薬品などの商品・ サービスの安全性が確保 されていること 3.06	自分の住む地域の景観や 町並みが美しいこと 3.06	電車、バス、タクシーな どの公共的な交通機関が 利用しやすいこと 3.03	住民が犯罪に遭うことが なく、その不安も感じる ことなく暮らせること 3.02
60歳代	文化遺産や史跡が大事に されること 3.51	ゴミのリサイクルのしく みが整っていること 3.17	自分の住む地域の景観や 町並みが美しいこと 3.16	食品や薬品などの商品・ サービスの安全性が確保 されていること 3.16	品揃えの豊富な店が近く にあること 3.14
70歳以上	文化遺産や史跡が大事に されること 3.59	ゴミのリサイクルのしく みが整っていること 3.43	食品や薬品などの商品・ サービスの安全性が確保 されていること 3.36	自分の住む地域の景観や 町並みが美しいこと 3.21	電車、バス、タクシーな どの公共的な交通機関が 利用しやすいこと 3.18

(注) 網かけは、年齢にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

満足度上位5項目で、個別の年齢にはあるが「県全体」にはない項目は、「電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと」(「50歳代」の第4位、「70歳以上」の第5位)、「住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること」(「20歳代」と「50歳代」の第5位)、「品揃えの豊富な店が近くにあること」(「30歳代」「40歳代」「60歳代」の第5位)となっています。

## 年齢別の満足度下位5項目の傾向

図表 年齢別の満足度下位5項目の傾向

	第31位	第30位	第29位	第28位	第27位
県全体	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.43	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.45	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	失業の不安がなく働けること 2.47	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.66
20歳代	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.23	失業の不安がなく働けること 2.33	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.41	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.44	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.49
30歳代	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.28	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.34	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.37	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.42	失業の不安がなく働けること 2.49
40歳代	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.41	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.43	失業の不安がなく働けること 2.46	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.61
50歳代	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.41	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.44	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.44	失業の不安がなく働けること 2.49	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること 2.58
60歳代	失業の不安がなく働けること 2.42	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.43	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.50	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.63
70歳以上	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.58	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.63	失業の不安がなく働けること 2.64	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.72	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.76

(注) 網かけは、年齢にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の設定は小数第3位以下も考慮している。

満足度下位5項目で、個別の年齢にはあるが「県全体」にはない項目は、「急病時に診てもらえる医療機関があること」(「30歳代」の第28位、「20歳代」と「40歳代」の第27位)、「高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること」(「50歳代」の第27位)となっています。

### 3 県民の仕事に関する意識やニーズについて

#### 3 - 1 職業

図表 職業（単数回答／県全体、性・年齢別、婚姻状況別、性・婚姻状況別、ライフステージ別、地域別）

	正規の職員・従業員	無職	家事専業・家事手伝い	パート・アルバイト（学生を除く）	従業員（卸売業・飲食業・製造加工業・建設業など）	商工・サービス業の自営業・家族	契約社員・嘱託	農林漁業の自営業・家族従業員	学生	その他自営業（開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など）	企業などの役員	派遣社員	その他	無回答
県全体	<b>24.1%</b>	19.7%	17.2%	10.2%	8.5%	4.1%	3.0%	2.7%	1.8%	1.7%	0.8%	2.5%	3.6%	
性別														
男性	<b>33.9%</b>	24.0%	0.5%	4.2%	12.9%	5.7%	4.4%	3.4%	2.0%	2.9%	0.5%	3.0%	2.4%	
女性	<b>16.0%</b>	15.4%	<b>32.9%</b>	<b>16.0%</b>	4.1%	2.5%	1.7%	2.2%	1.6%	0.6%	1.1%	1.7%	4.4%	
性別・男性														
20歳代	<b>39.8%</b>	7.4%	0.2%	6.4%	<b>9.7%</b>	5.1%	1.8%	<b>25.6%</b>	1.2%	0.4%	0.5%	0.7%	1.2%	
30歳代	<b>65.2%</b>	1.7%	0.0%	3.9%	<b>16.4%</b>	<b>6.4%</b>	1.5%	0.0%	0.6%	1.5%	0.9%	0.9%	0.9%	
40歳代	<b>65.3%</b>	<b>4.8%</b>	0.0%	3.8%	<b>14.3%</b>	1.9%	2.2%	0.0%	2.1%	4.3%	0.0%	0.3%	0.9%	
50歳代	<b>60.0%</b>	<b>4.4%</b>	0.7%	2.4%	<b>16.2%</b>	3.5%	2.0%	0.0%	0.5%	6.4%	0.3%	1.9%	1.7%	
60歳代	7.0%	<b>35.1%</b>	0.0%	8.4%	<b>16.8%</b>	<b>14.5%</b>	5.5%	0.0%	2.6%	4.0%	1.3%	2.2%	2.4%	
70歳以上	0.9%	<b>59.8%</b>	1.5%	1.2%	<b>6.6%</b>	2.2%	<b>9.2%</b>	0.5%	3.6%	0.9%	0.0%	8.3%	5.3%	
性別・女性														
20歳代	<b>43.2%</b>	3.9%	<b>14.1%</b>	12.8%	1.3%	4.3%	0.3%	<b>16.4%</b>	0.0%	0.0%	1.6%	0.7%	1.5%	
30歳代	<b>26.3%</b>	5.1%	<b>34.1%</b>	<b>18.8%</b>	3.2%	4.7%	0.7%	0.0%	2.5%	0.7%	1.8%	1.5%	0.6%	
40歳代	<b>22.6%</b>	3.1%	<b>32.2%</b>	<b>26.9%</b>	3.3%	3.2%	0.3%	0.3%	3.7%	0.5%	2.0%	0.7%	1.2%	
50歳代	<b>14.4%</b>	5.8%	<b>32.8%</b>	<b>29.9%</b>	7.8%	1.2%	1.1%	0.0%	2.1%	1.0%	1.0%	1.4%	1.7%	
60歳代	3.2%	<b>17.9%</b>	<b>50.5%</b>	<b>9.6%</b>	6.5%	2.6%	2.2%	0.0%	1.2%	1.1%	0.6%	2.3%	2.3%	
70歳以上	0.0%	<b>43.8%</b>	<b>29.7%</b>	2.1%	1.8%	0.4%	<b>4.4%</b>	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	3.2%	14.2%	
婚姻状況別														
未婚	<b>45.7%</b>	9.4%	1.7%	<b>9.6%</b>	6.6%	5.9%	1.6%	<b>14.3%</b>	1.4%	0.1%	1.6%	1.2%	0.9%	
既婚	<b>21.9%</b>	<b>18.6%</b>	<b>22.7%</b>	10.6%	9.5%	3.7%	3.1%	0.1%	1.8%	2.4%	0.5%	2.5%	2.6%	
離婚・死別	7.7%	<b>41.5%</b>	<b>11.0%</b>	<b>10.4%</b>	3.5%	3.6%	3.2%	0.9%	2.3%	0.4%	1.1%	3.3%	11.1%	
性別・男性														
未婚	<b>42.6%</b>	9.1%	0.1%	8.1%	<b>9.7%</b>	6.5%	2.9%	<b>16.6%</b>	1.4%	0.0%	0.9%	1.2%	0.8%	
既婚	<b>33.2%</b>	<b>26.6%</b>	0.7%	2.9%	<b>14.2%</b>	5.7%	4.4%	0.0%	2.0%	4.0%	0.4%	3.4%	2.6%	
離婚・死別	<b>14.7%</b>	<b>45.0%</b>	0.0%	<b>7.2%</b>	6.8%	4.4%	6.4%	2.0%	5.2%	0.0%	0.0%	5.6%	2.8%	
性別・女性														
未婚	<b>49.1%</b>	9.7%	3.5%	<b>11.3%</b>	3.1%	5.3%	0.3%	<b>11.7%</b>	1.4%	0.3%	2.5%	1.2%	0.8%	
既婚	10.4%	<b>10.5%</b>	<b>45.1%</b>	<b>18.6%</b>	4.6%	1.7%	1.7%	0.2%	1.6%	0.7%	0.5%	1.7%	2.5%	
離婚・死別	5.4%	<b>40.4%</b>	<b>14.6%</b>	<b>11.5%</b>	2.5%	2.7%	2.2%	0.7%	1.4%	0.5%	1.4%	2.5%	14.0%	
ライフステージ別														
若者	<b>42.1%</b>	6.0%	4.8%	<b>9.1%</b>	5.7%	5.0%	1.1%	<b>22.3%</b>	0.6%	0.2%	1.2%	0.6%	1.1%	
夫婦	<b>25.0%</b>	10.4%	<b>22.1%</b>	<b>16.1%</b>	10.5%	6.0%	2.5%	0.0%	1.0%	3.6%	0.5%	1.2%	1.1%	
育児期	<b>38.2%</b>	4.8%	<b>29.4%</b>	7.7%	<b>8.2%</b>	3.7%	1.9%	0.5%	1.5%	0.2%	0.0%	2.0%	1.9%	
教育期前期	<b>34.7%</b>	6.9%	<b>20.4%</b>	<b>15.6%</b>	8.8%	2.8%	1.8%	0.3%	2.0%	2.5%	0.8%	1.0%	2.4%	
教育期後期	<b>31.5%</b>	8.7%	<b>17.0%</b>	<b>15.0%</b>	12.0%	1.1%	2.9%	0.3%	0.7%	2.6%	1.2%	3.4%	3.6%	
単身高齢者	0.4%	<b>49.8%</b>	<b>14.4%</b>	4.6%	1.4%	0.0%	<b>5.3%</b>	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	4.6%	16.5%	
高齢者夫婦	1.2%	<b>46.1%</b>	<b>21.3%</b>	3.0%	<b>6.4%</b>	3.3%	4.8%	0.0%	1.6%	1.3%	0.2%	4.8%	5.9%	
地域別														
地域1（北部）	<b>23.9%</b>	<b>20.1%</b>	<b>18.5%</b>	10.5%	7.3%	4.7%	2.6%	2.3%	1.6%	1.4%	0.4%	2.5%	4.1%	
地域2（西部）	<b>25.6%</b>	<b>18.9%</b>	<b>18.9%</b>	<b>12.4%</b>	6.2%	3.5%	3.2%	2.5%	2.0%	2.2%	1.2%	1.2%	2.0%	
地域3（中部）	<b>25.0%</b>	<b>19.6%</b>	<b>16.1%</b>	9.1%	10.2%	3.7%	1.8%	3.3%	1.8%	2.1%	1.3%	3.0%	3.2%	
地域4（東部）	<b>22.4%</b>	<b>20.1%</b>	<b>14.4%</b>	10.5%	10.5%	3.4%	5.4%	3.4%	2.5%	1.4%	0.8%	1.4%	3.7%	
地域5（南東部）	<b>22.7%</b>	<b>18.8%</b>	<b>15.2%</b>	7.4%	9.9%	2.5%	8.2%	1.1%	2.5%	1.8%	0.4%	4.6%	5.0%	
地域6（南西部）	<b>20.9%</b>	<b>16.2%</b>	11.2%	10.4%	<b>16.9%</b>	4.0%	8.3%	4.0%	1.8%	0.7%	0.7%	1.4%	3.6%	

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。



## 県全体

職業については、「正規の職員・従業員」(24.1%)が最も多く、以下、「無職」(19.7%)、「家事専業・家事手伝い」(17.2%)、「パート・アルバイト(学生を除く)」(10.2%)と続いています。

「パート・アルバイト(学生を除く)」、「契約社員・嘱託」、「派遣社員」を合計した「非正規社員等」は15.1%となっています。

## 性・年齢別

男性の「20歳代」から「50歳代」では「正規の職員・従業員」が最も多く、「60歳代」以上では「無職」が最も多くなっています。

女性の「20歳代」では「正規の職員・従業員」、「30歳代」から「60歳代」では「家事専業・家事手伝い」が最も多くなっています。

## 性・婚姻状況別

「未婚」では「正規の職員・従業員」、「既婚」では「家事専業・家事手伝い」、「離婚・死別」では「無職」がそれぞれ最も多くなっています。

これを性別にみると、男性では「未婚」「既婚」ともに「正規の職員・従業員」が最も多くなっていますが、女性では「未婚」でのみ「正規の職員・従業員」が最も多く、「既婚」では「家事専業・家事手伝い」、「離婚・死別」では「無職」がそれぞれ最も多くなっています。

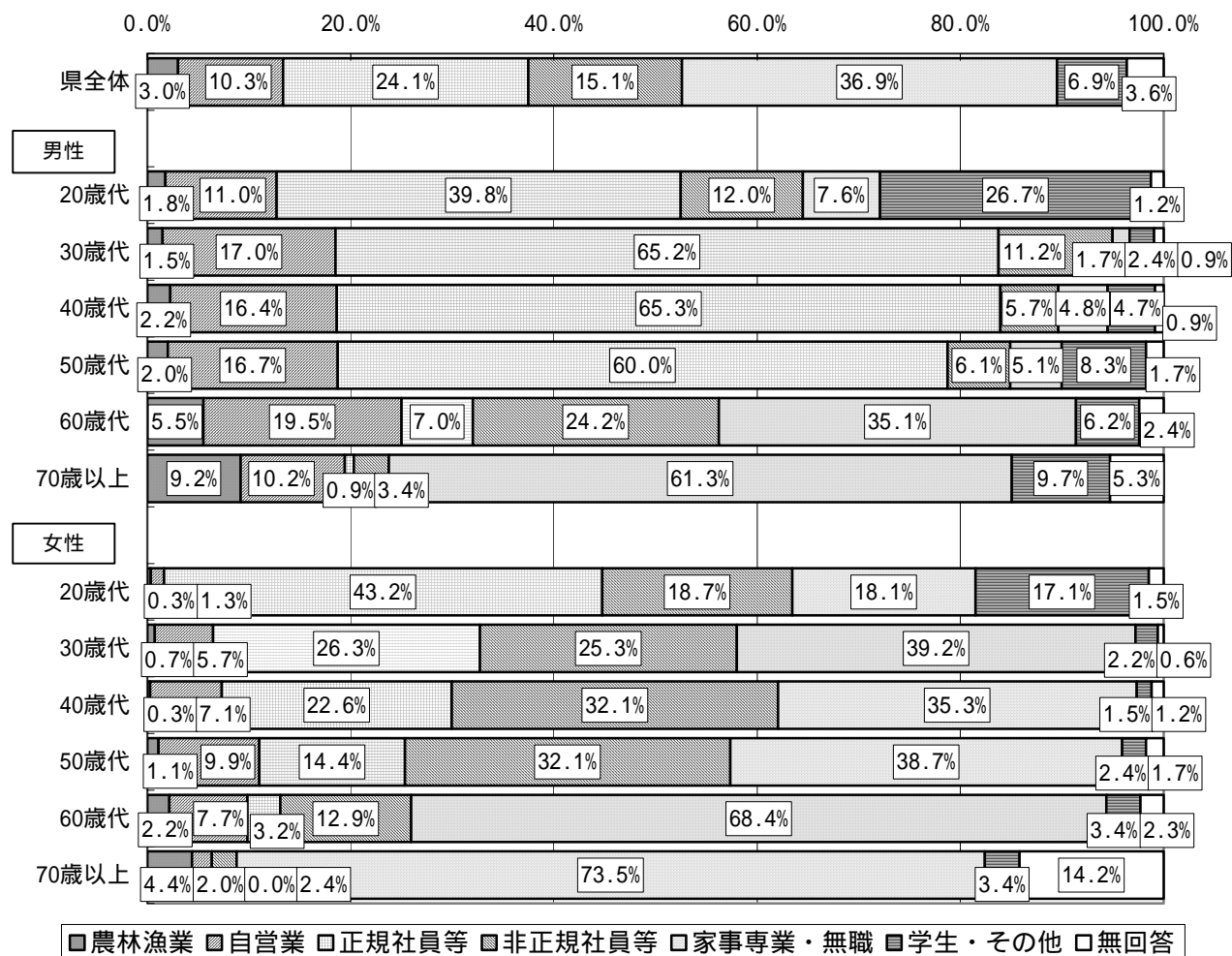
## ライフステージ別

「単身高齢者」と「高齢者夫婦」では「無職」が最も多く、他のライフステージでは「正規の職員・従業員」が最も多くなっています。

## 地域別

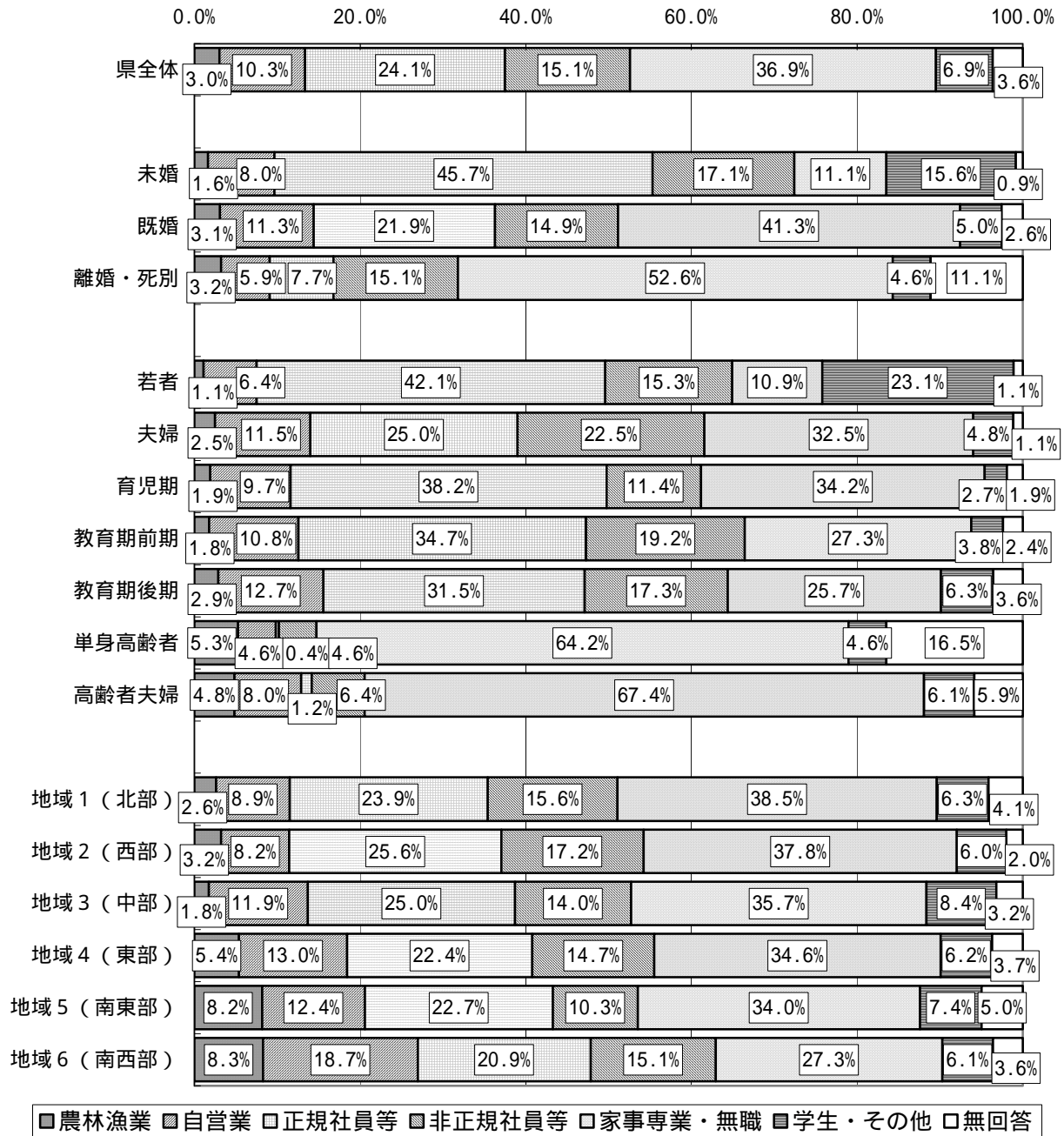
すべての地域で「正規の職員・従業員」が最も多くなっていますが、「地域2(西部)」と「地域3(中部)」では4分の1以上を占めています。

(参考) 図表 職業 - 就労形態別、有業者・無業者での集約 (単数回答 / 県全体、性・年齢別)



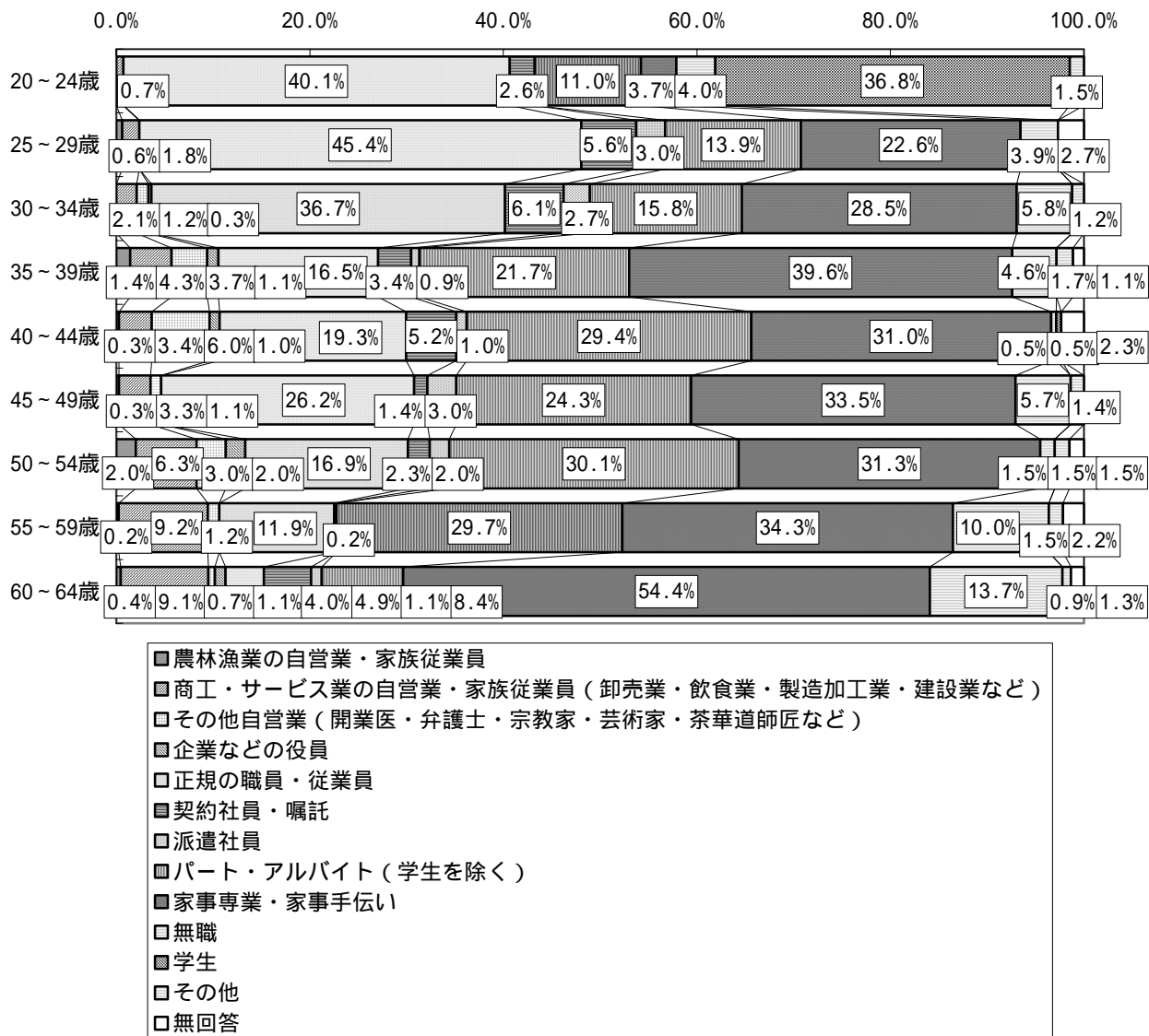
(注)「学生・その他」には、回答数が少ない「企業などの役員」を含む。

(参考) 図表 職業 - 就労形態別、有業者・無業者での集約 (単数回答 / 県全体、婚姻状況別、ライフステージ別、地域別)



(注) 「学生・その他」には、回答数が少ない「企業などの役員」を含む。

(参考) 図表 職業 (単数回答 / 女性・年齢5歳階級別)



(注) 上図には、生産年齢人口である64歳以下のみを示している。

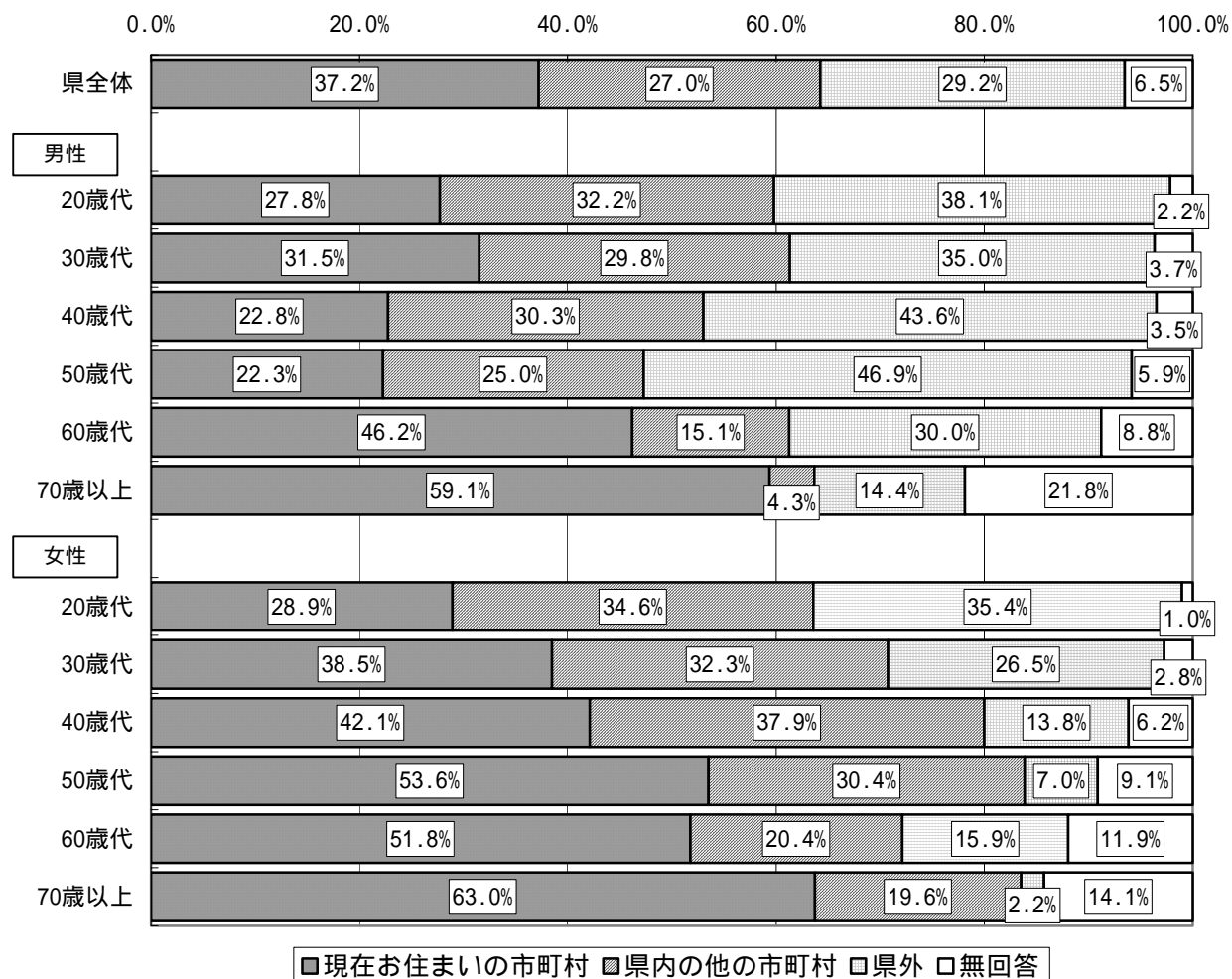
女性・年齢5歳階級別

女性の職業 (就業状況) について、年齢階級を細かく区切ってしてみると、「34歳」以下では「正規の職員・従業員」が最も多くなっていますが、「35歳」以上では「家事専業・家事手伝い」が最も多くなっています。

自営業以外の就労形態をみると、「契約社員・嘱託」と「派遣社員」は、10%未満のごく少数となっているのに対し、「パート・アルバイト (学生を除く)」は、「正規の職員・従業員」が最も多い「34歳」以下では10%台にとどまっているのに対し、「35歳」以上では20%以上を占め、「40~44歳」と50歳代では30%前後と特に多くなっています。

### 3 - 2 勤め先の所在地

図表 勤め先の所在地（単数回答 / 県全体、性・年齢別）



#### 県全体

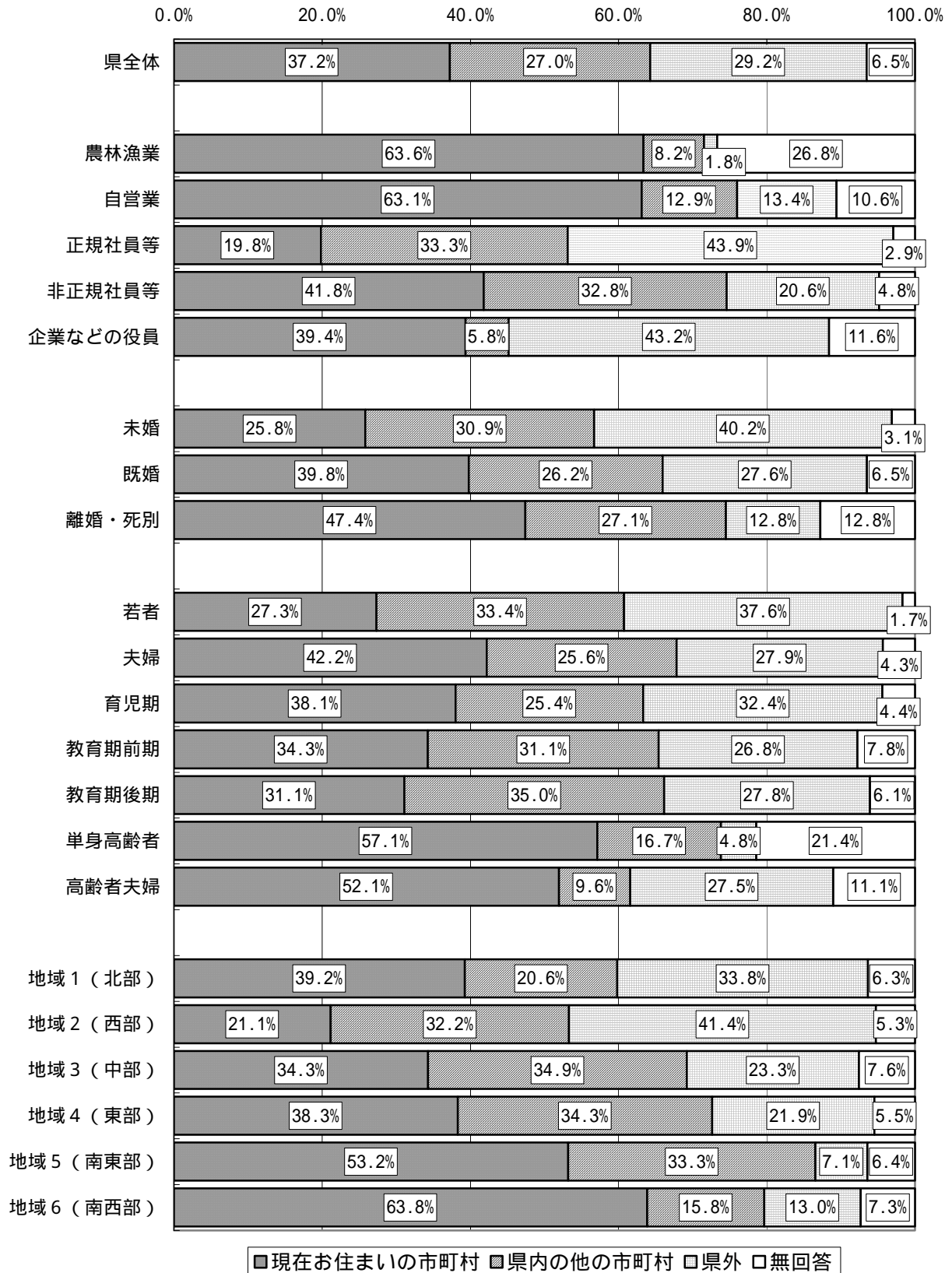
「家事専業・家事手伝い」「無職」「学生」「その他」を除く有業者に対して、勤め先の所在地をたずねたところ、「現在お住まいの市町村」が37.2%で最も多く、以下、「県外」が29.2%、「県内の他の市町村」が27.0%となっています。

#### 性・年齢別

男性の「20歳代」から「50歳代」では「県外」が最も多く、特に「40歳代」と「50歳代」では40%以上を占めています。

女性では、年齢層が高いほど「現在お住まいの市町村」が多い傾向となっています。「県外」は、「50歳代」にかけては年齢層が高いほど少なくなっています。

図表 勤め先の所在地（単数回答 / 県全体、職業別、婚姻状況別、ライフステージ別、地域別）



#### 職業別

「正規社員等」では「県外」が43.9%で最も多く、「県内の他の市町村」を含めて、「現在お住まいの市町村」以外に通勤している人は77.2%を占めています。

「非正規社員等」では、県内で通勤している人が74.6%を占めています。

#### 婚姻状況別

「未婚」では「県外」、「既婚」と「離婚・死別」では「現在お住まいの市町村」がそれぞれ最も多くなっています。

#### ライフステージ別

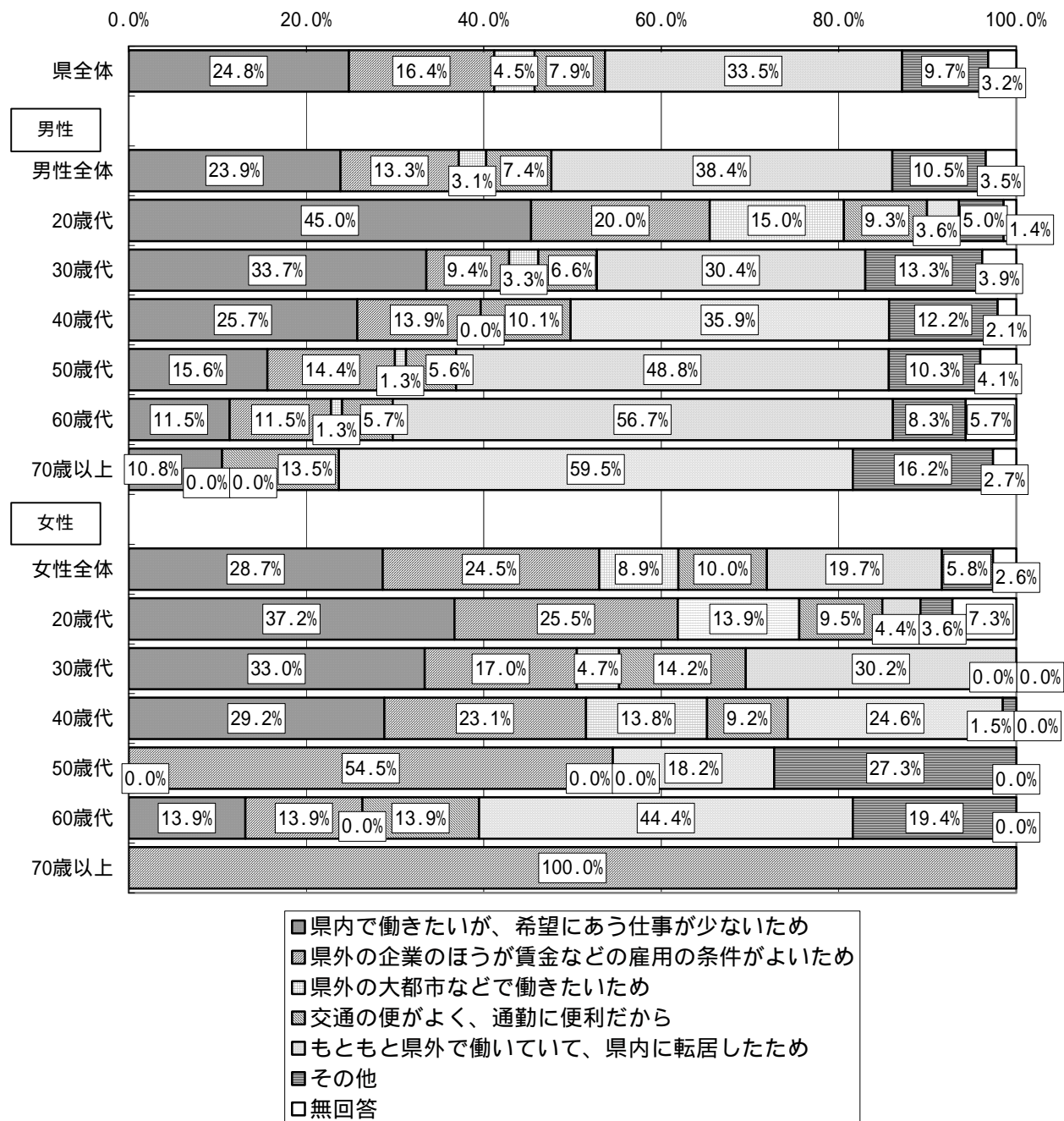
顕著な傾向ではありませんが、「教育期後期」にかけては、ライフステージが高いほど県内で通勤している人が多い傾向がみられます。

#### 地域別

「地域2(西部)」では「県外」、「地域3(中部)」では「県内の他の市町村」がそれぞれ最も多く、他の地域では「現在お住まいの地域」が最も多くなっています。特に、「地域5(南東部)」と「地域6(南西部)」では、「現在お住まいの市町村」が半数以上を占めています。

### 3 - 3 県外で働いている理由

図表 県外で働いている理由（単数回答／県全体、性・年齢別）





#### 県全体

「家事専業・家事手伝い」「無職」「学生」「その他」を除く有業者に対して、県外で働いている理由をたずねたところ、「もともと県外で働いていて、県内に転居したため」(33.5%)が最も多く、次いで「県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため」(24.8%)となっています。

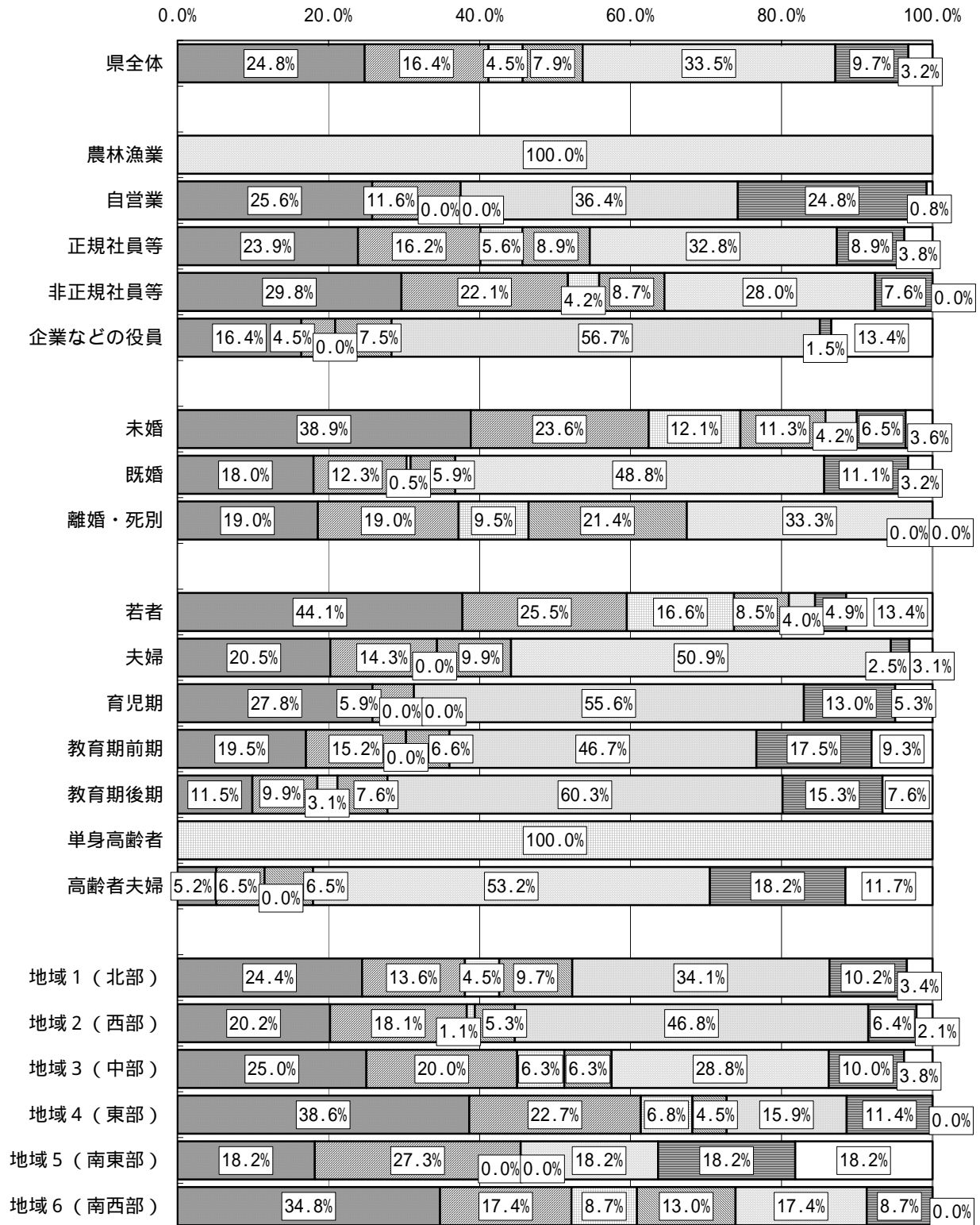
「その他」の意見としては、「希望の仕事が県内になかった・県外に希望の仕事があったから」や「県外の大学で、県外の求人が多かったから」などがみられます。

#### 性・年齢別

男性では、年齢層が低いほど「県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため」が多い傾向となっており、逆に、年齢層が高いほど「もともと県外で働いていて、県内に転居したため」が多い傾向となっています。

女性では、「20歳代」から「40歳代」で「県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため」が最も多くなっています。

図表 県外で働いている理由（単数回答／県全体、職業別、婚姻状況別、ライフステージ別、地域別）



- 県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため
- 県外の企業のほうが賃金などの雇用の条件がよい
- 県外の大都市などで働きたい
- 交通の便がよく、通勤に便利だから
- もともと県外で働いていて、県内に転居したため
- その他
- 無回答

#### 職業別

集計母数が少ない「農林漁業」を除き、「自営業」「正規社員等」「企業などの役員」では「もともと県外で働いていて、県内に転居したため」が最も多く、「非正規社員等」では「県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため」が最も多くなっています。

#### 婚姻状況別

「未婚」では「県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため」が最も多く、38.9%を占めています。「既婚」と「離婚・死別」では「もともと県外で働いていて、県内に転居したため」が最も多く、「既婚」では48.8%と半数近くを占めています。

#### ライフステージ別

顕著な傾向ではありませんが、ライフステージが上がるにつれて「県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため」は少ない傾向となっており、逆に、「もともと県外で働いていて、県内に転居したため」が多い傾向となっています。

#### 地域別

「地域1(北部)」「地域2(西部)」「地域3(中部)」では、「もともと県外で働いていて、県内に転居したため」が最も多くなっています。

### 3 - 4 今の仕事を選んだ理由

図表 今の仕事を選んだ理由

(複数回答 / 県全体、性別、性・年齢別、職業別、通勤先別、婚姻状況別、ライフステージ別、地域別)

	専門的な資格や技術、経験が活かせるから	経営が安定した会社(官公庁)だから	通勤時間が短いから	工業・会社役員などを引き継いだから	親族などから家業(農林漁業・商業)を引き継いだから	自分の都合のよい時間に働けるから	家庭の事情(家事・育児・介護)と両立しやすいから	自ら起業したから	正社員として働ける会社が見つからなかったから	収入がよいから	社会保険・住まいなどの福利厚生が充実しているから	勤務する時間や日数が短いから	組織に縛られるのは嫌だから	簡単な仕事で責任も少ないから	扶養認定などのために、就業調整(収入や労働時間の調整)をしたから	体力的に正社員として働けないから	その他
県全体	<b>32.3%</b>	<b>16.9%</b>	<b>15.1%</b>	11.0%	10.9%	10.0%	8.5%	8.1%	7.0%	6.4%	5.3%	2.6%	2.5%	0.8%	0.4%	11.1%	
性別																	
男性	<b>33.4%</b>	<b>20.8%</b>	9.8%	<b>12.8%</b>	6.4%	3.7%	11.0%	8.5%	6.9%	6.5%	3.8%	4.2%	2.2%	0.5%	0.2%	12.6%	
女性	<b>31.0%</b>	11.9%	<b>22.6%</b>	7.8%	17.6%	<b>19.2%</b>	4.7%	7.7%	7.1%	6.4%	7.5%	0.3%	2.8%	1.3%	0.6%	9.0%	
性別・男性																	
20歳代	<b>30.2%</b>	<b>19.1%</b>	15.8%	7.9%	8.2%	2.2%	3.8%	<b>18.5%</b>	9.0%	8.2%	0.0%	4.1%	0.5%	0.0%	0.0%	22.3%	
30歳代	<b>36.8%</b>	<b>16.1%</b>	11.0%	<b>13.2%</b>	2.5%	2.9%	3.5%	9.1%	8.9%	7.0%	0.4%	3.1%	2.1%	0.2%	0.0%	15.7%	
40歳代	<b>36.6%</b>	<b>28.7%</b>	<b>11.4%</b>	10.7%	4.2%	5.5%	7.9%	6.4%	5.0%	7.7%	3.9%	2.6%	0.9%	0.7%	0.4%	12.5%	
50歳代	<b>34.8%</b>	<b>33.5%</b>	<b>9.1%</b>	6.6%	3.7%	3.8%	8.2%	8.9%	7.3%	8.8%	2.0%	4.5%	1.5%	0.0%	0.0%	10.0%	
60歳代	<b>32.6%</b>	10.9%	8.4%	<b>12.2%</b>	9.7%	2.5%	<b>26.5%</b>	5.7%	6.9%	3.4%	9.7%	7.4%	5.7%	1.7%	0.0%	8.4%	
70歳以上	<b>22.2%</b>	1.9%	0.0%	<b>41.2%</b>	16.3%	5.1%	<b>19.1%</b>	1.6%	3.5%	0.0%	8.6%	2.7%	2.3%	0.0%	1.9%	8.6%	
性別・女性																	
20歳代	<b>49.9%</b>	11.1%	<b>25.1%</b>	0.5%	10.9%	9.0%	0.0%	9.0%	<b>13.4%</b>	10.1%	1.8%	0.8%	2.8%	0.0%	0.0%	11.9%	
30歳代	<b>32.3%</b>	13.5%	<b>18.8%</b>	4.5%	16.5%	<b>23.0%</b>	2.8%	10.3%	9.3%	6.0%	1.5%	0.0%	0.5%	2.5%	0.0%	11.3%	
40歳代	<b>32.6%</b>	15.3%	<b>26.2%</b>	4.9%	21.9%	<b>23.8%</b>	1.5%	8.5%	8.7%	7.0%	7.4%	0.4%	1.1%	1.1%	1.1%	8.3%	
50歳代	<b>22.6%</b>	12.3%	<b>25.3%</b>	8.5%	20.0%	<b>21.1%</b>	9.8%	7.2%	1.1%	4.5%	14.5%	0.0%	5.5%	2.6%	1.1%	7.7%	
60歳代	<b>19.5%</b>	7.5%	17.7%	<b>20.4%</b>	<b>20.4%</b>	<b>23.0%</b>	8.8%	0.9%	4.0%	4.0%	8.8%	0.4%	0.9%	0.0%	0.0%	5.3%	
70歳以上	12.0%	0.0%	9.8%	<b>32.6%</b>	9.8%	5.4%	<b>13.0%</b>	4.3%	2.2%	5.4%	<b>19.6%</b>	0.0%	<b>13.0%</b>	0.0%	2.2%	5.4%	
職業別																	
農林漁業	3.9%	0.7%	1.1%	<b>67.5%</b>	<b>18.2%</b>	<b>5.7%</b>	2.1%	1.4%	0.7%	0.0%	1.4%	2.9%	2.9%	0.0%	0.7%	11.4%	
自営業	<b>29.1%</b>	1.5%	4.4%	<b>32.1%</b>	6.4%	6.2%	<b>37.4%</b>	2.4%	4.9%	1.5%	2.1%	8.3%	1.9%	0.0%	0.0%	6.3%	
正規社員等	<b>44.1%</b>	<b>32.2%</b>	<b>15.8%</b>	0.7%	1.5%	4.6%	0.6%	6.3%	10.2%	10.7%	1.5%	0.6%	0.7%	0.1%	0.0%	14.4%	
非正規社員等	<b>21.4%</b>	6.6%	<b>25.3%</b>	0.4%	<b>28.6%</b>	22.5%	0.6%	16.7%	5.1%	4.1%	15.0%	2.2%	6.0%	2.8%	1.1%	9.0%	
企業などの役員	<b>31.0%</b>	14.8%	3.2%	<b>24.5%</b>	2.6%	5.8%	<b>27.1%</b>	2.6%	1.3%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	
通勤先別																	
居住している市町村	<b>23.7%</b>	8.6%	<b>18.1%</b>	<b>22.1%</b>	15.9%	13.8%	15.6%	5.3%	3.4%	4.7%	5.0%	3.0%	3.0%	0.9%	0.7%	8.5%	
県内の他の市町村	<b>33.3%</b>	<b>19.9%</b>	<b>20.9%</b>	2.9%	12.0%	11.8%	3.4%	12.4%	5.9%	7.5%	7.7%	2.8%	3.3%	0.8%	0.0%	11.9%	
県外	<b>45.0%</b>	<b>27.1%</b>	6.9%	3.1%	4.5%	3.8%	4.3%	7.7%	<b>12.9%</b>	8.3%	4.4%	1.6%	1.4%	0.6%	0.3%	13.8%	
婚姻状況別																	
未婚	<b>39.8%</b>	<b>15.3%</b>	<b>17.5%</b>	6.0%	8.2%	3.0%	2.2%	14.9%	8.7%	10.3%	1.3%	2.4%	3.0%	0.2%	0.2%	15.9%	
既婚	<b>31.4%</b>	<b>18.7%</b>	<b>13.4%</b>	12.0%	11.7%	11.7%	10.8%	5.4%	6.4%	5.2%	6.5%	2.6%	2.2%	1.2%	0.1%	9.8%	
離婚・死別	<b>19.5%</b>	7.0%	<b>23.1%</b>	11.6%	14.6%	<b>19.8%</b>	7.0%	12.2%	7.6%	4.9%	8.8%	3.0%	3.6%	0.0%	3.6%	5.2%	
ライフステージ別																	
若者	<b>40.1%</b>	<b>15.8%</b>	<b>20.8%</b>	4.3%	9.4%	4.8%	1.3%	13.9%	11.1%	9.8%	1.0%	2.5%	1.4%	0.0%	0.0%	18.1%	
夫婦	<b>26.5%</b>	<b>17.3%</b>	<b>14.9%</b>	6.4%	10.2%	9.5%	12.5%	7.3%	8.5%	4.5%	10.4%	5.0%	2.2%	1.6%	0.0%	12.3%	
育児期	<b>35.5%</b>	<b>23.3%</b>	9.6%	<b>13.2%</b>	6.3%	12.7%	3.9%	6.4%	7.0%	5.0%	0.9%	2.4%	0.7%	0.7%	0.4%	14.5%	
教育期前期	<b>34.3%</b>	<b>21.6%</b>	<b>16.5%</b>	6.7%	13.6%	16.1%	6.9%	4.9%	7.4%	6.3%	2.7%	1.4%	1.3%	1.3%	0.4%	12.2%	
教育期後期	<b>33.3%</b>	<b>31.1%</b>	<b>18.7%</b>	11.6%	9.6%	13.8%	9.3%	5.1%	8.5%	4.7%	4.5%	2.6%	1.2%	0.4%	0.4%	6.5%	
単身高齢者	<b>35.7%</b>	0.0%	<b>21.4%</b>	16.7%	<b>26.2%</b>	4.8%	2.4%	9.5%	11.9%	0.0%	11.9%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	4.8%	
高齢者夫婦	<b>27.5%</b>	3.9%	2.1%	<b>31.8%</b>	13.2%	10.0%	<b>16.1%</b>	1.8%	4.6%	1.8%	11.8%	1.4%	7.5%	0.0%	0.0%	8.2%	
地域別																	
地域1(北部)	<b>34.0%</b>	<b>16.3%</b>	<b>13.5%</b>	9.8%	11.5%	9.4%	8.8%	7.7%	7.1%	6.7%	6.7%	2.1%	2.5%	0.6%	0.4%	12.3%	
地域2(西部)	<b>29.5%</b>	<b>19.4%</b>	<b>16.3%</b>	7.0%	10.6%	10.6%	9.3%	9.3%	10.6%	5.7%	4.8%	2.2%	3.1%	0.9%	0.9%	11.5%	
地域3(中部)	<b>33.1%</b>	<b>17.2%</b>	<b>16.6%</b>	11.0%	10.2%	9.6%	8.4%	9.3%	5.2%	6.4%	4.7%	2.9%	2.3%	1.5%	0.0%	8.7%	
地域4(東部)	<b>27.4%</b>	<b>16.9%</b>	<b>17.9%</b>	14.4%	10.0%	14.9%	7.0%	6.0%	10.4%	7.0%	1.5%	3.5%	2.0%	0.5%	0.5%	10.0%	
地域5(南東部)	<b>26.3%</b>	<b>18.6%</b>	16.0%	<b>19.9%</b>	10.3%	7.7%	7.1%	7.1%	3.8%	5.1%	3.2%	3.8%	3.8%	0.0%	0.6%	12.8%	
地域6(南西部)	<b>27.1%</b>	<b>14.1%</b>	<b>14.1%</b>	<b>23.7%</b>	11.9%	10.2%	7.9%	5.6%	3.4%	4.0%	3.4%	5.1%	1.7%	0.6%	0.6%	12.4%	

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

## 県全体

「家事専業・家事手伝い」「無職」「学生」「その他」を除く有業者に、今の仕事を選んだ理由をたずねたところ、「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」(32.3%)が最も多く、以下、「経営が安定した会社(官公庁)だから」(16.9%)、「通勤時間が短いから」(15.1%)と続いています。

「その他」の意見としては、「希望する仕事・やりたい仕事だったから」や「働きがい・やりがいのある仕事だから」「仕事を選べる状況ではなかった・ほかに仕事がなかったから」「知人等から誘われたから」などが多くみられます。

## 性・年齢別

男性の「20歳代」から「60歳代」では「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」が最も多くなっています。

女性の「20歳代」から「40歳代」では「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」が最も多く、年齢層が低いほど多い傾向となっています。

男女で比較すると、男性の「20歳代」から「50歳代」の上位3項目には「経営が安定した会社(官公庁)だから」が入っていますが、女性ではみられません。逆に、女性では、「30歳代」から「60歳代」の上位3項目には「家庭の事情(家事・育児・介護等)と両立しやすいから」が入っていますが、男性ではみられません。

## 職業別

「正規社員等」と「企業などの役員」では「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」、「非正規社員等」では「自分の都合のよい時間に働けるから」がそれぞれ最も多くなっています。

## 通勤先別

通勤先別に関係なく「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」が最も多くなっていますが、「居住している市町村」以外に通勤している人ほど多い傾向となっています。このほか、「経営が安定した会社(官公庁)だから」や「収入がよいから」も同様の傾向となっています。

逆に、「自分の都合のよい時間に働けるから」や「家庭の事情(家事・育児・介護等)と両立しやすいから」などは県内で通勤している人ほど多い傾向となっています。

## 婚姻状況別

「未婚」と「既婚」では「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」が最も多く、上位3項目は「県全体」と同じです。「離婚・死別」では「通勤時間が短いから」が最も多く、以下、「家庭の事情(家事・育児・介護等)と両立しやすいから」、「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」と続いています。

## ライフステージ別

「若者」では「正社員として働ける会社が見つからなかったから」が13.9%と他のライフステージに比べて多くなっています。また、「育児期」「教育期前期」「教育期後期」では「家庭の事情(家事・育児・介護等)と両立しやすいから」が10%を超え、他のライフステージに比べて多くなっています。

## 地域別

「地域5(南東部)」と「地域6(南西部)」では「親族などから家業(農林漁業・商工業・会社役員など)を引き継いだから」が上位3項目に入っており、「地域1(北部)」から「地域4(東部)」と異なる理由がみられます。

### 3 - 5 仕事に対する満足度

#### ( 1 ) 県全体の満足度の順位

図表 県全体の満足度の順位

順位	項目番号	項目	満足度
1	4	通勤時間	3.73
2	1	就労形態（正規、非正規など）	3.63
3	5	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	3.44
4	8	職場の人間関係	3.44
5	9	現在の仕事全体について	3.27
6	3	労働時間	3.24
7	6	仕事先の育児などへの支援制度	2.91
8	7	仕事先の介護などへの支援制度	2.81
9	2	収入額	2.62

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮している。

県全体の満足度が高い順に並べると、満足度が最も高いのは「通勤時間」で、以下、「就労形態（正規、非正規など）」、「専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会」と続いています。

逆に、「不満」と評価されているのは、「収入額」「仕事先の介護などへの支援制度」「仕事先の育児などへの支援制度」の3項目となっています。

(2) 「県全体」の満足度及び性・年齢別での比較

図表 「県全体」の満足度及び性・年齢別での比較

性・年齢別	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	項目番号	4	1	5	8	9	3	6	7	2
	項目	通勤時間	就業形態 (正規、非正規など)	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	職場の人間関係	現在の仕事全体について	労働時間	仕事先の育児などへの支援制度	仕事先の介護などへの支援制度	収入額
	県全体	3.73	3.63	3.44	3.44	3.27	3.24	2.91	2.81	2.62
性別	男性	3.60	3.69	3.42	3.44	3.21	3.17	2.82	2.76	2.58
	女性	3.92	3.55	3.46	3.43	3.32	3.34	3.04	2.87	2.66
男性	20歳代	3.61	3.49	3.21	3.55	3.21	3.00	2.71	2.66	2.54
	30歳代	3.70	3.68	3.49	3.40	3.08	2.98	2.82	2.75	2.36
	40歳代	3.53	3.78	3.31	3.25	3.01	3.00	2.59	2.51	2.41
	50歳代	3.48	3.84	3.47	3.43	3.35	3.21	2.95	2.91	2.84
	60歳代	3.66	3.49	3.51	3.57	3.34	3.42	2.94	2.89	2.70
	70歳以上	3.88	3.55	3.61	3.52	3.30	3.63	2.95	2.88	2.50
女性	20歳代	3.86	3.51	3.48	3.41	3.25	3.06	2.86	2.81	2.58
	30歳代	3.83	3.87	3.60	3.56	3.46	3.66	3.23	2.91	2.68
	40歳代	4.05	3.58	3.42	3.38	3.34	3.21	3.04	2.91	2.73
	50歳代	4.05	3.42	3.42	3.40	3.33	3.38	3.14	2.96	2.76
	60歳代	3.53	3.32	3.36	3.41	3.15	3.49	2.82	2.63	2.52
	70歳以上	3.33	2.79	3.20	3.25	3.07	3.21	2.81	2.77	2.29

(注) 網かけは、性・年齢での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と性・年齢との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の満足度に比べて低い項目は、男性では「40歳代」以下に集中し、女性では「60歳代」以上に集中する傾向がうかがえます。

(3) 「県全体」の満足度及び性・職業別での比較

図表 「県全体」の満足度及び性・職業別での比較

性・職業別	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	項目番号	4	1	5	8	9	3	6	7	2
項目		通勤時間	就労形態（正規、非正規など）	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	職場の人間関係	現在の仕事全体について	労働時間	仕事先の育児などへの支援制度	仕事先の介護などへの支援制度	収入額
県全体		3.73	3.63	3.44	3.44	3.27	3.24	2.91	2.81	2.62
男性	農林漁業	3.76	3.23	3.52	3.57	2.67	2.72	2.72	2.65	1.88
	自営業	3.90	3.54	3.45	3.52	3.12	3.26	2.93	2.85	2.46
	正規社員等	3.46	3.93	3.45	3.39	3.26	3.07	2.80	2.73	2.71
	非正規社員等	3.72	3.10	3.27	3.45	3.26	3.38	2.76	2.76	2.42
	企業などの役員	2.99	3.77	3.63	3.40	3.40	3.47	2.79	2.91	3.12
女性	農林漁業	3.07	2.70	3.01	2.73	2.62	2.90	2.62	2.43	1.96
	自営業	3.76	3.31	3.55	3.75	3.16	3.16	3.03	2.97	2.03
	正規社員等	3.76	3.99	3.68	3.44	3.43	3.21	3.11	2.88	2.93
	非正規社員等	4.05	3.24	3.25	3.36	3.28	3.47	2.96	2.82	2.60
	企業などの役員	4.87	4.65	4.29	3.78	3.52	4.30	3.97	3.97	3.60

(注) 網かけは、性・職業での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と性・職業との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

女性の「正規社員等」や「企業などの役員」の満足度は、全般的に「県全体」の満足度に比べて高くなっています。

「正規社員等」と「非正規社員等」に着目すると、「正規社員等」では、男女ともに「仕事先の介護などへの支援制度」と「収入額」は「不満」と評価されています。また、「県全体」の満足度に比べて低いのは、男性では9項目中の「就労形態（正規、非正規など）」「専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会」「収入額」以外の6項目となっていますが、女性では「労働時間」のみとなっています。

「非正規社員等」で「県全体」の満足度に比べて低いのは、男性では9項目中の「職場の人間関係」と「労働時間」以外の7項目となっていますが、女性では9項目中の「就労形態（正規、非正規など）」「専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会」「職場の人間関係」「収入額」の4項目となっており、「県全体」の満足度と比較したときの男女の職業（就労形態）での満足度の差がみられます。



#### (4) 「県全体」の満足度及び職業別での比較

図表 「県全体」の満足度及び職業別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	農林漁業	自営業	正規社員等	非正規社員等	企業などの役員
1	4	通勤時間	3.73	3.61	3.89	3.58	3.94	3.35
2	1	就労形態(正規、非正規など)	3.63	3.11	3.50	3.96	3.20	3.93
3	5	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	3.44	3.42	3.49	3.52	3.25	3.77
4	8	職場の人間関係	3.44	3.41	3.59	3.41	3.40	3.49
5	9	現在の仕事全体について	3.27	2.70	3.16	3.32	3.27	3.45
6	3	労働時間	3.24	2.80	3.23	3.13	3.43	3.62
7	6	仕事先の育児などへの支援制度	2.91	2.68	2.94	2.91	2.91	3.07
8	7	仕事先の介護などへの支援制度	2.81	2.60	2.87	2.79	2.81	3.10
9	2	収入額	2.62	1.93	2.36	2.79	2.53	3.23

(注) 網かけは、職業での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と職業との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「農林漁業」では、9項目すべてが「県全体」の満足度に比べて低くなっています。「県全体」で「不満」と評価されている「収入額」「仕事先の介護などへの支援制度」「仕事先の育児などへの支援制度」は、「企業などの役員」以外では「不満」と評価されています。

#### (5) 「県全体」の満足度及び通勤先別での比較

図表 「県全体」の満足度及び通勤先別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	居住している市町村	県内の他の市町村	県外
1	4	通勤時間	3.73	4.30	3.72	3.04
2	1	就労形態(正規、非正規など)	3.63	3.52	3.67	3.84
3	5	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	3.44	3.41	3.46	3.47
4	8	職場の人間関係	3.44	3.44	3.41	3.46
5	9	現在の仕事全体について	3.27	3.24	3.21	3.38
6	3	労働時間	3.24	3.36	3.12	3.21
7	6	仕事先の育児などへの支援制度	2.91	3.02	2.88	2.82
8	7	仕事先の介護などへの支援制度	2.81	2.92	2.80	2.73
9	2	収入額	2.62	2.54	2.60	2.80

(注) 網かけは、通勤先での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と通勤先との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「通勤時間」「仕事先の育児などへの支援制度」「仕事先の介護などへの支援制度」は、「不満」と評価されている項目も含め、県内で通勤している人ほど満足度が高い傾向となっています。逆に、「就労形態(正規、非正規など)」「専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会」「収入額」は、「不満」と評価されている項目も含め、「居住している市町村」以外に通勤している人ほど満足度が高い傾向となっています。

## (6) 「県全体」の満足度及び婚姻状況別での比較

図表 「県全体」の満足度及び婚姻状況別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	未婚	既婚	離婚・死別
1	4	通勤時間	3.73	3.61	3.76	3.90
2	1	就労形態（正規、非正規など）	3.63	3.53	3.69	3.39
3	5	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	3.44	3.33	3.50	3.28
4	8	職場の人間関係	3.44	3.38	3.47	3.23
5	9	現在の仕事全体について	3.27	3.13	3.32	3.13
6	3	労働時間	3.24	3.07	3.29	3.33
7	6	仕事先の育児などへの支援制度	2.91	2.78	2.99	2.68
8	7	仕事先の介護などへの支援制度	2.81	2.70	2.87	2.58
9	2	収入額	2.62	2.45	2.69	2.48

（注）網かけは、婚姻状況での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と婚姻状況との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「未婚」では9項目すべての満足度が「県全体」に比べて低く、「既婚」では9項目すべての満足度が「県全体」に比べて高くなっています。

## (7) 「県全体」の満足度及びライフステージ別での比較

図表 「県全体」の満足度及びライフステージ別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	若者	夫婦	育児期	教育期前期	教育期後期	単身高齢者	高齢者夫婦
1	4	通勤時間	3.73	3.73	3.79	3.79	3.79	3.79	3.70	3.59
2	1	就労形態（正規、非正規など）	3.63	3.54	3.58	3.87	3.78	3.78	3.18	3.51
3	5	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	3.44	3.32	3.49	3.56	3.47	3.61	4.00	3.73
4	8	職場の人間関係	3.44	3.51	3.46	3.50	3.35	3.57	3.35	3.56
5	9	現在の仕事全体について	3.27	3.19	3.33	3.28	3.23	3.48	2.98	3.72
6	3	労働時間	3.24	3.04	3.36	3.18	3.15	3.17	3.93	3.89
7	6	仕事先の育児などへの支援制度	2.91	2.82	2.96	2.89	2.93	3.06	3.00	3.17
8	7	仕事先の介護などへの支援制度	2.81	2.77	2.84	2.77	2.77	2.91	2.35	3.23
9	2	収入額	2.62	2.54	2.64	2.56	2.64	2.83	2.15	2.95

（注）網かけは、ライフステージでの満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」とライフステージとの比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「通勤時間」や「就労形態（正規、非正規など）」は、「育児期」「教育期前期」「教育期後期」では他のライフステージに比べて満足度が高くなっています。

「専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会」は、「若者」では「県全体」及び他のライフステージの満足度に比べて低くなっています。

( 8 ) 「県全体」の満足度及び地域別での比較

図表 「県全体」の満足度及び地域別での比較

順位	項目 番号	項目	県全体	地域 1 (北部)	地域 2 (西部)	地域 3 (中部)	地域 4 (東部)	地域 5 (南東部)	地域 6 (南西部)
1	4	通勤時間	3.73	3.72	3.61	3.80	3.61	4.07	3.83
2	1	就労形態(正規、非正規など)	3.63	3.65	3.75	3.62	3.47	3.50	3.60
3	5	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮 機会	3.44	3.44	3.44	3.46	3.40	3.39	3.45
4	8	職場の人間関係	3.44	3.40	3.45	3.50	3.39	3.54	3.42
5	9	現在の仕事全体について	3.27	3.27	3.37	3.26	3.15	3.17	3.20
6	3	労働時間	3.24	3.23	3.36	3.21	3.21	3.38	3.09
7	6	仕事先の育児などへの支援制度	2.91	2.89	2.99	2.93	2.92	2.87	2.94
8	7	仕事先の介護などへの支援制度	2.81	2.78	2.87	2.85	2.76	2.92	2.83
9	2	収入額	2.62	2.60	2.88	2.63	2.50	2.61	2.41

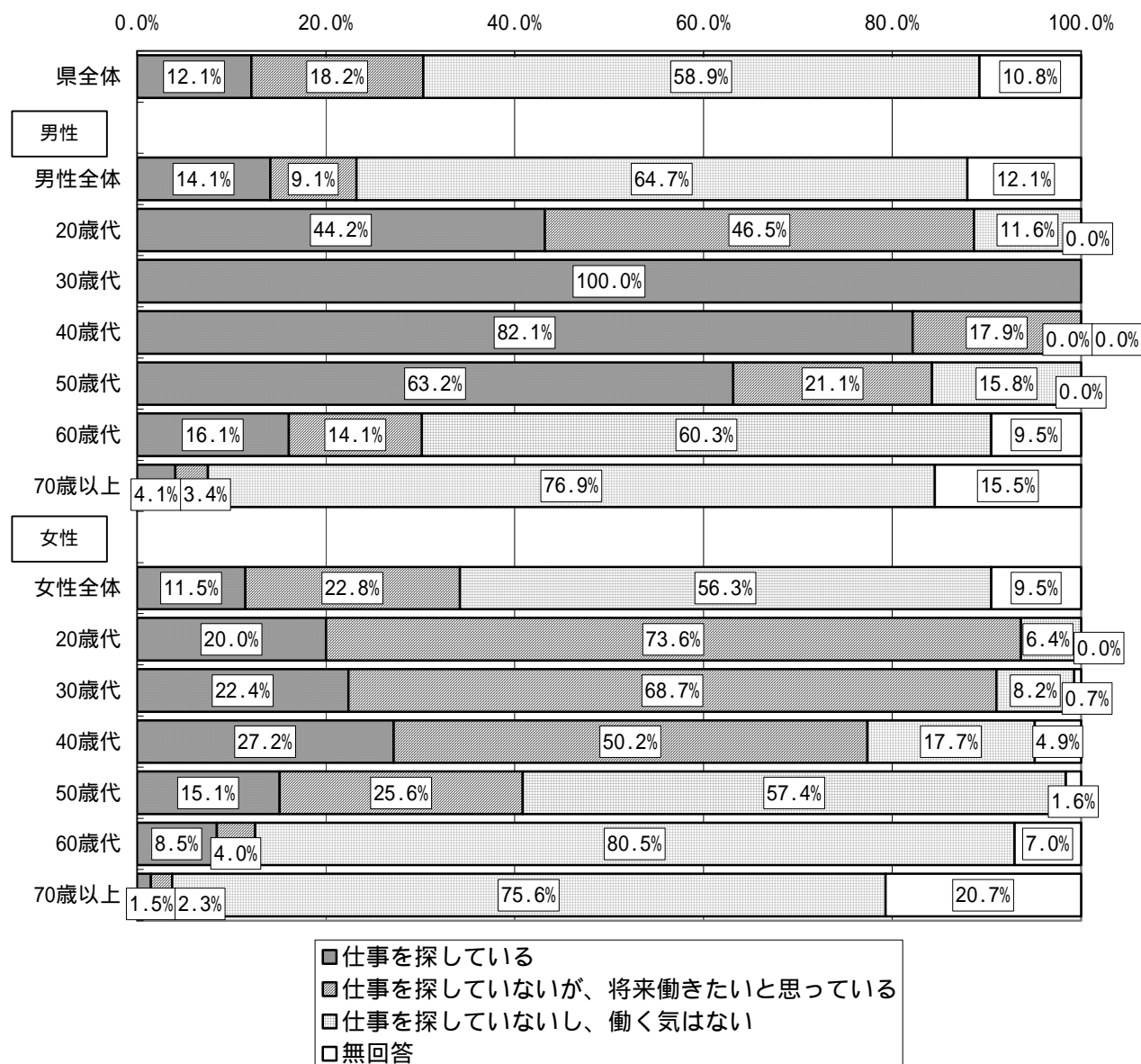
(注) 網かけは、地域での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と地域との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「地域2(西部)」では、「通勤時間」以外は「県全体」の満足度に比べて高くなっています。

「収入額」「仕事先の介護などへの支援制度」「仕事先の育児などへの支援制度」は、地域に関係なく「県全体」同様に「不満」と評価されています。

### 3 - 6 働いていない人の現在の求職活動の状況

図表 働いていない人の現在の求職活動の状況（単数回答 / 県全体、性・年齢別）



（注）男性の各年齢層の集計母数は、「20歳代」が43件、「30歳代」が9件、「40歳代」が28件、「50歳代」が38件、「60歳代」が305件、「70歳以上」が640件で、「50歳代」以下では有業者が多いために集計母数に著しい偏りが生じている。

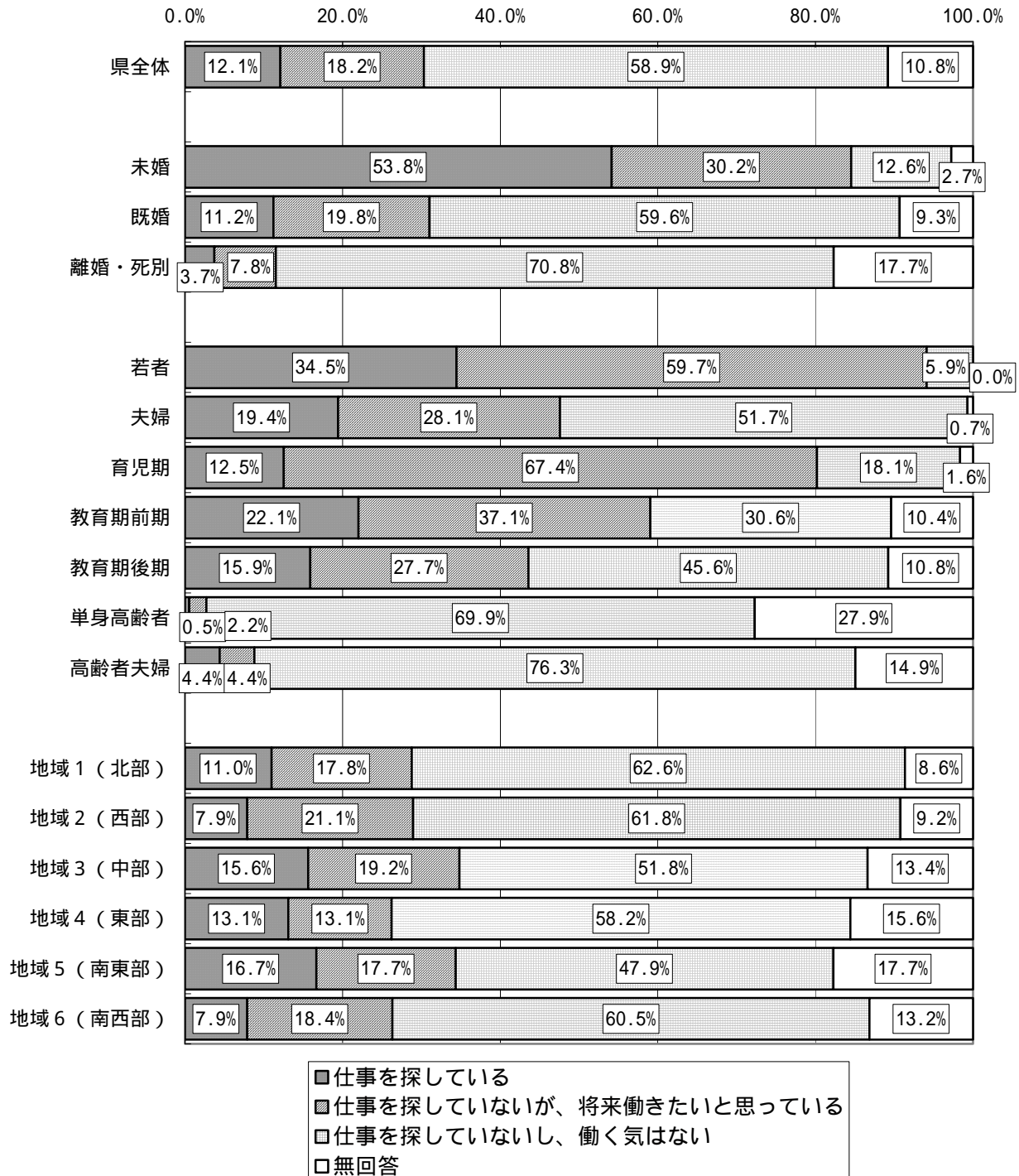
#### 県全体

現在、「家事専業・家事手伝い」「無職」の人に対して、現在の求職活動の状況をたずねたところ、58.9%が「仕事を探していないし、働く気はない」と回答しているのに対して、仕事を探しているかどうかにかかわらず、「働く意思がある」（「仕事を探している」+「仕事を探していないが、将来働きたいと思っている」）人は30.3%となっています。

#### 性・年齢別

女性では、「40歳代」にかけては年齢層が高いほど「仕事を探している」が多い傾向となっています。また、「働く意思がある」人は、女性の「30歳代」以下では90%以上を占めています。

図表 働いていない人の現在の求職活動の状況（単数回答 / 県全体、婚姻状況別、ライフステージ別、地域別）



婚姻状況別

「未婚」では、「仕事を探している」が53.8%と突出しており、「働く意思がある」人は84.0%を占めています。

他方、「既婚」や「離婚・死別」では、「仕事を探していないし、働く気はない」が半数以上を占めています。

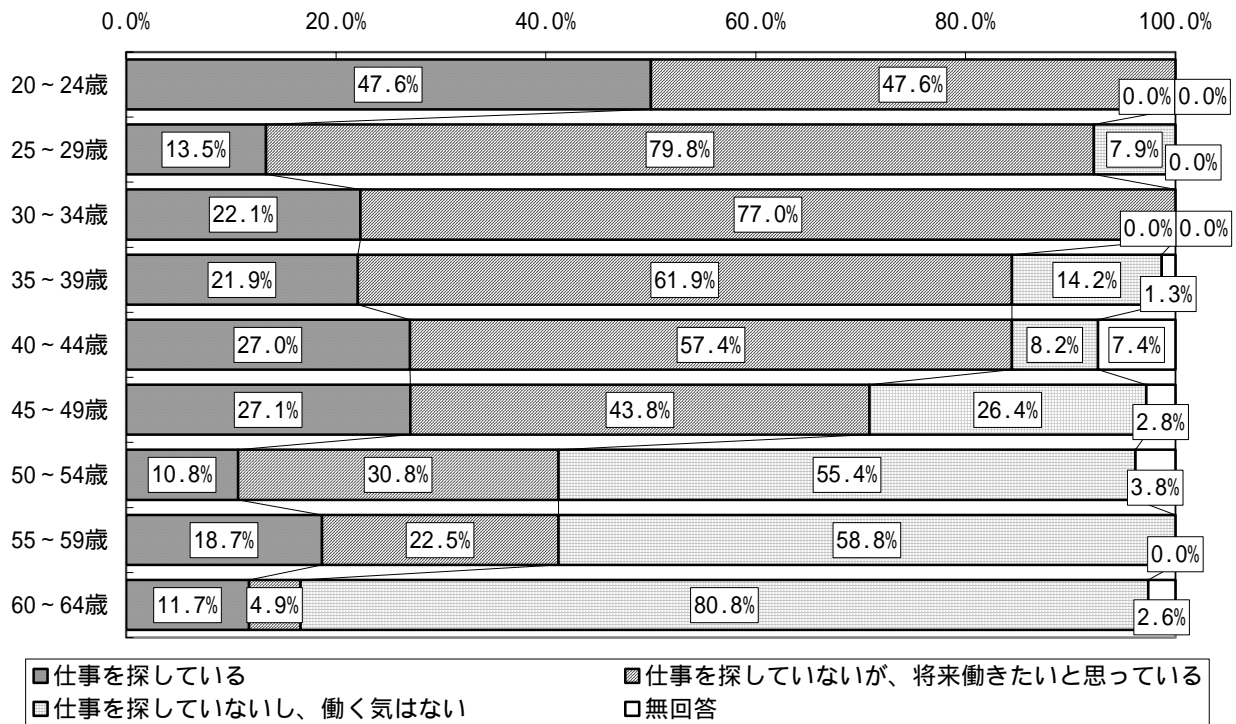
### ライフステージ別

「育児期」「教育期前期」「教育期後期」に着目すると、ライフステージが高いほど「仕事を探していないし、働く気はない」が多い傾向となっています。「仕事を探していないが、将来働きたいと思っている」は、「育児期」では67.4%と突出しています。

### 地域別

「働く意思がある」人は、「地域3(中部)」で34.8%、「地域5(南東部)」で34.4%と他の地域に比べて多くなっています。

(参考) 図表 働いていない人の現在の求職活動の状況(単数回答/女性・年齢5歳階級別)



(注) 上図には、生産年齢人口である64歳以下のみを示している。

### 女性・年齢5歳階級別

女性の無職者の就労意向について、年齢階級を細かく区切ってしてみると、集計母数が少ない「20～24歳」を除き、「仕事を探している」人は、30歳代から40歳代では20%台で他の年齢層に比べて多くなっています。ただ、「働く意思がある」(「仕事を探している」+「仕事を探していないが、将来働きたいと思っている」)人は年齢層が高いほど少ない傾向となっており、「50歳」以上では半数以上が「仕事を探していないし、働く気はない」となっています。

### 3 - 7 求職者が働くための条件として重視すること

図表 求職者が働くための条件として重視すること

(複数回答 / 県全体、性別、性・年齢別、婚姻状況別、ライフステージ別、地域別)

		働く時間の融通がききやすい	通勤時間が短い	希望の収入額が得られる	専門的な資格や技術、経験が活かせる	正規職員・従業員として働ける	仕事先の育児などへの支援制度が整っている	育児・介護などの社会的サポートが整っている	仕事先の介護などへの支援制度が整っている	その他
県全体		<b>69.7%</b>	<b>36.6%</b>	<b>26.4%</b>	16.3%	12.1%	9.3%	8.4%	3.1%	4.7%
性別	男性	<b>40.1%</b>	23.5%	<b>42.5%</b>	19.0%	<b>37.2%</b>	0.0%	1.6%	2.4%	5.3%
	女性	<b>78.7%</b>	<b>41.2%</b>	<b>21.8%</b>	15.8%	4.5%	12.5%	10.7%	3.2%	4.1%
性別・男性	20歳代	18.4%	<b>21.1%</b>	<b>44.7%</b>	5.3%	<b>68.4%</b>	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
	30歳代	0.0%	<b>11.1%</b>	<b>88.9%</b>	0.0%	<b>100.0%</b>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	<b>32.1%</b>	0.0%	<b>35.7%</b>	14.3%	<b>67.9%</b>	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%
	50歳代	<b>40.6%</b>	<b>18.8%</b>	<b>53.1%</b>	0.0%	<b>40.6%</b>	0.0%	0.0%	12.5%	3.1%
	60歳代	<b>62.6%</b>	<b>33.0%</b>	<b>37.4%</b>	26.4%	22.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	24.5%	<b>26.5%</b>	<b>36.7%</b>	<b>34.7%</b>	10.2%	0.0%	0.0%	0.0%	18.4%
性別・女性	20歳代	<b>62.1%</b>	<b>41.7%</b>	21.4%	<b>23.3%</b>	15.5%	3.9%	17.5%	0.0%	1.9%
	30歳代	<b>79.4%</b>	<b>30.9%</b>	21.8%	15.2%	3.7%	<b>30.5%</b>	17.7%	0.0%	1.6%
	40歳代	<b>84.4%</b>	<b>46.3%</b>	<b>26.8%</b>	12.7%	1.0%	9.3%	2.4%	6.3%	2.9%
	50歳代	<b>76.6%</b>	<b>49.2%</b>	17.2%	<b>24.2%</b>	5.5%	0.0%	13.3%	4.7%	5.5%
	60歳代	<b>88.7%</b>	<b>57.7%</b>	<b>18.3%</b>	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%
	70歳以上	<b>75.0%</b>	<b>17.9%</b>	<b>21.4%</b>	<b>17.9%</b>	0.0%	0.0%	0.0%	<b>21.4%</b>	25.0%
婚姻状況別	未婚	<b>31.2%</b>	<b>31.2%</b>	<b>42.9%</b>	20.1%	<b>44.8%</b>	1.3%	2.6%	1.3%	7.1%
	既婚	<b>76.0%</b>	<b>38.8%</b>	<b>24.0%</b>	16.2%	6.2%	11.8%	9.3%	1.7%	3.6%
	離婚・死別	<b>75.8%</b>	<b>29.0%</b>	<b>22.6%</b>	8.1%	11.3%	0.0%	14.5%	21.0%	4.8%
ライフステージ別	若者	<b>38.1%</b>	<b>31.9%</b>	<b>32.7%</b>	19.5%	<b>38.1%</b>	3.5%	12.4%	1.8%	1.8%
	夫婦	<b>75.7%</b>	<b>39.0%</b>	<b>30.1%</b>	27.2%	1.5%	3.7%	8.1%	0.0%	0.0%
	育児期	<b>83.5%</b>	<b>33.3%</b>	14.0%	9.9%	2.5%	<b>33.3%</b>	<b>21.8%</b>	0.0%	0.8%
	教育期前期	<b>79.9%</b>	<b>38.9%</b>	<b>27.9%</b>	13.8%	6.7%	18.4%	7.1%	0.0%	0.7%
	教育期後期	<b>88.2%</b>	<b>41.2%</b>	10.6%	11.8%	5.9%	1.2%	5.9%	<b>20.0%</b>	1.2%
	単身高齢者	<b>80.0%</b>	0.0%	<b>20.0%</b>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	高齢者夫婦	<b>59.7%</b>	<b>35.1%</b>	<b>23.4%</b>	20.8%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	11.7%
地域別	地域1(北部)	<b>70.0%</b>	<b>34.5%</b>	<b>31.8%</b>	16.4%	11.8%	5.5%	7.3%	2.7%	3.6%
	地域2(西部)	<b>75.0%</b>	<b>45.5%</b>	<b>15.9%</b>	13.6%	13.6%	<b>15.9%</b>	4.5%	4.5%	4.5%
	地域3(中部)	<b>69.2%</b>	<b>33.3%</b>	<b>23.1%</b>	19.2%	10.3%	14.1%	12.8%	3.8%	3.8%
	地域4(東部)	<b>65.6%</b>	<b>53.1%</b>	<b>21.9%</b>	9.4%	18.8%	9.4%	3.1%	0.0%	9.4%
	地域5(南東部)	<b>60.6%</b>	<b>27.3%</b>	<b>24.2%</b>	12.1%	18.2%	6.1%	6.1%	3.0%	21.2%
	地域6(南西部)	<b>75.0%</b>	<b>60.0%</b>	<b>15.0%</b>	<b>15.0%</b>	10.0%	5.0%	10.0%	0.0%	0.0%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

男性の各年齢層の集計母数は、「20歳代」が43件、「30歳代」が9件、「40歳代」が28件、「50歳代」が38件、「60歳代」が305件、「70歳以上」が640件で、「50歳代」以下では有業者が多いために集計母数に著しい偏りが生じている。

## 県全体

現在、「家事専業・家事手伝い」「無職」の人に対して、求職者が働くための条件として重視することをたずねたところ、「働く時間の融通がききやすい」(69.7%)が突出しています。

## 性・年齢別

女性では、年齢層に関係なく「働く時間の融通がききやすい」が最も多くなっています。また、女性の「20歳代」と「50歳代」では、上位3項目に「働く時間の融通がききやすい」「通勤時間が短い」のほかに「専門的な資格や技術、経験が活かせる」が入っており、また、「30歳代」では「仕事先の育児などへの支援制度が整っている」が入っているなど、年齢層によって重視する事項の違いがみられます。

## 婚姻状況別

「未婚」では「正規職員・従業員として働ける」、「既婚」と「離婚・死別」では「働く時間の融通がききやすい」がそれぞれ最も多くなっています。

また、「未婚」では、「希望の収入額が得られる」(42.9%)も「正規職員・従業員として働ける」(44.8%)と同程度に重視されています。

## ライフステージ別

「若者」では、「働く時間の融通がききやすい」と「正規職員・従業員として働ける」がともに最も多く、他のライフステージでは「働く時間の融通がききやすい」ことが最も多くなっています。

「育児期」では、上位3項目に「仕事先の育児などへの支援制度が整っている」「育児・介護などの社会的サポート(保育所や社会福祉施設など)が整っている」も入っており、ライフステージによって重視する事項の違いがみられます。

## 地域別

地域に関係なく「働く時間の融通がききやすい」が最も多くなっています。また、「地域2(西部)」では、「仕事先の育児などへの支援制度が整っている」も上位3項目に入っています。



(参考) 図表 求職者が働くための条件として重視すること(複数回答/女性・年齢5歳階級別)

	正規職員・従業員として働ける	希望の収入額が得られる	働く時間の融通がききやすい	通勤時間が短い	専門的な資格や技術、経験が活かせる	仕事先の育児などへの支援制度が整っている	仕事先の介護などへの支援制度が整っている	育児・介護などの社会的サポート(保育所や社会福祉施設など)が整っている	その他
20～24歳	33.3%	47.6%	4.8%	47.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25～29歳	12.2%	13.4%	76.8%	39.0%	19.5%	4.9%	0.0%	22.0%	2.4%
30～34歳	4.4%	30.1%	75.2%	15.9%	17.7%	35.4%	0.0%	19.5%	1.8%
35～39歳	3.1%	14.5%	82.4%	43.5%	13.0%	26.0%	0.0%	16.0%	1.5%
40～44歳	1.9%	24.3%	79.6%	55.3%	9.7%	17.5%	0.0%	4.9%	0.0%
45～49歳	0.0%	29.4%	89.2%	37.3%	16.7%	1.0%	12.7%	0.0%	5.9%
50～54歳	13.2%	32.1%	73.6%	39.6%	11.3%	0.0%	11.3%	15.1%	0.0%
55～59歳	0.0%	6.8%	79.7%	56.8%	32.4%	0.0%	0.0%	12.2%	9.5%
60～64歳	0.0%	17.6%	82.4%	52.9%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%

(注) 上表には、生産年齢人口である64歳以下のみを示している。

太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

#### 女性・年齢5歳階級別

女性の求職者が働くための条件として重視することについて、年齢階級を細かく区切ってみると、集計母数が少ない「20～24歳」を除き、すべての年齢層で「働く時間の融通がききやすい」が最も多くなっています。

以下、多くの年齢層で「通勤時間が短い」や「希望の収入額が得られる」と続いています。また、「25～29歳」では「育児・介護などの社会的サポート(保育所や社会福祉施設など)が整っている」が3番目に多く、30歳代では「仕事先の育児などへの支援制度が整っている」が上位3項目に入っています。

### 3 - 8 定年後の仕事や生活のあり方の意向

図表 定年後の仕事や生活のあり方の意向（複数回答／県全体、性別、性・年齢別）

	自分の自由な時間を過ごす（過ごしている）	1日に数時間・週に数日という具合で定期的に働く（働いている）	現在の仕事で得た知識や技能を活かした仕事や活動を自分でする（している）	同じ会社で、再雇用制度を利用して働く（働いている）	農林漁業・商業などの自営業をする（している）	NPO・ボランティア活動などに参加する（参加している）	シルバー人材センターのようなどこかに登録し、要請があった時に働く（働いている）	新しい仕事を見つけて、毎日、フルタイムで働く（働いている）	その他	わからない
県全体	<b>51.9%</b>	<b>23.8%</b>	<b>14.1%</b>	10.9%	10.5%	9.1%	5.7%	5.2%	7.2%	10.0%
性別										
男性	<b>47.4%</b>	<b>20.4%</b>	<b>17.0%</b>	16.1%	16.6%	8.0%	5.6%	6.7%	6.8%	10.2%
女性	<b>56.5%</b>	<b>27.5%</b>	<b>11.8%</b>	6.3%	5.1%	10.1%	5.7%	3.6%	7.6%	10.1%
性別・年齢										
20歳代	<b>58.1%</b>	<b>20.7%</b>	<b>23.7%</b>	11.7%	11.7%	8.0%	5.8%	4.8%	1.4%	19.3%
30歳代	<b>45.0%</b>	<b>25.8%</b>	<b>28.2%</b>	9.7%	17.4%	4.1%	5.6%	8.8%	3.0%	18.1%
40歳代	<b>34.5%</b>	<b>24.5%</b>	17.6%	<b>25.4%</b>	17.6%	6.7%	7.3%	19.5%	1.2%	12.1%
50歳代	<b>30.6%</b>	<b>28.7%</b>	17.5%	<b>34.1%</b>	16.8%	7.1%	4.8%	9.4%	3.2%	9.6%
60歳代	<b>43.8%</b>	<b>23.8%</b>	16.5%	18.0%	<b>18.3%</b>	9.3%	6.3%	3.1%	6.1%	4.8%
70歳以上	<b>64.8%</b>	6.3%	7.4%	1.9%	<b>16.9%</b>	<b>10.4%</b>	4.5%	0.9%	18.0%	5.2%
性別・女性										
20歳代	<b>61.1%</b>	<b>40.2%</b>	<b>25.5%</b>	5.6%	1.1%	7.7%	4.1%	8.2%	1.0%	12.0%
30歳代	<b>56.5%</b>	<b>46.4%</b>	<b>12.2%</b>	6.2%	3.7%	9.1%	9.5%	5.0%	1.8%	11.9%
40歳代	<b>46.1%</b>	<b>41.9%</b>	<b>17.6%</b>	9.3%	5.1%	8.5%	6.9%	5.2%	3.7%	13.7%
50歳代	<b>48.2%</b>	<b>30.9%</b>	10.8%	10.0%	9.0%	<b>16.0%</b>	6.9%	4.8%	7.2%	14.3%
60歳代	<b>68.4%</b>	<b>15.9%</b>	5.6%	7.5%	5.0%	<b>13.2%</b>	4.8%	1.4%	11.3%	6.0%
70歳以上	<b>59.1%</b>	3.5%	4.8%	0.7%	<b>5.4%</b>	<b>6.1%</b>	3.1%	0.0%	15.8%	5.4%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」「わからない」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

#### 県全体

定年後の仕事や生活のあり方の意向については、「自分の自由な時間を過ごす（過ごしている）」（51.9%）が最も多く、以下、「1日に数時間・週に数日という具合で定期的に働く（働いている）」（23.8%）、「現在の仕事で得た知識や技能を活かした仕事や活動を自分でする（している）」（14.1%）と続いています。

#### 性・年齢別

男女ともに、「60歳代」以下では上位3項目までに「自分の自由な時間を過ごす（過ごしている）」と「1日に数時間・週に数日という具合で定期的に働く（働いている）」が共通して入っています。

これらに加え、男性の「20歳代」と「30歳代」、女性の「20歳代」から「40歳代」では「現在の仕事で得た知識や技能を活かした仕事や活動を自分でする（している）」が上位3項目までに入っています。また、男性の「40歳代」と「50歳代」では「同じ会社で、再雇用制度を利用して働く（働いている）」が入っています。

女性の「50歳代以上」では「NPO・ボランティア活動などに参加する（参加している）」が入っています。

図表 定年後の仕事や生活のあり方の意向

(複数回答/県全体、職業別、通勤先別、婚姻状況別、ライフステージ別、地域別)

	自分の自由な時間を過ごす(過剰している)	1日に数時間・週に数日という具合に定期的に働く(働いている)	現在の仕事や活動を自分でする(している)	同じ会社で、再雇用制度を利用して働く(働いている)	農林漁業・商業などの自営業をする(している)	NPO・ボランティア活動などに参加する(参加している)	働く(働いている)	シルバークリニック・人材センターのようなところに登録し、要請があった時に働く(働いている)	新しい仕事を見つけて、毎日、フルタイムで働く(働いている)	その他	わからない
県全体	<b>51.9%</b>	<b>23.8%</b>	<b>14.1%</b>	10.9%	10.5%	9.1%	5.7%	5.2%	7.2%	10.0%	
職業別	農林漁業	<b>30.0%</b>	10.0%	<b>13.2%</b>	1.8%	<b>76.1%</b>	1.4%	4.3%	0.0%	3.6%	5.4%
	自営業	<b>38.0%</b>	17.5%	<b>24.8%</b>	6.4%	<b>41.0%</b>	8.0%	3.7%	4.7%	4.8%	7.9%
	正規社員等	<b>43.4%</b>	<b>33.6%</b>	20.1%	<b>23.4%</b>	7.4%	6.7%	6.3%	10.8%	1.7%	11.8%
	非正規社員等	<b>37.1%</b>	<b>40.5%</b>	13.9%	<b>21.1%</b>	2.6%	7.9%	9.2%	8.7%	2.6%	14.1%
	家事専業・無職	<b>68.8%</b>	<b>16.7%</b>	6.7%	1.8%	3.6%	<b>11.6%</b>	5.2%	1.5%	13.2%	9.0%
学生・その他	<b>64.5%</b>	<b>14.0%</b>	<b>24.1%</b>	8.8%	4.9%	13.5%	3.0%	3.3%	10.8%	6.4%	
通勤先別	居住している市町村	<b>41.0%</b>	<b>23.6%</b>	20.1%	13.5%	<b>26.1%</b>	7.1%	6.2%	6.8%	4.6%	10.3%
	県内の他の市町村	<b>43.7%</b>	<b>34.2%</b>	17.3%	<b>19.6%</b>	8.1%	7.6%	6.0%	10.0%	1.7%	14.2%
	県外	<b>37.5%</b>	<b>36.1%</b>	20.3%	<b>24.1%</b>	8.4%	7.3%	6.8%	8.8%	2.0%	11.1%
婚姻状況別	未婚	<b>54.0%</b>	<b>32.3%</b>	<b>24.6%</b>	7.9%	7.1%	8.2%	4.3%	9.0%	1.7%	17.1%
	既婚	<b>52.0%</b>	<b>23.6%</b>	<b>12.7%</b>	12.1%	12.2%	9.6%	5.7%	4.4%	7.8%	8.6%
	離婚・死別	<b>51.9%</b>	<b>15.5%</b>	7.1%	<b>9.2%</b>	6.2%	6.7%	7.7%	3.4%	12.1%	8.5%
ライフステージ別	若者	<b>58.5%</b>	<b>30.1%</b>	<b>25.5%</b>	8.6%	6.2%	8.4%	4.8%	6.0%	0.8%	16.0%
	夫婦	<b>46.3%</b>	<b>27.2%</b>	13.6%	<b>19.3%</b>	10.1%	9.4%	5.4%	8.1%	5.3%	9.5%
	育児期	<b>52.6%</b>	<b>31.8%</b>	<b>17.9%</b>	8.8%	14.0%	8.1%	8.8%	2.9%	3.4%	11.3%
	教育期前期	<b>42.5%</b>	<b>33.8%</b>	15.5%	<b>16.1%</b>	12.3%	8.7%	8.3%	8.2%	4.7%	10.7%
	教育期後期	<b>48.3%</b>	<b>23.5%</b>	<b>17.4%</b>	15.4%	16.0%	10.6%	6.5%	5.9%	2.9%	11.2%
	単身高齢者	<b>55.1%</b>	7.4%	<b>9.1%</b>	1.8%	<b>8.1%</b>	7.4%	4.6%	0.0%	15.1%	4.9%
高齢者夫婦	<b>63.7%</b>	<b>9.1%</b>	7.9%	1.9%	8.5%	<b>11.9%</b>	2.6%	1.3%	14.5%	4.8%	
地域別	地域1(北部)	<b>53.0%</b>	<b>24.0%</b>	<b>14.1%</b>	11.1%	10.0%	9.5%	4.8%	5.0%	6.5%	9.8%
	地域2(西部)	<b>54.7%</b>	<b>22.4%</b>	13.2%	<b>13.9%</b>	6.7%	10.0%	6.2%	4.2%	7.0%	11.7%
	地域3(中部)	<b>50.5%</b>	<b>24.4%</b>	<b>14.6%</b>	10.2%	9.4%	9.4%	7.2%	6.1%	8.1%	8.8%
	地域4(東部)	<b>51.0%</b>	<b>24.6%</b>	13.6%	10.2%	<b>16.1%</b>	7.4%	4.8%	5.1%	7.6%	12.2%
	地域5(南東部)	<b>47.5%</b>	<b>20.6%</b>	12.4%	8.2%	<b>16.0%</b>	4.3%	6.4%	4.6%	9.6%	12.4%
	地域6(南西部)	<b>43.9%</b>	<b>21.9%</b>	15.8%	9.0%	<b>23.4%</b>	5.4%	5.8%	4.0%	8.6%	11.9%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」「わからない」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

### 職業別

「農林漁業」と「自営業」では「農林漁業・商業などの自営業をする(している)」、「非正規社員等」では「1日に数時間・週に数日という具合で定期的に働く(働いている)」がそれぞれ最も多く、他の職業では「自分の自由な時間を過ごす(過ごしている)」が最も多くなっています。

### 通勤先別

通勤先に関係なく「自分の自由な時間を過ごす(過ごしている)」が最も多くなっています。上位3項目をみると、「居住している市町村」では第2位に「農林漁業・商業などの自営業をする(している)」、「県内の他の市町村」と「県外」では第3位に「同じ会社で、再雇用制度を利用して働く(働いている)」が入っており、通勤先によって異なる意向がみられます。

### 婚姻状況別

上位2項目は、婚姻状況に関係なく共通していますが、第3位は、「未婚」と「既婚」では「現在の仕事で得た知識や技能を活かした仕事や活動を自分でする(している)」、「離婚・死別」では「同じ会社で、再雇用制度を利用して働く(働いている)」が入っており、婚姻状況によって異なる意向がみられます。

### ライフステージ別

上位2項目は、「単身高齢者」と「高齢者夫婦」以外では共通していますが、第3位は、「若者」「育児期」「教育期後期」では「現在の仕事で得た知識や技能を活かした仕事や活動を自分でする(している)」、「夫婦」と「教育期前期」では「同じ会社で、再雇用制度を利用して働く(働いている)」となっており、ライフステージによって異なる意向がみられます。

### 地域別

地域に関係なく「自分の自由な時間を過ごす(過ごしている)」が最も多くなっていますが、県南部の「地域5(南東部)」と「地域6(南西部)」では40%台となっており、「地域1(北部)」から「地域4(東部)」が50%台であるのに対してやや少なくなっています。

### 3 - 9 現在の仕事を探すために活用した媒体や機関

図表 現在の仕事を探すために活用した媒体や機関（複数回答/県全体、性・職業別、性・年齢別）

		親類や友人からの紹介	就職活動はしていない。または、就職活動をしようとは思わない	学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など	ハローワークなどの公的な職業紹介機関	新聞や折り込みチラシなどの求人広告	就職情報誌やフリーペーパーなど	インターネットの民間就職情報サイト	派遣会社への登録	インターネットの公的な機関の就職支援サイト	中途採用、既卒者向けの就職面接会	その他	わからない
県全体		17.4%	16.7%	15.6%	15.2%	14.3%	5.6%	5.2%	2.5%	2.3%	2.1%	8.5%	6.2%
性別	男性	20.1%	16.8%	22.2%	14.0%	7.4%	4.7%	5.4%	1.5%	1.6%	3.3%	9.9%	5.2%
	女性	15.1%	16.9%	9.8%	16.6%	21.1%	6.5%	5.2%	3.3%	3.0%	0.9%	7.1%	6.9%
性別・男性	農林漁業	13.1%	22.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.7%	5.2%
	自営業	28.2%	18.0%	6.3%	10.2%	7.1%	1.4%	0.9%	1.4%	0.5%	2.6%	18.0%	6.0%
	正規社員等	27.9%	3.9%	45.6%	10.9%	7.0%	8.2%	6.8%	0.6%	1.8%	6.0%	6.3%	1.8%
	非正規社員等	21.1%	7.0%	13.9%	37.7%	14.8%	5.5%	6.8%	9.5%	1.1%	2.9%	6.8%	7.0%
	家事専業・無職	7.9%	38.8%	1.8%	14.2%	7.8%	4.3%	2.8%	0.5%	1.2%	1.0%	8.7%	9.6%
	学生・その他	13.7%	15.9%	38.2%	11.0%	2.7%	1.0%	16.4%	0.5%	6.1%	2.5%	14.7%	3.4%
性別・女性	農林漁業	9.9%	23.5%	1.2%	6.2%	4.9%	0.0%	2.5%	0.0%	2.5%	0.0%	17.3%	16.0%
	自営業	21.2%	8.7%	5.3%	8.7%	9.8%	3.0%	0.8%	1.9%	2.3%	1.1%	15.2%	6.4%
	正規社員等	23.2%	0.9%	36.0%	19.5%	15.0%	6.5%	8.2%	3.2%	6.5%	2.6%	4.9%	0.3%
	非正規社員等	29.1%	1.3%	3.3%	25.0%	43.3%	11.1%	4.2%	7.5%	1.0%	0.2%	4.2%	0.8%
	家事専業・無職	7.5%	30.8%	2.0%	15.2%	18.9%	6.2%	4.5%	2.4%	2.5%	0.5%	7.4%	11.2%
	学生・その他	11.4%	10.0%	43.6%	12.8%	4.7%	4.7%	15.2%	0.0%	7.6%	1.9%	14.7%	9.0%
性別・男性	20歳代	17.8%	5.8%	46.3%	17.8%	7.8%	6.7%	24.9%	3.4%	5.7%	5.5%	5.1%	2.7%
	30歳代	24.5%	4.9%	31.0%	18.7%	7.7%	9.9%	10.1%	3.0%	1.9%	4.9%	8.4%	3.2%
	40歳代	29.9%	5.5%	39.0%	12.8%	7.4%	11.4%	3.6%	0.0%	1.7%	5.4%	4.1%	3.8%
	50歳代	35.3%	7.9%	30.7%	15.5%	9.8%	3.2%	0.7%	1.9%	1.7%	4.4%	10.2%	2.4%
	60歳代	14.5%	22.5%	7.5%	19.9%	11.3%	2.9%	1.6%	2.1%	0.2%	2.0%	10.7%	7.0%
	70歳以上	7.5%	36.9%	1.5%	4.4%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.6%	15.6%	8.8%
性別・女性	20歳代	15.1%	2.5%	40.1%	23.0%	17.1%	13.5%	19.9%	6.1%	9.5%	0.7%	2.1%	1.0%
	30歳代	21.7%	4.6%	15.4%	27.5%	38.2%	12.0%	12.5%	6.0%	5.7%	0.9%	1.8%	2.6%
	40歳代	27.0%	5.1%	6.0%	27.7%	38.1%	11.6%	2.3%	7.1%	2.0%	1.1%	8.7%	4.0%
	50歳代	21.2%	18.0%	5.2%	17.2%	31.0%	4.5%	2.1%	1.7%	3.1%	2.0%	6.4%	5.1%
	60歳代	7.5%	35.7%	0.8%	8.9%	8.7%	0.6%	0.6%	1.3%	0.0%	1.0%	8.3%	11.9%
	70歳以上	3.5%	26.8%	2.0%	3.3%	2.4%	1.2%	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%	11.9%	12.9%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」「わからない」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

#### 県全体

現在の仕事を探すために活用した媒体や機関については、「親類や友人からの紹介」(17.4%)が最も多く、以下、「就職活動はしていない。または、就職活動をしようとは思わない」(16.7%)、「学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など」(15.6%)と続いています。

## 性・職業別

「正規社員等」は、男女ともに「学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など」が最も多くなっています。また、「非正規社員等」は、「男性」では「ハローワークなどの公的な職業紹介機関」、「女性」では「新聞や折り込みチラシなどの求人広告」が最も多くなっています。

## 性・年齢別

男性の「20歳代」から「40歳代」では「学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など」、「50歳代」では「親類や友人からの紹介」がそれぞれ最も多くなっています。

女性の「20歳代」では「学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など」、「30歳代」から「50歳代」では「新聞や折り込みチラシなどの求人広告」がそれぞれ最も多くなっています。

また、男女ともに年齢層が低いほど「インターネットの民間就職情報サイト」が多い傾向となっています。

図表 現在の仕事を探するために活用した媒体や機関

(複数回答/県全体、通勤先別、婚姻状況別、ライフステージ別、地域別)

	親類や友人からの紹介	就職活動はしていない。または、就職活動はしようとは思わない	学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など	ハローワークなどの公的な職業紹介機関	新聞や折り込みチラシなどの求人広告	就職情報誌やフリーペーパーなど	インターネットの民間就職情報サイト	派遣会社への登録	インターネットの公的な機関の就職支援サイト	中途採用、既卒者向けの就職面接会	その他	わからない	
県全体	<b>17.4%</b>	<b>16.7%</b>	<b>15.6%</b>	15.2%	14.3%	5.6%	5.2%	2.5%	2.3%	2.1%	8.5%	6.2%	
通勤先別	居住している市町村	<b>30.2%</b>	10.6%	8.6%	<b>15.0%</b>	<b>18.3%</b>	4.6%	1.2%	1.0%	2.0%	10.7%	5.5%	
	県内の他の市町村	<b>25.6%</b>	3.7%	<b>27.2%</b>	<b>21.0%</b>	18.0%	6.0%	4.4%	5.1%	2.2%	6.6%	2.6%	
	県外	<b>20.5%</b>	4.0%	<b>38.8%</b>	<b>14.1%</b>	9.6%	9.2%	10.7%	4.4%	2.7%	4.9%	7.9%	1.2%
婚姻状況別	未婚	<b>17.6%</b>	3.9%	<b>37.9%</b>	<b>24.1%</b>	11.6%	10.5%	17.3%	4.6%	6.4%	3.6%	4.3%	1.7%
	既婚	<b>18.6%</b>	<b>19.8%</b>	12.0%	14.0%	<b>16.0%</b>	4.9%	2.9%	2.0%	1.4%	1.8%	9.7%	6.2%
	離婚・死別	<b>10.3%</b>	<b>21.5%</b>	4.3%	9.4%	<b>10.9%</b>	3.2%	0.5%	2.1%	1.3%	1.1%	7.9%	10.6%
ライフステージ別	若者	16.5%	3.9%	<b>44.7%</b>	<b>20.2%</b>	11.0%	9.7%	<b>23.4%</b>	4.6%	7.5%	3.2%	3.3%	1.9%
	夫婦	<b>21.0%</b>	15.7%	11.3%	<b>20.7%</b>	<b>22.8%</b>	6.2%	2.5%	3.8%	2.0%	2.6%	6.5%	3.5%
	育児期	<b>24.2%</b>	7.8%	<b>22.9%</b>	20.6%	<b>21.8%</b>	10.8%	9.1%	4.6%	1.8%	2.1%	5.5%	4.2%
	教育期前期	<b>25.5%</b>	8.6%	<b>19.9%</b>	<b>16.6%</b>	<b>25.5%</b>	8.0%	4.2%	3.1%	2.0%	2.5%	7.7%	5.6%
	教育期後期	<b>24.7%</b>	12.9%	15.0%	<b>19.0%</b>	<b>19.3%</b>	4.2%	1.1%	2.1%	3.0%	3.0%	12.5%	5.9%
	単身高齢者	<b>3.5%</b>	<b>27.7%</b>	1.8%	<b>2.5%</b>	1.8%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.2%	8.4%
高齢者夫婦	<b>6.2%</b>	<b>32.9%</b>	1.5%	<b>6.0%</b>	4.8%	0.4%	0.0%	0.5%	0.3%	0.3%	12.4%	8.5%	
地域別	地域1(北部)	<b>15.9%</b>	<b>18.6%</b>	14.8%	<b>15.2%</b>	14.3%	5.9%	5.7%	3.0%	2.3%	1.9%	8.3%	6.2%
	地域2(西部)	13.9%	<b>20.4%</b>	<b>20.9%</b>	14.9%	<b>15.7%</b>	4.2%	5.2%	1.5%	1.2%	2.5%	6.0%	5.0%
	地域3(中部)	<b>19.9%</b>	13.9%	<b>15.9%</b>	15.0%	<b>15.8%</b>	6.5%	4.6%	2.2%	2.5%	2.2%	8.4%	5.9%
	地域4(東部)	<b>18.4%</b>	12.2%	<b>13.3%</b>	<b>16.1%</b>	10.8%	5.4%	5.4%	2.0%	2.8%	2.3%	9.3%	7.1%
	地域5(南東部)	<b>20.9%</b>	<b>14.5%</b>	12.1%	<b>16.3%</b>	8.5%	2.1%	3.2%	1.1%	1.8%	0.7%	16.0%	7.1%
	地域6(南西部)	<b>24.1%</b>	12.2%	<b>14.7%</b>	<b>13.3%</b>	12.6%	2.2%	3.2%	1.1%	2.2%	2.5%	10.4%	9.4%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」「わからない」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

#### 通勤先別

上位3項目をみると、「居住している市町村」では「親類や友人からの紹介」が最も多く、以下、「新聞や折り込みチラシなどの求人広告」「ハローワークなどの公的な職業紹介機関」と続いているのに対し、「県内の他の市町村」と「県外」では「学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など」が最も多く、以下、「親類や友人からの紹介」「ハローワークなどの公的な職業紹介機関」と続いており、通勤先によって活用媒体等に異なる傾向がみられます。

#### 婚姻状況別

上位3項目をみると、「未婚」では「学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など」が最も多く、以下、「ハローワークなどの公的な職業紹介機関」「親類や友人からの紹介」と続いているのに対し、「既婚」と「離婚・死別」では「就職活動はしていない。または、就職活動をしようとは思わない」が最も多く、以下、「親類や友人からの紹介」「新聞や折り込みチラシなどの求人広告」と続いており、活用媒体等に異なる傾向がみられます。

#### ライフステージ別

「育児期」「教育期前期」「教育期後期」では「親類や友人からの紹介」が最も多くなっています（「教育期前期」では「新聞や折り込みチラシなどの求人広告」も同率で最多）。

#### 地域別

「地域1(北部)」では「就職活動はしていない。または、就職活動をしようとは思わない」、「地域2(西部)」では「学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など」、そのほかの地域では「親類や友人からの紹介」が最も多くなっています。

### 3 - 10 行政が取り組むべき雇用・就労支援対策

図表 行政が取り組むべき雇用・就労支援対策（複数回答／県全体、性・年齢別）

	県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること	企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること	育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること	介護についての社会的なサポートを充実させること	農林漁業や医療、福祉などの分野で不足している人材を確保すること	育児についての社会的なサポートを充実させること	能力の向上・資格取得するための支援を充実すること	仕事に関する相談支援を充実させること	インターンシップ制度などで、若者の職業観を育てること	その他
県全体	<b>41.7%</b>	<b>29.0%</b>	<b>18.4%</b>	18.3%	15.4%	13.0%	10.2%	8.6%	6.1%	2.9%
性別										
男性	<b>45.4%</b>	<b>36.5%</b>	12.1%	15.9%	<b>18.5%</b>	9.6%	11.4%	9.8%	5.5%	3.4%
女性	<b>39.1%</b>	<b>22.8%</b>	<b>24.5%</b>	20.4%	12.8%	16.3%	9.3%	7.5%	6.7%	2.5%
性別・年齢										
20歳代	<b>47.5%</b>	<b>31.6%</b>	15.5%	6.0%	15.4%	11.3%	<b>23.7%</b>	11.7%	11.1%	2.7%
30歳代	<b>49.3%</b>	<b>35.1%</b>	15.9%	8.2%	14.2%	<b>24.1%</b>	7.9%	8.4%	7.9%	8.4%
40歳代	<b>53.5%</b>	<b>49.6%</b>	12.3%	9.3%	<b>18.5%</b>	8.3%	16.1%	11.4%	3.3%	3.8%
50歳代	<b>56.4%</b>	<b>44.0%</b>	12.3%	15.6%	<b>21.4%</b>	7.8%	8.8%	10.7%	3.7%	1.9%
60歳代	<b>44.1%</b>	<b>38.6%</b>	10.0%	20.9%	<b>21.7%</b>	6.8%	8.8%	10.7%	5.3%	2.9%
70歳以上	<b>30.8%</b>	<b>25.3%</b>	9.9%	<b>25.0%</b>	17.7%	5.7%	7.9%	7.3%	3.9%	2.6%
性別・女性										
20歳代	<b>51.7%</b>	14.8%	<b>32.5%</b>	6.6%	15.9%	<b>26.9%</b>	12.5%	7.1%	8.5%	1.1%
30歳代	<b>32.6%</b>	25.3%	<b>41.9%</b>	9.5%	15.0%	<b>36.6%</b>	13.5%	4.4%	4.1%	2.9%
40歳代	<b>45.1%</b>	<b>25.3%</b>	<b>34.1%</b>	17.2%	13.3%	16.4%	12.9%	10.3%	9.2%	2.3%
50歳代	<b>46.5%</b>	<b>29.0%</b>	21.4%	<b>25.5%</b>	12.4%	13.6%	8.3%	11.4%	5.5%	1.4%
60歳代	<b>37.1%</b>	<b>21.5%</b>	15.4%	<b>29.2%</b>	13.1%	9.4%	8.5%	9.0%	8.1%	4.1%
70歳以上	<b>27.2%</b>	<b>20.5%</b>	10.7%	<b>27.1%</b>	9.2%	4.2%	3.6%	3.5%	5.3%	2.6%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

#### 県全体

行政が取り組むべき雇用・就労支援対策については、「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」(41.7%)が最も多く、以下、「企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること」(29.0%)、「育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること」(18.4%)と続いています。

#### 性・年齢別

男性では、年齢層に関係なく「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」と「企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること」が上位2項目となっています。第3位は、「20歳代」では「能力の向上・資格取得するための支援を充実すること」、「30歳代」では「育児についての社会的なサポートを充実させること」、「40歳代」から「60歳代」では「農林漁業や医療、福祉などの分野で不足している人材を確保すること」などとなっています。

女性の「30歳代」では「育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること」が最も多く、他の年齢層では「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」が最も多くなっています。また、「20歳代」と「30歳代」では「育児についての社会的なサポートを充実させること」が上位3項目に入っており、同様に、「50歳代」以上では「介護についての社会的なサポートを充実させること」が上位3項目に入るなど、年齢層によって異なる傾向がみられます。



図表 行政が取り組むべき雇用・就労支援対策

(複数回答/県全体、職業別、通勤先別、婚姻状況別、ライフステージ別、地域別)

	県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること	企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること	育児や介護など仕事と両立できる職場づくりを企業に働きかけること	介護についての社会的なサポートを充実させること	農林漁業や医療、福祉などの分野で不足している人材を確保すること	育児についての社会的なサポートを充実させること	能力の向上・資格取得するための支援を充実させること	仕事に関する相談支援を充実させること	インターンシップ制度などで、若者の職業観を育てること	その他	
県全体	41.7%	29.0%	18.4%	18.3%	15.4%	13.0%	10.2%	8.6%	6.1%	2.9%	
職業別	農林漁業	33.6%	27.5%	3.2%	10.7%	42.5%	6.4%	11.4%	9.3%	5.0%	0.7%
	自営業	47.8%	33.3%	13.1%	14.9%	12.1%	9.7%	9.9%	12.4%	8.5%	4.8%
	正規社員等	51.3%	36.0%	21.0%	13.4%	18.3%	17.4%	10.5%	6.0%	5.0%	3.3%
	非正規社員等	47.2%	35.1%	24.0%	14.5%	12.5%	11.8%	12.4%	14.3%	5.2%	2.6%
	家事専業・無職	34.9%	22.8%	17.2%	26.0%	14.0%	12.9%	8.6%	7.8%	6.0%	2.4%
学生・その他	41.0%	29.1%	20.3%	13.4%	17.0%	13.5%	15.1%	5.7%	9.7%	4.2%	
通勤先別	居住している市町村	46.1%	34.9%	18.6%	17.4%	19.0%	11.1%	9.9%	10.7%	5.8%	3.3%
	県内の他の市町村	51.2%	29.5%	21.8%	10.6%	16.2%	14.6%	14.6%	9.7%	6.0%	2.5%
	県外	50.8%	40.1%	18.5%	12.9%	12.7%	15.9%	10.4%	8.5%	6.3%	3.3%
婚姻状況別	未婚	49.3%	29.0%	20.2%	10.4%	15.9%	12.7%	17.3%	11.3%	8.4%	3.7%
	既婚	42.0%	30.1%	19.4%	19.4%	16.1%	14.5%	9.2%	7.5%	5.8%	2.5%
	離婚・死別	32.1%	25.0%	12.0%	23.9%	10.9%	6.3%	6.6%	10.5%	4.9%	3.6%
ライフステージ別	若者	50.5%	22.8%	23.4%	6.3%	15.8%	17.2%	18.4%	9.7%	9.8%	2.0%
	夫婦	43.5%	31.9%	21.6%	15.0%	13.8%	19.1%	9.7%	10.9%	5.4%	2.9%
	育児期	34.6%	22.5%	32.0%	7.8%	14.0%	38.7%	11.4%	5.5%	6.3%	5.1%
	教育期前期	45.6%	31.1%	24.7%	11.6%	19.2%	14.4%	12.1%	9.7%	5.8%	3.1%
	教育期後期	43.9%	31.5%	19.3%	19.9%	22.4%	9.8%	11.6%	9.6%	6.5%	2.5%
	単身高齢者	26.7%	17.9%	2.5%	26.7%	13.0%	10.9%	6.0%	9.1%	5.3%	3.2%
高齢者夫婦	31.4%	21.5%	9.7%	28.1%	15.1%	6.8%	6.6%	5.6%	4.1%	2.0%	
地域別	地域1(北部)	40.6%	28.4%	17.5%	20.7%	16.5%	14.3%	10.1%	8.3%	6.1%	3.1%
	地域2(西部)	42.5%	27.1%	20.4%	19.4%	11.2%	16.2%	10.2%	9.0%	7.7%	2.7%
	地域3(中部)	40.9%	29.3%	19.4%	16.7%	14.0%	11.9%	11.1%	9.4%	6.2%	2.5%
	地域4(東部)	48.7%	32.6%	17.8%	12.5%	14.4%	7.1%	9.1%	8.2%	4.0%	2.5%
	地域5(南東部)	45.7%	32.6%	17.0%	10.3%	21.6%	6.7%	7.4%	6.0%	6.4%	5.0%
	地域6(南西部)	43.2%	29.5%	20.1%	11.5%	19.8%	10.1%	7.9%	8.3%	4.0%	2.9%

(注) 集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

### 職業別

「農林漁業」では「農林漁業や医療、福祉などの分野で不足している人材を確保すること」が最も多く、他の職業では「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」が最も多くなっています。

また、「正規社員等」「非正規社員等」「学生・その他」では、「育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること」が上位3項目に入っています。

### 通勤先別

通勤先に関係なく「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」と「企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること」が上位2項目となっています。第3位は、「居住している市町村」では「農林漁業や医療、福祉などの分野で不足している人材を確保すること」、「県内の他の市町村」と「県外」では「育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること」となっています。

### 婚姻状況別

婚姻状況に関係なく「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」と「企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること」が上位2項目となっています。第3位は、「未婚」と「既婚」では「育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること」（「既婚」では「介護についての社会的なサポートを充実させること」も同率）、「離婚・死別」では「介護についての社会的なサポートを充実させること」となっています。

### ライフステージ別

「育児期」では「育児についての社会的なサポートを充実させること」が最も多く、他のライフステージでは「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」が最も多くなっています（「単身高齢者」では「介護についての社会的なサポートを充実させること」も同率で最多）。

### 地域別

どの地域でも「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」と「企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること」が上位2項目となっています。第3位は、「地域1(北部)」では「介護についての社会的なサポートを充実させること」、「地域2(西部)」「地域3(中部)」「地域4(東部)」「地域6(南西部)」では「育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること」、「地域5(南東部)」では「農林漁業や医療、福祉などの分野で不足している人材を確保すること」が入っています。

## 4 県民のまちづくりに関する意識やニーズについて

### 4 - 1 地域のまちづくりの評価

#### (1) 県全体の評価の順位

図表 県全体の評価の順位

順位	項目番号	項目	評価
1	20	自然環境が豊かである	3.64
2	19	歴史・文化遺産等が身近にある	3.53
3	1	日用品の買物が便利である	3.52
4	15	犯罪が少なく、治安がよい	3.33
5	2	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる	3.29
6	14	ごみや下水が適正に処理されている	3.25
7	8	公園や緑地が整備されている	3.05
8	11	生活道路が整備されている	3.05
9	4	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている	3.04
10	12	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	2.92
11	18	街並みが美しい	2.88
12	5	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている	2.82
13	9	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている	2.81
14	7	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている	2.76
15	16	地震や水害など災害に対する備えができている	2.76
16	6	子どもを安心して育てるための施設が整っている	2.75
17	10	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている	2.59
18	3	飲食店や娯楽施設が充実している	2.58
19	13	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる	2.51
20	17	親しみやすい水辺がある	2.31

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位の設定には小数第3位以下も考慮している。

県全体の評価が高い順に並べると、肯定的評価(3.01以上)は9項目で、「自然環境が豊かである」の評価が最も高く、以下、「歴史・文化遺産等が身近にある」、「日用品の買物が便利である」と続いています。

逆に、否定的評価(2.99以下)は11項目で、「親しみやすい水辺がある」「高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる」「飲食店や娯楽施設が充実している」「映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている」「子どもを安心して育てるための施設が整っている」などとなっています。

## (2) 地域別の評価の比較

### 「県全体」の評価及び地域別での比較

図表 「県全体」の評価及び地域別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1	20	自然環境が豊かである	3.64	3.61	3.62	3.50	3.93	4.36	3.99
2	19	歴史・文化遺産等が身近にある	3.53	3.57	3.69	3.44	3.49	3.49	3.26
3	1	日用品の買物が便利である	3.52	3.53	3.57	3.87	2.97	2.45	2.74
4	15	犯罪が少なく、治安がよい	3.33	3.37	3.29	3.16	3.49	3.81	3.42
5	2	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる	3.29	3.32	3.13	3.66	2.78	2.18	2.46
6	14	ごみや下水が適正に処理されている	3.25	3.41	3.10	3.15	3.01	3.11	2.69
7	8	公園や緑地が整備されている	3.05	3.05	3.15	3.15	2.79	2.59	2.93
8	11	生活道路が整備されている	3.05	3.09	2.95	3.09	3.01	2.81	2.62
9	4	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている	3.04	3.02	3.08	3.27	2.73	2.54	2.41
10	12	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	2.92	3.09	2.85	3.03	2.45	1.93	1.76
11	18	街並みが美しい	2.88	2.92	2.86	2.81	2.78	3.09	2.90
12	5	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている	2.82	2.82	3.00	2.99	2.58	2.07	2.18
13	9	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている	2.81	2.71	3.02	3.02	2.68	2.47	2.65
14	7	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている	2.76	2.75	2.86	2.80	2.69	2.60	2.55
15	16	地震や水害など災害に対する備えができています	2.76	2.82	2.79	2.69	2.69	2.68	2.52
16	6	子どもを安心して育てるための施設が整っている	2.75	2.77	2.84	2.81	2.61	2.35	2.21
17	10	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている	2.59	2.67	2.69	2.80	2.01	1.68	1.72
18	3	飲食店や娯楽施設が充実している	2.58	2.60	2.38	3.00	2.07	1.56	1.83
19	13	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる	2.51	2.60	2.47	2.46	2.37	2.29	2.19
20	17	親しみやすい水辺がある	2.31	2.24	2.45	2.17	2.35	3.38	2.92

(注) 網かけは、地域での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と地域との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の評価を下回っている項目が最も多いのは「地域4(東部)」で、このほか、県南部の「地域5(南東部)」と「地域6(南西部)」でも「県全体」に比べて評価が低い項目が多くなっています。

逆に、「県全体」の評価を下回っている項目が最も少ないのは「地域1(北部)」となっています。

## 地域別の評価上位5項目の傾向

図表 地域別の評価上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	自然環境が豊かである 3.64	歴史・文化遺産等が身近にある 3.53	日用品の買物が便利である 3.52	犯罪が少なく、治安がよい 3.33	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.29
地域1 (北部)	自然環境が豊かである 3.61	歴史・文化遺産等が身近にある 3.57	日用品の買物が便利である 3.53	ごみや下水が適正に処理されている 3.41	犯罪が少なく、治安がよい 3.37
地域2 (西部)	歴史・文化遺産等が身近にある 3.69	自然環境が豊かである 3.62	日用品の買物が便利である 3.57	犯罪が少なく、治安がよい 3.29	公園や緑地が整備されている 3.15
地域3 (中部)	日用品の買物が便利である 3.87	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.66	自然環境が豊かである 3.50	歴史・文化遺産等が身近にある 3.44	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている 3.27
地域4 (東部)	自然環境が豊かである 3.93	犯罪が少なく、治安がよい 3.49	歴史・文化遺産等が身近にある 3.49	ごみや下水が適正に処理されている 3.01	生活道路が整備されている 3.01
地域5 (南東部)	自然環境が豊かである 4.36	犯罪が少なく、治安がよい 3.81	歴史・文化遺産等が身近にある 3.49	親しみやすい水辺がある 3.38	ごみや下水が適正に処理されている 3.11
地域6 (南西部)	自然環境が豊かである 3.99	犯罪が少なく、治安がよい 3.42	歴史・文化遺産等が身近にある 3.26	公園や緑地が整備されている 2.93	親しみやすい水辺がある 2.92

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

上位5項目で、各地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「ごみや下水が適正に処理されている」(「地域1(北部)」と「地域4(東部)」の第4位、「地域5(南東部)」の第5位)、「公園や緑地が整備されている」(「地域6(南西部)」の第4位、「地域2(西部)」の第5位)、「親しみやすい水辺がある」(「地域5(南東部)」の第4位、「地域6(南西部)」の第5位)などとなっています。

## 地域別の評価下位5項目の傾向

図表 地域別の評価下位5項目の傾向

	第20位	第19位	第18位	第17位	第16位
県全体	親しみやすい水辺がある 2.31	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.51	飲食店や娯楽施設が充実している 2.58	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.59	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.75
地域1 (北部)	親しみやすい水辺がある 2.24	飲食店や娯楽施設が充実している 2.60	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.60	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.67	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている 2.71
地域2 (西部)	飲食店や娯楽施設が充実している 2.38	親しみやすい水辺がある 2.45	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.47	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.69	地震や水害など災害に対する備えができています 2.79
地域3 (中部)	親しみやすい水辺がある 2.17	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.46	地震や水害など災害に対する備えができています 2.69	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.80	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている 2.80
地域4 (東部)	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.01	飲食店や娯楽施設が充実している 2.07	親しみやすい水辺がある 2.35	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.37	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である 2.45
地域5 (南東部)	飲食店や娯楽施設が充実している 1.56	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 1.68	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である 1.93	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている 2.07	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 2.18
地域6 (南西部)	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 1.72	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である 1.76	飲食店や娯楽施設が充実している 1.83	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている 2.18	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.19

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

下位5項目で、各地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である」(「地域6(南西部)」の第19位、「地域5(南東部)」の第18位、「地域4(東部)」の第16位)、「地震や水害など災害に対する備えができています」(「地域3(中部)」の第18位、「地域2(西部)」の第16位)、「総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている」(「地域5(南東部)」と「地域6(南西部)」の第17位)などとなっています。

(3) 住みやすさの評価別の評価の傾向

「県全体」の評価及び住みやすさの評価別での比較

図表 「県全体」の評価及び住みやすさの評価別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	住みやすい	どちらとも いえない	住みにくい	住みにくい- 県全体
1	20	自然環境が豊かである	3.64	3.77	3.48	3.30	0.35
2	19	歴史・文化遺産等が身近にある	3.53	3.63	3.45	3.18	0.35
3	1	日用品の買物が便利である	3.52	3.74	3.24	2.85	0.68
4	15	犯罪が少なく、治安がよい	3.33	3.45	3.22	2.89	0.44
5	2	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる	3.29	3.47	3.02	2.70	0.59
6	14	ごみや下水が適正に処理されている	3.25	3.38	3.11	2.74	0.51
7	8	公園や緑地が整備されている	3.05	3.21	2.89	2.51	0.54
8	11	生活道路が整備されている	3.05	3.20	2.92	2.43	0.62
9	4	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている	3.04	3.24	2.77	2.41	0.63
10	12	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	2.92	3.13	2.68	2.23	0.69
11	18	街並みが美しい	2.88	3.03	2.75	2.27	0.61
12	5	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている	2.82	3.01	2.60	2.21	0.60
13	9	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている	2.81	2.97	2.62	2.32	0.49
14	7	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている	2.76	2.89	2.61	2.34	0.42
15	16	地震や水害など災害に対する備えができています	2.76	2.86	2.66	2.36	0.40
16	6	子どもを安心して育てるための施設が整っている	2.75	2.90	2.58	2.21	0.53
17	10	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている	2.59	2.74	2.41	2.14	0.46
18	3	飲食店や娯楽施設が充実している	2.58	2.75	2.39	1.99	0.59
19	13	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる	2.51	2.67	2.34	1.95	0.56
20	17	親しみやすい水辺がある	2.31	2.42	2.17	1.94	0.37

(注) 網かけは、住みやすさの評価での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と住みやすさの評価との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「住みやすい」と評価している人では、「県全体」及び「どちらともいえない」と「住みにくい」と評価している人の評価を上回っており、奈良県を「住みやすい」と評価している人とそうでない人とでは、まちづくりの評価がはっきりと分かれています。

「住みにくい」と評価している人と「県全体」の評価との差が特に大きいのは、「公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である」(-0.69)や「日用品の買物が便利である」(-0.68)となっています。

## 住みやすさの評価別の評価上位5項目の傾向

図表 住みやすさの評価別の評価上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	自然環境が豊かである 3.64	歴史・文化遺産等が身近にある 3.53	日用品の買物が便利である 3.52	犯罪が少なく、治安がよい 3.33	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.29
住みやすい	自然環境が豊かである 3.77	日用品の買物が便利である 3.74	歴史・文化遺産等が身近にある 3.63	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.47	犯罪が少なく、治安がよい 3.45
どちらともいえない	自然環境が豊かである 3.48	歴史・文化遺産等が身近にある 3.45	日用品の買物が便利である 3.24	犯罪が少なく、治安がよい 3.22	ごみや下水が適正に処理されている 3.11
住みにくい	自然環境が豊かである 3.30	歴史・文化遺産等が身近にある 3.18	犯罪が少なく、治安がよい 2.89	日用品の買物が便利である 2.85	ごみや下水が適正に処理されている 2.74

(注) 網かけは、住みやすさの評価にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

上位5項目で、各住みやすさの評価にはあるが「県全体」にはない項目は、「ごみや下水が適正に処理されている」、「どちらともいえない」と「住みにくい」の第5位)となっています。

## 住みやすさの評価別の評価下位5項目の傾向

図表 住みやすさの評価別の評価下位5項目の傾向

	第20位	第19位	第18位	第17位	第16位
県全体	親しみやすい水辺がある 2.31	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.51	飲食店や娯楽施設が充実している 2.58	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.59	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.75
住みやすい	親しみやすい水辺がある 2.42	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.67	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.74	飲食店や娯楽施設が充実している 2.75	地震や水害など災害に対する備えができています 2.86
どちらともいえない	親しみやすい水辺がある 2.17	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.34	飲食店や娯楽施設が充実している 2.39	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.41	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.58
住みにくい	親しみやすい水辺がある 1.94	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 1.95	飲食店や娯楽施設が充実している 1.99	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.14	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.21

(注) 網かけは、住みやすさの評価にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

下位5項目で、各住みやすさの評価にはあるが「県全体」にはない項目は、「地震や水害など災害に対する備えができています」、「住みやすい」の第16位)となっています。



(4) ライフステージ別の評価の比較

「県全体」の評価及びライフステージ別での比較

図表 「県全体」の評価及びライフステージ別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	若者	夫婦	育児期	教育期前期	教育期後期	単身高齢者	高齢者夫婦
1	20	自然環境が豊かである	3.64	3.66	3.58	3.69	3.67	3.67	3.83	3.62
2	19	歴史・文化遺産等が身近にある	3.53	3.61	3.53	3.43	3.50	3.48	3.78	3.60
3	1	日用品の買物が便利である	3.52	3.41	3.49	3.52	3.61	3.61	3.39	3.32
4	15	犯罪が少なく、治安がよい	3.33	3.43	3.39	3.15	3.24	3.36	3.56	3.39
5	2	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる	3.29	3.17	3.21	3.39	3.38	3.25	2.97	3.13
6	14	ごみや下水が適正に処理されている	3.25	3.10	3.11	3.24	3.15	3.20	3.56	3.54
7	8	公園や緑地が整備されている	3.05	3.13	3.01	2.96	2.95	3.09	2.75	3.15
8	11	生活道路が整備されている	3.05	3.24	3.01	2.93	2.96	3.00	3.17	3.10
9	4	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている	3.04	2.94	2.92	3.03	3.00	2.89	3.63	3.35
10	12	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	2.92	2.89	2.85	2.84	2.89	2.87	2.82	3.08
11	18	街並みが美しい	2.88	2.99	2.79	2.90	2.88	2.88	2.76	2.95
12	5	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている	2.82	2.67	2.73	2.65	2.71	2.61	3.13	3.18
13	9	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている	2.81	2.80	2.75	2.67	2.84	2.78	3.14	2.84
14	7	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている	2.76	2.83	2.66	2.84	2.77	2.81	2.91	2.79
15	16	地震や水害など災害に対する備えができている	2.76	2.75	2.75	2.70	2.73	2.65	2.71	2.96
16	6	子どもを安心して育てるための施設が整っている	2.75	2.75	2.61	2.74	2.74	2.74	2.93	2.82
17	10	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている	2.59	2.70	2.58	2.59	2.60	2.57	2.66	2.62
18	3	飲食店や娯楽施設が充実している	2.58	2.47	2.57	2.57	2.70	2.59	2.60	2.42
19	13	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる	2.51	2.59	2.41	2.37	2.39	2.39	2.94	2.80
20	17	親しみやすい水辺がある	2.31	2.21	2.32	2.21	2.29	2.37	2.64	2.35

(注) 網かけは、ライフステージでの評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」とライフステージとの比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の評価を下回っている項目が最も多いのは「夫婦」で、逆に、「県全体」の評価を下回っている項目が最も少ないのは「高齢者夫婦」となっています。

## ライフステージ別の評価上位5項目の傾向

図表 ライフステージ別の評価上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	自然環境が豊かである 3.64	歴史・文化遺産等が身近にある 3.53	日用品の買物が便利である 3.52	犯罪が少なく、治安がよい 3.33	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.29
若者	自然環境が豊かである 3.66	歴史・文化遺産等が身近にある 3.61	犯罪が少なく、治安がよい 3.43	日用品の買物が便利である 3.41	生活道路が整備されている 3.24
夫婦	自然環境が豊かである 3.58	歴史・文化遺産等が身近にある 3.53	日用品の買物が便利である 3.49	犯罪が少なく、治安がよい 3.39	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.21
育児期	自然環境が豊かである 3.69	日用品の買物が便利である 3.52	歴史・文化遺産等が身近にある 3.43	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.39	ごみや下水が適正に処理されている 3.24
教育期前期	自然環境が豊かである 3.67	日用品の買物が便利である 3.61	歴史・文化遺産等が身近にある 3.50	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.38	犯罪が少なく、治安がよい 3.24
教育期後期	自然環境が豊かである 3.67	日用品の買物が便利である 3.61	歴史・文化遺産等が身近にある 3.48	犯罪が少なく、治安がよい 3.36	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.25
単身高齢者	自然環境が豊かである 3.83	歴史・文化遺産等が身近にある 3.78	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている 3.63	ごみや下水が適正に処理されている 3.56	犯罪が少なく、治安がよい 3.56
高齢者夫婦	自然環境が豊かである 3.62	歴史・文化遺産等が身近にある 3.60	ごみや下水が適正に処理されている 3.54	犯罪が少なく、治安がよい 3.39	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている 3.35

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

上位5項目で、各ライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている」(「単身高齢者」の第3位、「高齢者夫婦」の第5位)、「ごみや下水が適正に処理されている」(「高齢者夫婦」の第3位、「単身高齢者」の第4位、「育児期」の第5位)などとなっています。

## ライフステージ別の評価下位5項目の傾向

図表 ライフステージ別の評価下位5項目の傾向

	第20位	第19位	第18位	第17位	第16位
県全体	親しみやすい水辺がある 2.31	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.51	飲食店や娯楽施設が充実している 2.58	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.59	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.75
若者	親しみやすい水辺がある 2.21	飲食店や娯楽施設が充実している 2.47	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.59	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている 2.67	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.70
夫婦	親しみやすい水辺がある 2.32	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.41	飲食店や娯楽施設が充実している 2.57	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.58	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.61
育児期	親しみやすい水辺がある 2.21	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.37	飲食店や娯楽施設が充実している 2.57	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.59	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている 2.65
教育期前期	親しみやすい水辺がある 2.29	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.39	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.60	飲食店や娯楽施設が充実している 2.70	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている 2.71
教育期後期	親しみやすい水辺がある 2.37	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.39	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.57	飲食店や娯楽施設が充実している 2.59	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている 2.61
単身高齢者	飲食店や娯楽施設が充実している 2.60	親しみやすい水辺がある 2.64	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.66	地震や水害など災害に対する備えができています 2.71	公園や緑地が整備されている 2.75
高齢者夫婦	親しみやすい水辺がある 2.35	飲食店や娯楽施設が充実している 2.42	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.62	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている 2.79	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.80

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

下位5項目で、各ライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている」(「若者」の第17位、「育児期」「教育期前期」「教育期後期」の第16位) などとなっています。

(5) 居住地域の状況別の評価の傾向

「県全体」の評価及び居住地域の状況別での比較

図表 「県全体」の評価及び居住地域の状況別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	商業地域	住宅地域	郊外の住宅地域	農村地域	山間地域
1	20	自然環境が豊かである	3.64	3.22	3.54	3.66	3.84	4.17
2	19	歴史・文化遺産等が身近にある	3.53	3.67	3.56	3.53	3.54	3.25
3	1	日用品の買物が便利である	3.52	4.23	3.83	3.52	3.18	2.09
4	15	犯罪が少なく、治安がよい	3.33	3.27	3.25	3.32	3.42	3.53
5	2	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる	3.29	3.84	3.50	3.31	2.99	2.18
6	14	ごみや下水が適正に処理されている	3.25	3.28	3.35	3.33	3.04	2.72
7	8	公園や緑地が整備されている	3.05	2.97	3.09	3.17	2.88	2.71
8	11	生活道路が整備されている	3.05	3.29	3.06	3.14	2.87	2.81
9	4	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている	3.04	3.39	3.17	3.00	2.88	2.62
10	12	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	2.92	3.67	3.26	2.81	2.36	1.94
11	18	街並みが美しい	2.88	2.61	2.87	2.98	2.68	2.90
12	5	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている	2.82	3.21	2.95	2.78	2.73	2.20
13	9	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている	2.81	2.80	2.85	2.87	2.78	2.50
14	7	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている	2.76	2.76	2.79	2.76	2.78	2.75
15	16	地震や水害など災害に対する備えができている	2.76	2.85	2.79	2.81	2.64	2.43
16	6	子どもを安心して育てるための施設が整っている	2.75	2.93	2.83	2.72	2.69	2.55
17	10	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている	2.59	2.95	2.77	2.60	2.28	1.72
18	3	飲食店や娯楽施設が充実している	2.58	3.21	2.73	2.59	2.30	1.56
19	13	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる	2.51	2.44	2.57	2.57	2.37	2.20
20	17	親しみやすい水辺がある	2.31	2.28	2.30	2.27	2.36	2.50

(注) 網かけは、居住地域の状況での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と居住地域の状況との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の評価を下回っている項目は、「山間地域」と「農村地域」に集中しています。

## 居住地域の状況別の評価上位5項目の傾向

図表 居住地域の状況別の評価上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	自然環境が豊かである 3.64	歴史・文化遺産等が身近にある 3.53	日用品の買物が便利である 3.52	犯罪が少なく、治安がよい 3.33	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.29
商業地域	日用品の買物が便利である 4.23	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.84	歴史・文化遺産等が身近にある 3.67	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である 3.67	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている 3.39
住宅地域	日用品の買物が便利である 3.83	歴史・文化遺産等が身近にある 3.56	自然環境が豊かである 3.54	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.50	ごみや下水が適正に処理されている 3.35
郊外の住宅地域	自然環境が豊かである 3.66	歴史・文化遺産等が身近にある 3.53	日用品の買物が便利である 3.52	ごみや下水が適正に処理されている 3.33	犯罪が少なく、治安がよい 3.32
農村地域	自然環境が豊かである 3.84	歴史・文化遺産等が身近にある 3.54	犯罪が少なく、治安がよい 3.42	日用品の買物が便利である 3.18	ごみや下水が適正に処理されている 3.04
山間地域	自然環境が豊かである 4.17	犯罪が少なく、治安がよい 3.53	歴史・文化遺産等が身近にある 3.25	街並みが美しい 2.90	生活道路が整備されている 2.81

(注) 網かけは、居住地域の状況にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数第2位までだが、順位の設定は小数第3位以下も考慮している。

上位5項目で、各居住地域の状況にはあるが「県全体」にはない項目は、「ごみや下水が適正に処理されている」(「郊外の住宅地域」の第4位、「住宅地域」と「農村地域」の第5位)などとなっています。

## 居住地域の状況別の評価下位 5 項目の傾向

図表 居住地域の状況別の評価下位 5 項目の傾向

	第20位	第19位	第18位	第17位	第16位
県全体	親しみやすい水辺がある 2.31	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.51	飲食店や娯楽施設が充実している 2.58	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.59	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.75
商業地域	親しみやすい水辺がある 2.28	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.44	街並みが美しい 2.61	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている 2.76	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている 2.80
住宅地域	親しみやすい水辺がある 2.30	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.57	飲食店や娯楽施設が充実している 2.73	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.77	地震や水害など災害に対する備えができています 2.79
郊外の住宅地域	親しみやすい水辺がある 2.27	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.57	飲食店や娯楽施設が充実している 2.59	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.60	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.72
農村地域	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.28	飲食店や娯楽施設が充実している 2.30	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である 2.36	親しみやすい水辺がある 2.36	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.37
山間地域	飲食店や娯楽施設が充実している 1.56	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 1.72	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である 1.94	日用品の買物が便利である 2.09	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 2.18

(注) 網かけは、居住地域の状況にはあるが「県全体」の下位 5 項目にはない項目。  
 点数表記は小数第 2 位までだが、順位の設定は小数第 3 位以下も考慮している。

下位 5 項目で、各居住地域の状況にはあるが「県全体」にはない項目は、「公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である」(「農村地域」と「山間地域」の第18位) などとなっています。

(6) 性別の評価の傾向

「県全体」の評価及び性別での比較

図表 「県全体」の評価及び性別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	男性	女性
1	20	自然環境が豊かである	3.64	3.63	3.66
2	19	歴史・文化遺産等が身近にある	3.53	3.51	3.54
3	1	日用品の買物が便利である	3.52	3.54	3.52
4	15	犯罪が少なく、治安がよい	3.33	3.36	3.30
5	2	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる	3.29	3.30	3.29
6	14	ごみや下水が適正に処理されている	3.25	3.25	3.25
7	8	公園や緑地が整備されている	3.05	3.04	3.05
8	11	生活道路が整備されている	3.05	3.00	3.09
9	4	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている	3.04	3.04	3.03
10	12	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	2.92	2.96	2.88
11	18	街並みが美しい	2.88	2.82	2.93
12	5	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている	2.82	2.85	2.77
13	9	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている	2.81	2.84	2.77
14	7	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている	2.76	2.73	2.79
15	16	地震や水害など災害に対する備えができています	2.76	2.76	2.76
16	6	子どもを安心して育てるための施設が整っている	2.75	2.77	2.71
17	10	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている	2.59	2.63	2.56
18	3	飲食店や娯楽施設が充実している	2.58	2.60	2.57
19	13	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる	2.51	2.54	2.47
20	17	親しみやすい水辺がある	2.31	2.29	2.32

(注) 網かけは、性別での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と性別との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の評価を下回っている項目は、「女性」が「男性」に比べて多くなっています。

## 性別の評価上位 5 項目の傾向

図表 性別の評価上位 5 項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	自然環境が豊かである 3.64	歴史・文化遺産等が身近にある 3.53	日用品の買物が便利である 3.52	犯罪が少なく、治安がよい 3.33	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.29
男性	自然環境が豊かである 3.63	日用品の買物が便利である 3.54	歴史・文化遺産等が身近にある 3.51	犯罪が少なく、治安がよい 3.36	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.30
女性	自然環境が豊かである 3.66	歴史・文化遺産等が身近にある 3.54	日用品の買物が便利である 3.52	犯罪が少なく、治安がよい 3.30	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.29

(注) 網かけは、性別にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。  
点数表記は小数第 2 位までだが、順位の決定は小数第 3 位以下も考慮している。

上位 5 項目で、性別にはあるが「県全体」にはない項目はみられません。

## 性別の評価下位 5 項目の傾向

図表 性別の評価下位 5 項目の傾向

	第20位	第19位	第18位	第17位	第16位
県全体	親しみやすい水辺がある 2.31	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.51	飲食店や娯楽施設が充実している 2.58	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.59	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.75
男性	親しみやすい水辺がある 2.29	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.54	飲食店や娯楽施設が充実している 2.60	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.63	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている 2.73
女性	親しみやすい水辺がある 2.32	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.47	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.56	飲食店や娯楽施設が充実している 2.57	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.71

(注) 網かけは、性別にはあるが「県全体」の下位 5 項目にはない項目。  
点数表記は小数第 2 位までだが、順位の決定は小数第 3 位以下も考慮している。

下位 5 項目で、性別にはあるが「県全体」にはない項目は、「高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている」(「男性」の第16位)となっています。



(7) 年齢別の評価の傾向

「県全体」の評価及び年齢別での比較

図表 「県全体」の評価及び年齢別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	20	自然環境が豊かである	3.64	3.63	3.75	3.64	3.61	3.57	3.67
2	19	歴史・文化遺産等が身近にある	3.53	3.62	3.49	3.54	3.55	3.45	3.54
3	1	日用品の買物が便利である	3.52	3.39	3.62	3.56	3.59	3.59	3.41
4	15	犯罪が少なく、治安がよい	3.33	3.43	3.23	3.21	3.33	3.32	3.44
5	2	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる	3.29	3.16	3.40	3.39	3.32	3.29	3.20
6	14	ごみや下水が適正に処理されている	3.25	3.08	3.23	3.12	3.16	3.32	3.50
7	8	公園や緑地が整備されている	3.05	3.10	2.98	2.97	3.03	3.04	3.12
8	11	生活道路が整備されている	3.05	3.21	3.02	2.97	2.92	3.04	3.13
9	4	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている	3.04	2.95	2.91	2.96	2.94	3.01	3.34
10	12	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	2.92	2.86	2.89	2.82	2.95	2.92	3.03
11	18	街並みが美しい	2.88	2.97	2.86	2.88	2.83	2.87	2.88
12	5	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている	2.82	2.67	2.58	2.68	2.79	2.85	3.19
13	9	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている	2.81	2.80	2.79	2.79	2.76	2.75	2.92
14	7	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている	2.76	2.82	2.77	2.72	2.73	2.68	2.88
15	16	地震や水害など災害に対する備えができています	2.76	2.73	2.71	2.70	2.68	2.80	2.90
16	6	子どもを安心して育てるための施設が整っている	2.75	2.74	2.67	2.70	2.77	2.67	2.89
17	10	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている	2.59	2.72	2.69	2.49	2.60	2.49	2.62
18	3	飲食店や娯楽施設が充実している	2.58	2.50	2.61	2.66	2.67	2.58	2.48
19	13	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる	2.51	2.57	2.37	2.35	2.37	2.54	2.80
20	17	親しみやすい水辺がある	2.31	2.20	2.23	2.35	2.29	2.37	2.36

(注) 網かけは、年齢での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と年齢との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の評価を下回っている項目が最も多いのは「40歳代」で、逆に、「県全体」の評価を下回っている項目が最も少ないのは「70歳以上」となっています。

「ごみや下水が適正に処理されている」は、「60歳代」以上で評価が高い傾向となっています。また、「飲食店や娯楽施設が充実している」は、「50歳代」にかけて年齢層が高いほど評価が高い傾向となっています。

他方、「競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている」や「高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている」は、「60歳代」にかけて年齢層が高いほど評価が低い傾向となっています。

## 年齢別の評価上位5項目の傾向

図表 年齢別の評価上位5項目の傾向

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	自然環境が豊かである 3.64	歴史・文化遺産等が身近にある 3.53	日用品の買物が便利である 3.52	犯罪が少なく、治安がよい 3.33	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.29
20歳代	自然環境が豊かである 3.63	歴史・文化遺産等が身近にある 3.62	犯罪が少なく、治安がよい 3.43	日用品の買物が便利である 3.39	生活道路が整備されている 3.21
30歳代	自然環境が豊かである 3.75	日用品の買物が便利である 3.62	歴史・文化遺産等が身近にある 3.49	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.40	ごみや下水が適正に処理されている 3.23
40歳代	自然環境が豊かである 3.64	日用品の買物が便利である 3.56	歴史・文化遺産等が身近にある 3.54	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.39	犯罪が少なく、治安がよい 3.21
50歳代	自然環境が豊かである 3.61	日用品の買物が便利である 3.59	歴史・文化遺産等が身近にある 3.55	犯罪が少なく、治安がよい 3.33	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる 3.32
60歳代	日用品の買物が便利である 3.59	自然環境が豊かである 3.57	歴史・文化遺産等が身近にある 3.45	ごみや下水が適正に処理されている 3.32	犯罪が少なく、治安がよい 3.32
70歳以上	自然環境が豊かである 3.67	歴史・文化遺産等が身近にある 3.54	ごみや下水が適正に処理されている 3.50	犯罪が少なく、治安がよい 3.44	日用品の買物が便利である 3.41

(注) 網かけは、年齢にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

上位5項目で、各年齢にはあるが「県全体」にはない項目は、「ごみや下水が適正に処理されている」(「70歳以上」の第3位、「60歳代」の第4位、「30歳代」の第5位)、「生活道路が整備されている」(「20歳代」の第5位)となっています。

## 年齢別の評価下位5項目の傾向

図表 年齢別の評価下位5項目の傾向

	第20位	第19位	第18位	第17位	第16位
県全体	親しみやすい水辺がある 2.31	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.51	飲食店や娯楽施設が充実している 2.58	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.59	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.75
20歳代	親しみやすい水辺がある 2.20	飲食店や娯楽施設が充実している 2.50	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.57	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている 2.67	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.72
30歳代	親しみやすい水辺がある 2.23	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.37	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている 2.58	飲食店や娯楽施設が充実している 2.61	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.67
40歳代	親しみやすい水辺がある 2.35	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.35	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.49	飲食店や娯楽施設が充実している 2.66	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている 2.68
50歳代	親しみやすい水辺がある 2.29	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.37	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.60	飲食店や娯楽施設が充実している 2.67	地震や水害など災害に対する備えができています 2.68
60歳代	親しみやすい水辺がある 2.37	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.49	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.54	飲食店や娯楽施設が充実している 2.58	子どもを安心して育てるための施設が整っている 2.67
70歳以上	親しみやすい水辺がある 2.36	飲食店や娯楽施設が充実している 2.48	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている 2.62	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる 2.80	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている 2.88

(注) 網かけは、年齢にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

下位5項目で、各年齢にはあるが「県全体」にはない項目は、「総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている」(「30歳代」の第18位、「20歳代」の第17位、「40歳代」の第16位)、「地震や水害など災害に対する備えができています」(「50歳代」の第16位)、「高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている」(「70歳以上」の第16位)となっています。

## 4 - 2 地域で充実してほしい施設

図表 地域で充実してほしい施設

(複数回答 / 県全体、地域別、住みやすさ評価別、ライフステージ別、居住地域の状況別、性別、年齢別)

	な総 な医 療施 設	合 病 院 な ど 救 急 時 の 対 応 も 可 能	施 障 害 者 の 福 祉 を 充 実 さ せ る た め の 施 設	社 会 福 祉 施 設 ( <u>子 ど も や 高 齢 者</u> )	る 気 軽 に 健 康 相 談 や 診 療 を 受 け ら れ る 病 院 や 診 療 所	日 常 の 買 物 に 便 利 な 店 舗 や 商 店 街	買 物 を 楽 し め る シ ョ ッ ピ ン グ セ ン タ ー	緑 地 や 公 園 、 広 場 な ど の 憩 い の 場	し ス ポ ー ツ や レ ク リ エ ー シ ョ ン を 楽 し め る 施 設	親 映 画 館 、 美 術 館 な ど 文 化 ・ 芸 術 に し め る 施 設	飲 食 店 や 娯 楽 施 設
県全体	<b>43.8%</b>	<b>24.2%</b>	<b>21.2%</b>	21.1%	17.6%	17.3%	12.4%	11.8%	10.2%		
地域別	地域1(北部)	<b>44.4%</b>	<b>23.9%</b>	20.3%	<b>20.9%</b>	18.0%	17.3%	12.9%	12.0%	9.5%	
	地域2(西部)	<b>39.1%</b>	21.1%	<b>21.4%</b>	<b>23.1%</b>	<b>23.1%</b>	17.4%	10.2%	11.2%	13.4%	
	地域3(中部)	<b>45.7%</b>	<b>27.4%</b>	<b>22.0%</b>	19.3%	14.5%	20.1%	13.9%	10.8%	9.1%	
	地域4(東部)	<b>36.0%</b>	22.1%	<b>22.7%</b>	<b>23.5%</b>	17.0%	14.4%	10.2%	14.4%	13.9%	
	地域5(南東部)	<b>46.1%</b>	20.2%	<b>22.3%</b>	<b>29.4%</b>	16.7%	11.0%	7.8%	9.6%	7.8%	
	地域6(南西部)	<b>50.0%</b>	20.1%	<b>24.8%</b>	17.3%	<b>21.6%</b>	6.8%	8.6%	16.2%	12.6%	
住 み やす さ 評 価 別	住みやすい	<b>42.6%</b>	<b>24.0%</b>	<b>20.6%</b>	20.4%	17.7%	17.7%	12.3%	12.3%	10.2%	
	どちらともいえない	<b>45.9%</b>	<b>25.2%</b>	<b>22.3%</b>	21.6%	18.4%	16.1%	12.8%	10.5%	9.3%	
	住みにくい	<b>46.9%</b>	<b>23.7%</b>	19.7%	<b>24.0%</b>	16.8%	17.2%	10.3%	14.2%	11.8%	
ラ イ フ ス テ ー ジ 別	若者	<b>36.1%</b>	11.9%	15.1%	18.3%	<b>25.0%</b>	16.5%	20.3%	15.1%	<b>24.6%</b>	
	夫婦	<b>41.7%</b>	<b>25.0%</b>	21.0%	17.1%	18.2%	<b>21.3%</b>	12.1%	14.7%	13.2%	
	育児期	<b>44.9%</b>	<b>25.0%</b>	12.3%	17.2%	19.1%	<b>33.2%</b>	14.3%	10.9%	11.7%	
	教育期前期	<b>50.1%</b>	<b>23.4%</b>	16.5%	19.1%	18.8%	<b>20.1%</b>	13.8%	15.1%	7.9%	
	教育期後期	<b>49.3%</b>	19.7%	<b>22.4%</b>	<b>27.6%</b>	16.4%	12.8%	8.0%	18.3%	5.9%	
	単身高齢者	<b>42.1%</b>	<b>21.8%</b>	15.8%	<b>30.9%</b>	21.4%	7.7%	2.8%	10.9%	3.2%	
	高齢者夫婦	<b>44.9%</b>	<b>31.0%</b>	<b>30.8%</b>	23.2%	12.6%	13.0%	7.0%	6.4%	4.4%	
居 住 地 域 の 状 況 別	商業地域	<b>29.6%</b>	20.9%	<b>24.5%</b>	15.0%	16.5%	<b>25.0%</b>	19.4%	8.3%	6.6%	
	住宅地域	<b>42.1%</b>	<b>23.5%</b>	17.9%	21.4%	17.7%	<b>22.3%</b>	13.6%	13.0%	11.8%	
	郊外の住宅地域	<b>46.2%</b>	<b>24.3%</b>	<b>22.3%</b>	20.7%	17.4%	15.7%	12.4%	11.7%	9.6%	
	農村地域	<b>46.1%</b>	<b>26.9%</b>	<b>24.7%</b>	21.8%	17.4%	10.3%	9.9%	13.7%	9.6%	
	山間地域	<b>47.9%</b>	<b>25.9%</b>	<b>24.7%</b>	23.1%	19.3%	9.5%	6.6%	6.1%	7.6%	
性 別	男性	<b>45.4%</b>	<b>25.6%</b>	<b>20.3%</b>	19.6%	15.9%	17.1%	13.6%	11.5%	11.1%	
	女性	<b>43.1%</b>	<b>23.2%</b>	<b>22.0%</b>	<b>22.0%</b>	19.5%	17.4%	11.4%	12.3%	9.3%	
年 齢 別	20歳代	<b>36.6%</b>	12.3%	14.4%	17.6%	<b>26.4%</b>	17.3%	20.3%	14.4%	<b>24.2%</b>	
	30歳代	<b>48.8%</b>	<b>21.1%</b>	14.5%	16.4%	20.6%	<b>26.7%</b>	17.8%	11.0%	15.3%	
	40歳代	<b>46.4%</b>	21.1%	16.0%	<b>22.0%</b>	19.0%	<b>22.3%</b>	13.2%	16.6%	9.3%	
	50歳代	<b>49.8%</b>	<b>26.6%</b>	<b>21.9%</b>	19.0%	15.1%	16.5%	11.0%	14.3%	7.0%	
	60歳代	<b>46.1%</b>	<b>28.3%</b>	<b>27.1%</b>	20.4%	13.1%	16.6%	12.2%	9.9%	6.9%	
	70歳以上	<b>38.4%</b>	<b>30.4%</b>	<b>26.8%</b>	26.0%	16.1%	9.9%	5.8%	8.4%	4.9%	

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

## 県全体

地域で充実してほしい施設については、「総合病院など救急時の対応も可能な医療施設」(43.8%)が最も多く、以下、「社会福祉施設(子どもや高齢者、障害者の福祉を充実させるための施設)」(24.2%)、「気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所」(21.2%)と続いており、保健・医療・福祉関連施設が上位に集まっています。

## 地域別

地域に関係なく「総合病院など救急時の対応も可能な医療施設」が最も多くなっています。このほかの上位3項目をみると、「地域2(西部)」では、「日常の買物に便利な店舗や商店街」と「買物を楽しめるショッピングセンター」といった買物に関する施設等を求める項目が同率で第2位となっています。

## 住みやすさの評価別

評価に関係なく「総合病院など救急時の対応も可能な医療施設」が最も多くなっていますが、「住みにくい」と評価している人が「住みやすい」と評価している人に比べて多くなっています。また、「日常の買物に便利な店舗や商店街」も、「住みにくい」と評価している人が「住みやすい」と評価している人に比べて多くなっています。

## ライフステージ別

ライフステージに関係なく「総合病院など救急時の対応も可能な医療施設」が最も多くなっていますが、「教育期前期」と「教育期後期」では50%前後と他のライフステージに比べて多くなっています。

「県全体」の上位3項目にない項目としては、「若者」では「買物を楽しめるショッピングセンター」と「飲食店や娯楽施設」、「夫婦」「育児期」「教育期前期」では「緑地や公園、広場などの憩いの場」、「教育期後期」と「単身高齢者」では「日常の買物に便利な店舗や商店街」がみられ、ライフステージによって異なる意向がうかがえます。

## 居住地域の状況別

「県全体」の上位3項目と傾向の大きな違いはありませんが、「商業地域」と「住宅地域」では「緑地や公園、広場などの憩いの場」が上位3項目に入っています。

## 性別

「県全体」の上位3項目と傾向の違いはなく、男女間での意向の違いもみられません。

## 年齢別

上位3項目をみると、「50歳代」以上では「県全体」と同じ傾向となっていますが、「20歳代」から「40歳代」では、「日常の買物に便利な店舗や商店街」「買物を楽しめるショッピングセンター」「緑地や公園、広場などの憩いの場」「飲食店や娯楽施設」が上位3項目に入っており、年齢層によって異なる意向がうかがえます。

### 4 - 3 不安を感じる犯罪

図表 不安を感じる犯罪（複数回答／県全体、地域別、ライフステージ別、性別、年齢別）

	空き巣、忍び込み等の侵入犯罪	殺人、強盗、放火等の凶悪事件	携帯電話やインターネットを利用した犯罪	子どもに対する声かけやつきまと	少年による犯罪	路上でのすりやひったくり	女性に対する痴漢行為やストーカー	オレオレ詐欺等のいわゆる「振り込め詐欺」
県全体	49.1%	43.6%	23.8%	19.5%	18.9%	11.1%	10.4%	9.5%
地域別	地域1（北部）	50.6%	44.2%	22.7%	19.4%	17.3%	11.6%	9.8%
	地域2（西部）	54.5%	41.0%	19.4%	19.2%	17.2%	12.7%	8.7%
	地域3（中部）	47.3%	44.9%	24.8%	19.9%	22.3%	12.7%	10.5%
	地域4（東部）	44.2%	45.0%	25.5%	17.8%	22.1%	5.7%	7.4%
	地域5（南東部）	41.5%	37.6%	34.4%	17.0%	17.0%	2.1%	6.0%
	地域6（南西部）	43.9%	36.3%	32.4%	25.2%	16.5%	4.7%	8.3%
ライフステージ別	若者	34.4%	50.3%	26.2%	20.9%	22.2%	8.9%	22.8%
	夫婦	53.4%	51.6%	20.0%	15.8%	22.7%	12.7%	6.0%
	育児期	44.6%	36.1%	17.6%	58.7%	14.8%	6.6%	7.4%
	教育期前期	42.1%	33.0%	29.4%	45.1%	20.2%	5.5%	11.9%
	教育期後期	45.9%	47.1%	25.5%	17.9%	22.7%	9.1%	15.2%
	単身高齢者	61.1%	38.9%	15.8%	6.0%	8.1%	22.1%	1.8%
	高齢者夫婦	58.1%	43.6%	20.6%	4.1%	17.1%	15.8%	4.3%
性別	男性	49.1%	45.2%	26.6%	16.8%	23.8%	7.7%	7.1%
	女性	50.0%	42.3%	21.7%	22.5%	14.4%	14.3%	13.7%
年齢別	20歳代	34.0%	50.1%	25.4%	22.1%	22.5%	8.9%	23.1%
	30歳代	47.8%	38.7%	19.9%	47.8%	18.3%	8.9%	8.6%
	40歳代	46.6%	39.2%	29.3%	34.5%	20.5%	4.3%	15.8%
	50歳代	49.0%	49.9%	26.7%	13.4%	18.8%	11.4%	11.7%
	60歳代	57.2%	44.0%	25.5%	9.4%	20.4%	14.3%	4.8%
	70歳以上	55.0%	40.7%	19.1%	6.2%	15.1%	15.5%	5.0%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

#### 県全体

不安を感じる犯罪については、「空き巣、忍び込み等の侵入犯罪」（49.1%）が最も多く、以下、「殺人、強盗、放火等の凶悪事件」（43.6%）、「携帯電話やインターネットを利用した犯罪」（23.8%）と続いています。

#### 地域別

「地域4（東部）」では「殺人、強盗、放火等の凶悪事件」が最も多く、他の地域では「空き巣、忍び込み等の侵入犯罪」が最も多くなっています。

### ライフステージ別

ライフステージに関係なく、上位3項目に「空き巣、忍び込み等の侵入犯罪」と「殺人、強盗、放火等の凶悪事件」が入っています。

このほか、「若者」「教育期後期」「高齢者夫婦」では「携帯電話やインターネットを利用した犯罪」、「育児期」と「教育期前期」では「子どもに対する声かけやつきまとい」などがみられ、「子どもに対する声かけやつきまとい」は「育児期」と「教育期前期」で最も多い項目となっています。

### 性別

「男性」では「県全体」の上位3項目と同じ傾向となっていますが、「女性」では、「携帯電話やインターネットを利用した犯罪」に替わって、「子どもに対する声かけやつきまとい」が入っています。

### 年齢別

「20歳代」と「50歳代」では「殺人、強盗、放火等の凶悪事件」が最も多く、他の年齢層では「空き巣、忍び込み等の侵入犯罪」が最も多くなっています（「30歳代」では「子どもに対する声かけやつきまとい」も同率で最多）。

このほか、上位3項目に「70歳以上」では「オレオレ詐欺等のいわゆる『振り込め詐欺』」がみられます。

#### 4 - 4 地域で重要だと思ふ防犯対策

図表 地域で重要だと思ふ防犯対策（複数回答／県全体、地域別、ライフステージ別、性別、年齢別）

	防犯灯や街路灯を増設する	自治体、警察、学校の連携強化	犯罪が発生しそうな箇所に防犯カメラを設置する	個人の防犯意識の高揚	児童・生徒への安全教育	地域住民による防犯活動を行う	住民によるパトロールなどの自主防犯活動	
県全体	<b>48.6%</b>	<b>44.5%</b>	<b>30.9%</b>	21.8%	15.5%	14.5%	9.3%	
地域別	地域1（北部）	<b>49.7%</b>	<b>44.4%</b>	<b>30.9%</b>	20.3%	15.9%	14.4%	9.0%
	地域2（西部）	<b>50.0%</b>	<b>44.3%</b>	<b>30.6%</b>	20.9%	13.2%	16.7%	8.5%
	地域3（中部）	<b>48.1%</b>	<b>45.7%</b>	<b>34.6%</b>	22.3%	14.5%	13.5%	11.3%
	地域4（東部）	<b>45.9%</b>	<b>43.1%</b>	<b>25.2%</b>	24.6%	15.9%	15.0%	6.5%
	地域5（南東部）	<b>43.3%</b>	<b>36.2%</b>	22.3%	<b>31.6%</b>	17.7%	15.6%	7.1%
	地域6（南西部）	<b>40.6%</b>	<b>48.2%</b>	24.8%	<b>26.3%</b>	20.1%	15.5%	8.3%
ライフステージ別	若者	<b>49.3%</b>	<b>49.4%</b>	23.1%	<b>27.6%</b>	15.3%	13.3%	10.6%
	夫婦	<b>57.5%</b>	<b>45.0%</b>	<b>35.6%</b>	16.7%	12.5%	11.8%	9.1%
	育児期	<b>39.2%</b>	<b>50.9%</b>	27.1%	20.2%	<b>27.3%</b>	16.9%	11.4%
	教育期前期	<b>44.8%</b>	<b>51.8%</b>	<b>31.2%</b>	17.2%	20.8%	13.2%	9.4%
	教育期後期	<b>55.0%</b>	<b>42.2%</b>	<b>34.6%</b>	17.7%	11.9%	13.2%	9.1%
	単身高齢者	<b>45.3%</b>	<b>29.8%</b>	<b>36.1%</b>	24.9%	11.6%	8.1%	9.5%
	高齢者夫婦	<b>43.9%</b>	<b>39.3%</b>	<b>37.2%</b>	21.1%	11.6%	16.1%	9.4%
性別	男性	<b>43.3%</b>	<b>45.2%</b>	<b>31.1%</b>	23.4%	13.6%	17.7%	11.2%
	女性	<b>53.6%</b>	<b>44.8%</b>	<b>31.0%</b>	20.6%	17.3%	11.3%	7.7%
年齢別	20歳代	<b>50.7%</b>	<b>48.9%</b>	23.6%	<b>26.1%</b>	15.4%	13.1%	11.3%
	30歳代	<b>47.7%</b>	<b>55.4%</b>	<b>24.2%</b>	21.1%	19.7%	13.8%	10.9%
	40歳代	<b>53.3%</b>	<b>51.2%</b>	<b>33.1%</b>	18.9%	18.1%	8.4%	6.3%
	50歳代	<b>56.1%</b>	<b>46.2%</b>	<b>31.8%</b>	19.2%	12.7%	13.5%	7.9%
	60歳代	<b>46.9%</b>	<b>40.8%</b>	<b>34.3%</b>	22.9%	15.2%	19.4%	8.7%
	70歳以上	<b>41.5%</b>	<b>35.2%</b>	<b>34.6%</b>	23.2%	14.0%	15.5%	10.8%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

#### 県全体

地域で重要だと思ふ防犯対策については、「防犯灯や街路灯を増設する」（48.6%）が最も多く、以下、「自治体、警察、学校の連携強化」（44.5%）、「犯罪が発生しそうな箇所に防犯カメラを設置する」（30.9%）と続いています。

#### 地域別

「地域6（南西部）」では「自治体、警察、学校の連携強化」が最も多く、他の地域では「防犯灯や街路灯を増設する」が最も多くなっています。



#### ライフステージ別

「夫婦」「教育期後期」「単身高齢者」「高齢者夫婦」では「防犯灯や街路灯を増設する」、「若者」「育児期」「教育期前期」では「自治体、警察、学校の連携強化」がそれぞれ最も多くなっています。

「県全体」の上位3項目にはみられない項目としては、「若者」の「個人の防犯意識の高揚」、「育児期」の「児童・生徒への安全教育」となっています。

#### 性別

「男性」では「自治体、警察、学校の連携強化」、「女性」では「防犯灯や街路灯を増設する」がそれぞれ最も多くなっています。

#### 年齢別

「30歳代」では「自治体、警察、学校の連携強化」が最も多く、他の年齢層では「防犯灯や街路灯を増設する」が最も多い。

#### 4 - 5 地域で取り組んでいる防犯活動

図表 地域で取り組んでいる防犯活動（複数回答／県全体、地域別、ライフステージ別、性別、年齢別）

	何も取り組んでいない	地域においての声かけ、あいさつ運動	通学路の見守りや学校周辺のパトロール活動	「こども110番の家」等の活動	自主的なパトロール活動	
県全体	<b>55.9%</b>	<b>30.4%</b>	<b>11.4%</b>	10.4%	5.7%	
地域別	地域1（北部）	<b>57.4%</b>	<b>28.8%</b>	<b>11.7%</b>	8.9%	6.4%
	地域2（西部）	<b>55.0%</b>	<b>30.1%</b>	10.9%	<b>11.4%</b>	6.2%
	地域3（中部）	<b>53.7%</b>	<b>33.8%</b>	12.3%	<b>12.6%</b>	4.9%
	地域4（東部）	<b>59.2%</b>	<b>28.0%</b>	<b>6.8%</b>	<b>6.8%</b>	3.7%
	地域5（南東部）	<b>49.6%</b>	<b>34.0%</b>	11.7%	<b>16.3%</b>	5.0%
	地域6（南西部）	<b>54.7%</b>	<b>28.8%</b>	11.2%	<b>15.5%</b>	4.7%
ライフステージ別	若者	<b>77.9%</b>	<b>13.6%</b>	2.1%	<b>9.9%</b>	1.7%
	夫婦	<b>69.0%</b>	<b>25.3%</b>	4.7%	<b>5.3%</b>	4.7%
	育児期	<b>50.6%</b>	<b>38.1%</b>	<b>19.6%</b>	7.3%	3.3%
	教育期前期	<b>36.3%</b>	<b>33.5%</b>	<b>31.6%</b>	19.0%	7.7%
	教育期後期	<b>49.9%</b>	<b>32.5%</b>	11.2%	<b>17.2%</b>	8.2%
	単身高齢者	<b>46.3%</b>	<b>35.4%</b>	6.0%	<b>8.4%</b>	7.4%
高齢者夫婦	<b>49.2%</b>	<b>36.6%</b>	<b>12.6%</b>	9.4%	9.2%	
性別	男性	<b>60.6%</b>	<b>27.7%</b>	9.4%	<b>10.3%</b>	7.4%
	女性	<b>52.9%</b>	<b>32.3%</b>	<b>13.3%</b>	10.4%	3.9%
年齢別	20歳代	<b>79.0%</b>	<b>13.1%</b>	2.0%	<b>9.3%</b>	1.6%
	30歳代	<b>57.0%</b>	<b>29.3%</b>	<b>16.5%</b>	8.1%	3.5%
	40歳代	<b>51.3%</b>	<b>23.3%</b>	<b>22.6%</b>	16.9%	5.5%
	50歳代	<b>58.1%</b>	<b>33.7%</b>	7.6%	<b>9.2%</b>	4.0%
	60歳代	<b>54.7%</b>	<b>38.4%</b>	8.9%	<b>9.0%</b>	7.0%
	70歳以上	<b>47.3%</b>	<b>35.2%</b>	<b>11.9%</b>	10.4%	8.9%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

## 県全体

地域で取り組んでいる防犯活動については、「何も取り組んでいない」(55.9%)が最も多く、以下、「地域においての声かけ、あいさつ運動」(30.4%)、「通学路の見守りや学校周辺のパトロール活動」(11.4%)と続いています。

## 地域別

地域に関係なく「何も取り組んでいない」が最も多く、「地域4(東部)」が59.2%で最も多くなっています。

「地域1(北部)」は「県全体」の傾向と同じですが、「地域2(西部)」から「地域6(南西部)」では、「何も取り組んでいない」と「地域においての声かけ、あいさつ運動」のほかに、「『こども110番の家』等の活動」が上位3項目に入っています(「地域4(東部)」では、「通学路の見守りや学校周辺のパトロール活動」と「『こども110番の家』等の活動」が同率)。

## ライフステージ別

「若者」「夫婦」「育児期」では、「何も取り組んでいない」が半数以上となっています。ライフステージに関係なく「何も取り組んでいない」と「地域においての声かけ、あいさつ運動」が上位3項目に入っていますが、このほかに、「育児期」「教育期前期」「高齢者夫婦」では「通学路の見守りや学校周辺のパトロール活動」、そのほかのライフステージでは「『こども110番の家』等の活動」が入っています。

## 性別

男女ともに「何も取り組んでいない」が最も多くなっていますが、「男性」が「女性」に比べて多くなっています。

## 年齢別

年齢層に関係なく「何も取り組んでいない」が最も多くなっていますが、「20歳代」では79.0%と突出しています。

#### 4 - 6 警察による充実・強化が必要だと思う防犯対策

図表 警察による充実・強化が必要だと思う防犯対策（複数回答／県全体、地域別、ライフステージ別、性別、年齢別）

	動 警察 官に よる パト ロー ルや 検挙 活	少 年 の 非 行 防 止 活 動	供 犯 罪 発 生 情 報 や 防 犯 対 策 情 報 の 提	交 番 や 警 察 署 に お け る 相 談 活 動	交 通 違 反 の 取 締 活 動	
県全体	<b>67.1%</b>	<b>36.4%</b>	<b>30.4%</b>	22.9%	11.6%	
地域別	地域1（北部）	<b>68.1%</b>	<b>35.0%</b>	<b>30.7%</b>	22.6%	10.8%
	地域2（西部）	<b>70.1%</b>	<b>36.8%</b>	<b>28.9%</b>	20.1%	13.4%
	地域3（中部）	<b>68.8%</b>	<b>40.4%</b>	<b>30.7%</b>	22.9%	12.7%
	地域4（東部）	<b>59.5%</b>	<b>36.5%</b>	<b>28.6%</b>	22.4%	11.9%
	地域5（南東部）	<b>52.8%</b>	24.8%	<b>31.2%</b>	<b>33.7%</b>	12.4%
	地域6（南西部）	<b>60.1%</b>	<b>36.0%</b>	<b>31.3%</b>	27.0%	5.8%
ライフステージ別	若者	<b>63.9%</b>	<b>41.5%</b>	<b>37.3%</b>	21.7%	12.5%
	夫婦	<b>73.7%</b>	<b>35.9%</b>	<b>31.3%</b>	21.1%	8.5%
	育児期	<b>71.8%</b>	<b>34.0%</b>	<b>35.7%</b>	23.8%	12.6%
	教育期前期	<b>71.0%</b>	<b>39.1%</b>	<b>32.1%</b>	21.3%	11.2%
	教育期後期	<b>70.4%</b>	<b>32.8%</b>	27.8%	<b>30.3%</b>	10.4%
	単身高齢者	<b>58.9%</b>	<b>32.6%</b>	<b>24.9%</b>	18.2%	8.1%
	高齢者夫婦	<b>66.1%</b>	<b>36.0%</b>	20.8%	<b>21.9%</b>	14.7%
性別	男性	<b>65.3%</b>	<b>40.5%</b>	<b>29.7%</b>	24.1%	11.9%
	女性	<b>69.4%</b>	<b>32.9%</b>	<b>31.5%</b>	22.3%	11.2%
年齢別	20歳代	<b>65.1%</b>	<b>39.7%</b>	<b>36.8%</b>	21.8%	12.1%
	30歳代	<b>71.4%</b>	<b>31.3%</b>	<b>40.4%</b>	26.2%	9.6%
	40歳代	<b>70.7%</b>	<b>38.0%</b>	<b>30.2%</b>	23.0%	10.0%
	50歳代	<b>71.0%</b>	<b>35.7%</b>	<b>32.2%</b>	25.6%	8.7%
	60歳代	<b>67.0%</b>	<b>41.8%</b>	<b>26.5%</b>	21.3%	11.1%
	70歳以上	<b>61.8%</b>	<b>33.2%</b>	<b>24.2%</b>	22.1%	15.8%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

## 県全体

警察による充実・強化が必要だと思ふ防犯対策については、「警察官によるパトロールや検挙活動」(67.1%)が最も多く、以下、「少年の非行防止活動」(36.4%)、「犯罪発生情報や防犯対策情報の提供」(30.4%)と続いています。

## 地域別

「地域5(南東部)」の上位3項目は、「警察官によるパトロールや検挙活動」「犯罪発生情報や防犯対策情報の提供」「交番や警察署における相談活動」となっていますが、他の地域では「県全体」の上位3項目と同じです。

## ライフステージ別

上位3項目をみると、「教育期後期」と「高齢者夫婦」では「警察官によるパトロールや検挙活動」「少年の非行防止活動」「交番や警察署における相談活動」となっていますが、他のライフステージでは「県全体」の上位3項目と同じです。

## 性別

男女ともに「県全体」の上位3項目と同じですが、「少年の非行防止活動」は、「男性」が「女性」に比べて多く、男女間の差が最も大きい項目となっています。

## 年齢別

年齢層に関係なく「警察官によるパトロールや検挙活動」が最も多くなっていますが、「30歳代」から「50歳代」では70%以上で、他の年齢層に比べて多くなっています。

## 4 - 7 日頃から行っている災害等への備え

図表 日頃から行っている災害等への備え（複数回答／県全体、ライフステージ別、年齢別）

	消火器などの用意	水、食料、救急医薬品などの防災用品の備蓄	家具などの転倒防止	特に備えはしていない	災害時における家族との連絡方法の確認	避難経路の確認	地域や学校・職場などへの実施される防災訓練などへの参加	耐火金庫に貴重品などを保管	住宅の耐震診断や耐震補強工事	点検 ブロック塀や門柱などの安全性の確認	地域での浸水の危険性などの確認	土砂災害（土石流、地すべり、がけ崩れ）の危険箇所の確認	ガラスの飛散防止	
県全体	<b>37.8%</b>	<b>33.6%</b>	<b>24.3%</b>	23.5%	21.0%	16.9%	13.2%	11.4%	8.3%	6.5%	6.4%	5.4%	3.5%	
ライフステージ別	若者	<b>27.1%</b>	<b>24.3%</b>	18.5%	<b>40.0%</b>	15.3%	12.6%	10.9%	3.7%	3.9%	1.7%	3.9%	3.0%	1.6%
	夫婦	<b>32.7%</b>	<b>30.3%</b>	22.3%	<b>27.5%</b>	21.0%	16.1%	11.7%	14.3%	6.0%	6.1%	6.2%	3.4%	1.8%
	育児期	<b>28.7%</b>	<b>32.8%</b>	24.1%	<b>28.3%</b>	16.1%	16.6%	12.4%	7.8%	9.9%	2.4%	5.4%	4.6%	3.9%
	教育期前期	<b>35.8%</b>	<b>33.5%</b>	<b>31.3%</b>	21.2%	21.4%	17.2%	16.0%	10.8%	10.5%	5.0%	8.4%	6.0%	5.4%
	教育期後期	<b>47.1%</b>	<b>37.2%</b>	23.7%	21.4%	<b>27.2%</b>	18.5%	14.0%	12.1%	9.5%	3.3%	7.7%	6.7%	4.6%
	単身高齢者	<b>40.4%</b>	<b>31.2%</b>	23.5%	18.6%	<b>28.1%</b>	23.5%	5.3%	8.8%	4.9%	7.7%	4.6%	8.1%	5.3%
	高齢者夫婦	<b>46.3%</b>	<b>45.4%</b>	<b>26.2%</b>	14.7%	26.1%	21.9%	14.8%	14.8%	10.5%	9.4%	4.9%	5.8%	4.9%
年齢別	20歳代	<b>26.2%</b>	<b>23.7%</b>	18.4%	<b>40.8%</b>	14.9%	12.1%	10.1%	3.5%	4.3%	1.6%	3.7%	2.8%	2.0%
	30歳代	<b>24.5%</b>	<b>29.1%</b>	22.9%	<b>32.7%</b>	14.1%	13.7%	12.6%	5.8%	9.0%	3.4%	5.8%	4.4%	3.6%
	40歳代	<b>35.9%</b>	<b>31.2%</b>	<b>25.3%</b>	24.9%	24.0%	13.8%	15.0%	10.9%	8.4%	2.6%	6.6%	3.8%	4.1%
	50歳代	<b>36.0%</b>	<b>34.2%</b>	<b>26.3%</b>	23.0%	17.2%	15.4%	13.3%	10.9%	8.8%	6.9%	6.0%	4.7%	2.5%
	60歳代	<b>46.5%</b>	<b>40.8%</b>	<b>29.2%</b>	14.3%	23.5%	20.3%	18.1%	17.0%	9.1%	9.0%	8.9%	5.6%	2.7%
	70歳以上	<b>47.0%</b>	<b>37.0%</b>	23.7%	16.6%	<b>26.7%</b>	21.9%	9.9%	15.3%	8.6%	10.6%	5.9%	8.6%	5.4%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

### 県全体

日頃から行っている災害等への備えについては、「消火器などの用意」（37.8%）が最も多く、以下、「水、食料、救急医薬品などの防災用品の備蓄」（33.6%）、「家具などの転倒防止」（24.3%）と続いています。

### ライフステージ別

ライフステージに関係なく、上位3項目には「消火器などの用意」と「水、食料、救急医薬品などの防災用品の備蓄」が入っており、このほか、「若者」「夫婦」「育児期」では「特に備えはしていない」、「教育期後期」と「単身高齢者」では「災害時における家族との連絡方法の確認」がそれぞれ入っています。

### 年齢別

「20歳代」と「30歳代」では「特に備えはしていない」が最も多く、年齢層が低いほど「特に備えはしていない」が多い傾向となっています。他の年齢層では「消火器などの用意」が最も多く、年齢層が高いほど多い傾向となっています。

## 4 - 8 地域の生活環境の変化に対する評価

### (1) 県全体の評価の順位

図表 県全体の評価の順位

順位	項目番号	項目	評価
1	4	緑の豊かさ	3.00
2	5	景観の美しさ	2.95
3	1	空気のきれいさ	2.93
4	2	川や池のきれいさ	2.89
5	3	周辺の静けさ	2.75

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮している。

県全体の評価が高い順に並べると、「緑の豊かさ」が3.00で「どちらともいえない」という評価の中間になっているほかは、悪化という評価(2.99以下)になっており、「周辺の静けさ」の評価が最も低くなっています。

### (2) 「県全体」の評価及び地域別での比較

図表 「県全体」の評価及び地域別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1	4	緑の豊かさ	3.00	2.97	2.93	2.99	3.16	3.22	3.19
2	5	景観の美しさ	2.95	2.91	2.95	2.98	2.98	3.09	3.10
3	1	空気のきれいさ	2.93	2.90	2.94	2.91	3.07	3.11	3.09
4	2	川や池のきれいさ	2.89	2.89	2.98	2.89	2.85	2.66	2.84
5	3	周辺の静けさ	2.75	2.72	2.77	2.70	2.94	2.99	2.95

(注) 網かけは、地域での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と地域との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の評価を下回っている項目が最も多いのは「地域1(北部)」となっています。

「地域1(北部)」から「地域3(中部)」では、すべての項目が「悪化」と評価されている一方、「地域4(東部)」の「緑の豊かさ」と「空気のきれいさ」、「地域5(南東部)」と「地域6(南西部)」の「緑の豊かさ」「景観の美しさ」「空気のきれいさ」は、それぞれ「改善」と評価されています。

### (3) 「県全体」の評価及び居住地域の状況別での比較

図表 「県全体」の評価及び居住地域の状況別での比較

順位	項目番号	項目	県全体	商業地域	住宅地域	郊外の住宅地域	農村地域	山間地域
1	4	緑の豊かさ	3.00	2.98	2.93	2.98	3.10	3.39
2	5	景観の美しさ	2.95	2.96	2.89	2.96	2.98	3.27
3	1	空気のきれいさ	2.93	2.85	2.91	2.89	2.97	3.11
4	2	川や池のきれいさ	2.89	3.00	2.91	2.86	2.86	2.89
5	3	周辺の静けさ	2.75	2.63	2.73	2.74	2.78	3.06

(注) 網かけは、居住地域の状況での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と居住地域の状況との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

「県全体」の評価を下回っている項目が最も多いのは「住宅地域」と「郊外の住宅地域」となっています。

「住宅地域」と「郊外の住宅地域」では、すべての項目が「悪化」と評価されているのに対し、「山間地域」では「川や池のきれいさ」以外は「改善」と評価されています。

### (4) 「県全体」の評価及び年齢別の比較

図表 「県全体」の評価及び年齢別の比較

順位	項目番号	項目	県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	4	緑の豊かさ	3.00	2.87	2.86	2.80	2.95	3.08	3.35
2	5	景観の美しさ	2.95	2.90	2.87	2.79	2.96	2.96	3.18
3	1	空気のきれいさ	2.93	2.80	2.83	2.87	2.92	2.96	3.16
4	2	川や池のきれいさ	2.89	2.62	2.75	2.84	2.96	2.97	3.05
5	3	周辺の静けさ	2.75	2.63	2.67	2.59	2.70	2.86	2.98

(注) 網かけは、年齢での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と年齢との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

#### 年齢別

「県全体」の評価を下回っている項目は、「20歳代」から「40歳代」ではすべての項目となっており、なおかつ「悪化」と評価されています。

「60歳代」以上では「県全体」の評価を下回っている項目はなく、なおかつ「70歳以上」では「周辺の静けさ」以外は「改善」と評価されています。



## 4 - 9 日頃から心がけている環境への配慮

図表 日頃から心がけている環境への配慮（複数回答/県全体、地域別、年齢別）

	水を流しっぱなしにしない	ゴミの分別を徹底する	不要な照明・テレビなどの電源を切る	食用油などを下水や川に流さない	冷暖房の設定温度を控える	買物袋を持参する	車中、エンジン停止（車の停車）を心がける	アイドリングストップ（車の停車）を心がける	車、バスや自転車を利用せず、電	リサイクル商品を優先的に購入する	太陽エネルギーを利用する（ソーラーシステム、温水器など）	特に何もしていない	その他
県全体	<b>70.5%</b>	<b>68.7%</b>	<b>67.0%</b>	53.7%	52.3%	42.5%	16.3%	14.5%	7.3%	6.2%	1.9%	1.0%	
地域別	地域1（北部）	<b>70.0%</b>	<b>69.1%</b>	<b>68.2%</b>	53.7%	53.5%	44.6%	15.1%	16.8%	8.0%	4.5%	2.3%	0.9%
	地域2（西部）	<b>71.6%</b>	<b>71.4%</b>	<b>63.9%</b>	58.0%	55.2%	48.8%	16.7%	14.2%	7.0%	5.0%	1.5%	1.7%
	地域3（中部）	<b>71.3%</b>	<b>66.7%</b>	<b>65.1%</b>	52.7%	53.5%	36.8%	15.3%	14.5%	6.5%	9.2%	1.0%	0.8%
	地域4（東部）	<b>71.4%</b>	<b>70.3%</b>	<b>71.4%</b>	<b>51.8%</b>	43.1%	41.1%	20.7%	8.8%	5.1%	6.2%	2.5%	1.4%
	地域5（南東部）	<b>66.7%</b>	<b>67.0%</b>	<b>64.9%</b>	58.9%	43.6%	33.3%	22.0%	5.3%	7.1%	8.2%	2.1%	1.4%
	地域6（南西部）	<b>70.1%</b>	<b>67.6%</b>	<b>65.8%</b>	45.0%	44.2%	50.7%	25.5%	4.0%	8.6%	7.9%	2.9%	0.7%
年齢別	20歳代	<b>67.0%</b>	46.0%	<b>68.1%</b>	34.1%	<b>49.6%</b>	39.5%	15.0%	14.6%	6.6%	5.7%	4.2%	0.6%
	30歳代	<b>75.7%</b>	56.1%	<b>73.6%</b>	49.0%	<b>57.2%</b>	41.9%	17.4%	8.6%	10.4%	5.3%	1.6%	1.5%
	40歳代	<b>68.7%</b>	<b>74.8%</b>	<b>69.2%</b>	53.8%	54.9%	47.6%	16.4%	11.1%	8.9%	7.1%	1.7%	0.8%
	50歳代	<b>72.4%</b>	<b>70.1%</b>	<b>64.8%</b>	58.2%	51.5%	47.0%	17.4%	11.9%	5.4%	7.4%	1.5%	0.3%
	60歳代	<b>72.0%</b>	<b>82.8%</b>	<b>69.7%</b>	61.8%	52.3%	43.9%	20.7%	19.2%	8.3%	5.1%	1.9%	1.3%
	70歳以上	<b>75.4%</b>	<b>79.0%</b>	<b>67.3%</b>	63.0%	55.6%	40.9%	13.7%	19.6%	6.2%	7.1%	1.4%	1.5%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

### 県全体

日頃から心がけている環境への配慮については、「水を流しっぱなしにしない」（70.5%）が最も多く、以下、「ゴミの分別を徹底する」（68.7%）、「不要な照明・テレビなどの電源を切る」（67.0%）と続いています。

### 地域別

「地域4（東部）」では「不要な照明・テレビなどの電源を切る」、「地域5（南東部）」では「ゴミの分別を徹底する」、他の地域では「水を流しっぱなしにしない」がそれぞれ最も多くなっています（「地域4（東部）」では「水を流しっぱなしにしない」も同率で最多）。

### 年齢別

「20歳代」では「不要な照明・テレビなどの電源を切る」、「30歳代」と「50歳代」では「水を流しっぱなしにしない」、「40歳代」と「60歳代」以上では「ゴミの分別を徹底する」がそれぞれ最も多くなっています。

#### 4 - 10 地域で景観を損なう要因となっていると思うもの

図表 地域で景観を損なう要因となっていると思うもの（複数回答／県全体、地域別、居住地域の状況別、年齢別）

	ゴミやタバコのポイ捨て	ペットや鳥の排泄物	不法投棄	電柱・電話柱・電線	広告・看板	耕作放棄地	山林の荒廃	建物や工作物の色やデザイン	自動販売機	交通標識や案内標識	その他	
県全体	<b>54.0%</b>	<b>37.6%</b>	<b>36.8%</b>	27.2%	20.2%	17.0%	11.8%	6.5%	5.4%	1.6%	4.6%	
地域別	地域1（北部）	<b>51.9%</b>	<b>38.0%</b>	<b>33.1%</b>	29.2%	21.2%	14.1%	10.1%	7.6%	6.9%	1.8%	4.6%
	地域2（西部）	<b>53.5%</b>	<b>44.0%</b>	<b>30.1%</b>	28.9%	25.6%	15.2%	9.0%	9.0%	5.2%	1.7%	7.0%
	地域3（中部）	<b>59.4%</b>	<b>40.0%</b>	<b>40.0%</b>	<b>28.3%</b>	19.9%	17.8%	8.0%	4.5%	3.8%	1.3%	4.5%
	地域4（東部）	<b>53.8%</b>	<b>29.2%</b>	<b>45.9%</b>	17.6%	15.6%	26.1%	20.7%	5.9%	3.7%	0.6%	2.8%
	地域5（南東部）	<b>45.0%</b>	19.1%	<b>53.5%</b>	16.3%	8.9%	31.6%	<b>39.4%</b>	2.8%	3.2%	1.8%	3.9%
	地域6（南西部）	<b>52.2%</b>	<b>29.5%</b>	<b>51.4%</b>	14.4%	11.5%	25.5%	<b>29.5%</b>	4.3%	3.2%	1.8%	2.5%
居住地域の状況別	商業地域	<b>57.3%</b>	<b>35.7%</b>	25.7%	<b>35.2%</b>	29.1%	6.6%	6.3%	12.4%	4.4%	0.2%	5.3%
	住宅地域	<b>57.6%</b>	<b>40.2%</b>	<b>34.0%</b>	30.4%	23.9%	10.2%	5.9%	8.0%	7.5%	1.7%	4.8%
	郊外の住宅地域	<b>52.6%</b>	<b>42.5%</b>	<b>33.0%</b>	29.4%	21.1%	14.2%	9.4%	6.4%	5.1%	1.6%	5.7%
	農村地域	<b>54.4%</b>	33.2%	<b>45.5%</b>	21.0%	15.2%	<b>33.3%</b>	15.9%	3.1%	2.7%	1.9%	3.0%
	山間地域	<b>44.1%</b>	14.8%	<b>59.4%</b>	11.4%	4.6%	36.8%	<b>46.1%</b>	2.6%	2.7%	1.2%	2.2%
年齢別	20歳代	<b>63.1%</b>	<b>29.3%</b>	<b>40.6%</b>	16.9%	16.8%	10.4%	13.1%	11.6%	3.1%	2.9%	6.0%
	30歳代	<b>63.2%</b>	<b>33.4%</b>	<b>41.0%</b>	21.4%	22.1%	14.1%	11.3%	7.6%	3.9%	1.6%	5.1%
	40歳代	<b>60.0%</b>	<b>36.9%</b>	<b>33.5%</b>	30.8%	24.8%	15.3%	12.5%	8.1%	4.7%	2.0%	6.2%
	50歳代	<b>54.4%</b>	<b>40.9%</b>	<b>37.2%</b>	32.5%	28.3%	16.7%	12.9%	5.9%	6.0%	1.9%	3.7%
	60歳代	<b>48.8%</b>	<b>42.6%</b>	<b>37.2%</b>	32.3%	20.9%	21.5%	13.1%	6.2%	9.8%	1.2%	4.7%
	70歳以上	<b>48.9%</b>	<b>43.0%</b>	<b>37.6%</b>	28.5%	13.6%	22.1%	9.9%	3.4%	4.5%	0.7%	3.7%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

#### 県全体

地域で景観を損なう要因となっていると思うものについては、「ゴミやタバコのポイ捨て」（54.0%）が最も多く、以下、「ペットや鳥の排泄物」（37.6%）、「不法投棄」（36.8%）と続いています。

#### 地域別

「地域5（南東部）」では「不法投棄」が最も多く、他の地域では「ゴミやタバコのポイ捨て」が最も多くなっています。

県南部の「地域5（南東部）」と「地域6（南西部）」では、「山林の荒廃」が他の地域に比べて多くなっています。また、「電柱・電話柱・電線」は、県北部の地域ほど多い傾向となっています。

#### 居住地域の状況別

「山間地域」では「不法投棄」が最も多く、他の居住地域の状況では「ゴミやタバコのポイ捨て」が最も多くなっています。

上位3項目をみると、「住宅地域」と「郊外の住宅地域」では「県全体」の上位3項目と同じですが、「商業地域」では「ゴミやタバコのポイ捨て」と「ペットや鳥の排泄物」に加えて「電柱・電話柱・電線」、「農村地域」と「山間地域」では、「ゴミやタバコのポイ捨て」と「不法投棄」に加え、「農村地域」では「耕作放棄地」、「山間地域」では「山林の荒廃」が入っています。

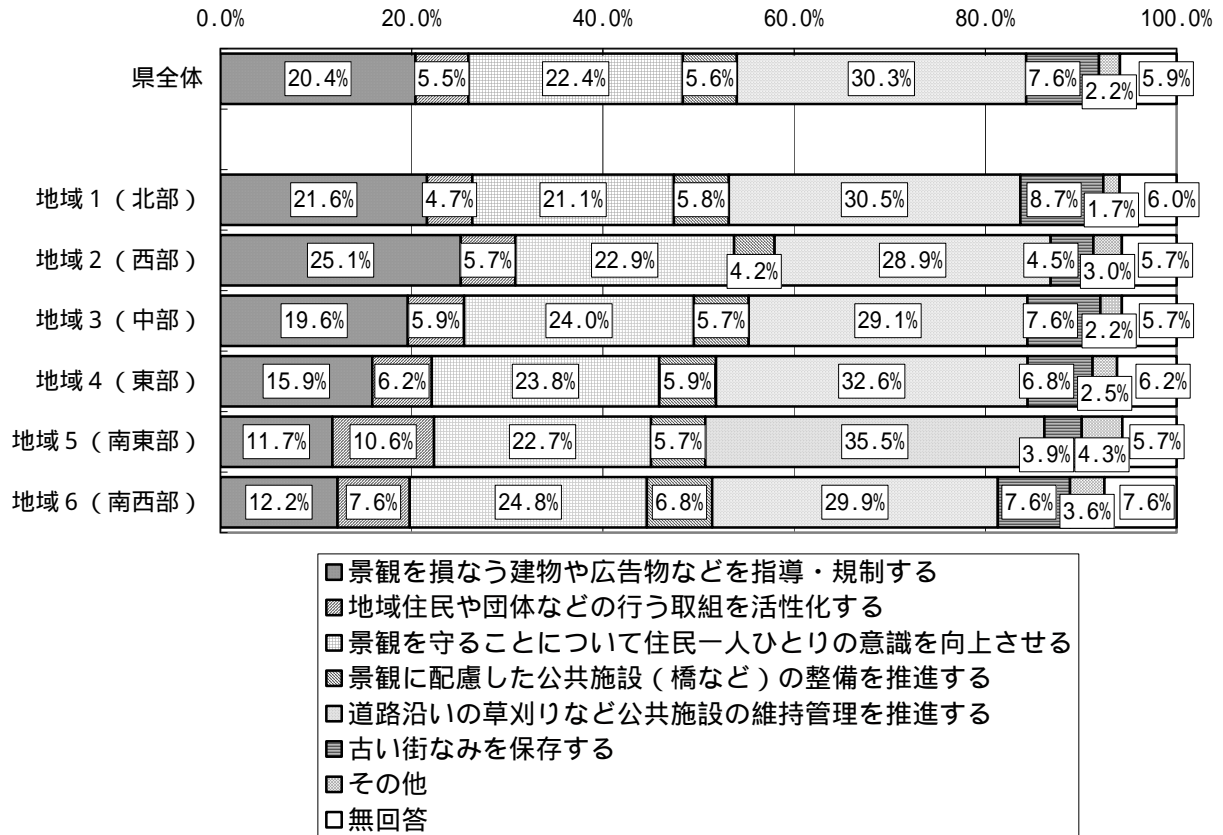
#### 年齢別

年齢層に関係なく「ゴミやタバコのポイ捨て」が最も多く、年齢層が低いほど多い傾向となっています。

「ペットや鳥の排泄物」や「耕作放棄地」は年齢層が高いほど多い傾向となっており、顕著な傾向ではありませんが、「建物や工作物の色やデザイン」は年齢層が低いほど多い傾向となっています。

## 4 - 11 行政が取り組むべき景観保全対策

図表 行政が取り組むべき景観保全対策（単数回答 / 県全体、地域別）



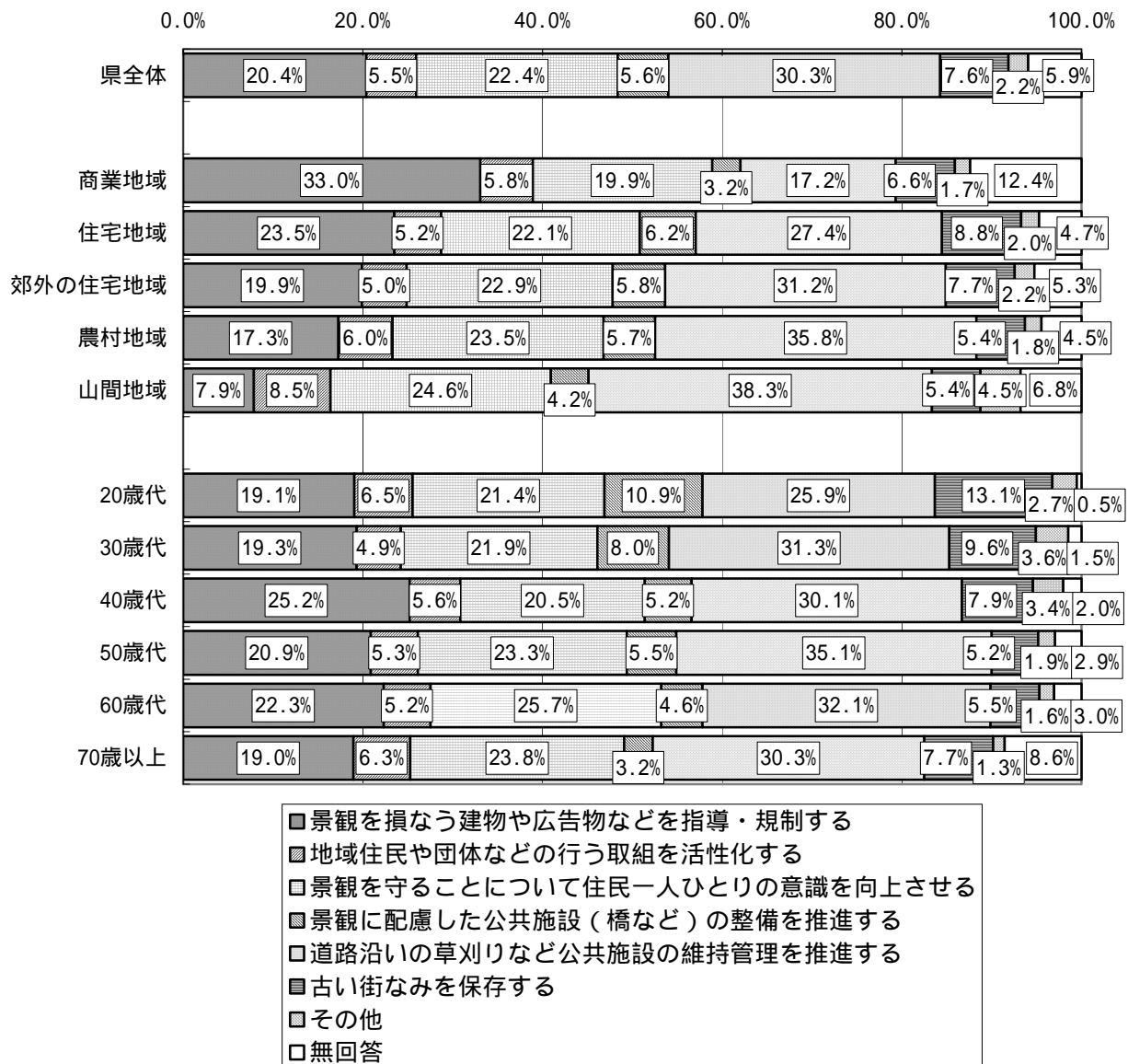
### 県全体

行政が取り組むべき景観保全対策については、「道路沿いの草刈りなど公共施設の維持管理を推進する」(30.3%)が最も多く、以下、「景観を守ることに住民一人ひとりの意識を向上させる」(22.4%)、「景観を損なう建物や広告物などを指導・規制する」(20.4%)と続いています。

### 地域別

地域に関係なく「道路沿いの草刈りなど公共施設の維持管理を推進する」が最も多くなっていますが、これに次いで、「地域1(北部)」と「地域2(西部)」では「景観を損なう建物や広告物などを指導・規制する」となっており、他の地域では「景観を守ることに住民一人ひとりの意識を向上させる」が多くなっています。

図表 行政が取り組むべき景観保全対策（単数回答 / 県全体、居住地域の状況別、年齢別）



居住地域の状況別

「商業地域」では「景観を損なう建物や広告物などを指導・規制する」が最も多く、他の居住地域の状況では「道路沿いの草刈りなど公共施設の維持管理を推進する」が最も多くなっています。

年齢別

年齢層に関係なく「道路沿いの草刈りなど公共施設の維持管理を推進する」が最も多くなっています。顕著な傾向ではありませんが、「景観に配慮した公共施設（橋など）の整備を推進する」や「古い街なみを保存する」は、年齢層が低いほど多い傾向がうかがえます。



資料 使用した調査票

---





# 県民アンケート調査 ご協力をお願い

日頃は、県政に対し、格別のご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、奈良県では、県民の皆さまが現在の暮らしをどのように感じておられるか、また、「仕事」や「まちづくり」をテーマとして、それらについてどのような意識をお持ちかを把握し、今後の県政を進めていくうえでの大切な基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケート調査は、県内全市町村から5,000人の方を無作為に抽出し、実施するものです。

ご回答は無記名でお願いするとともに、ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、あなた個人のお名前やご意見が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容は、調査の目的以外には使用いたしません。

お忙しいところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年5月

奈良県知事 荒井 正吾



## ご回答にあたってのお願い

封筒の宛名のご本人がご回答くださいますようお願いいたします。  
それぞれの問で、あてはまる選択肢の番号に 印をつけてください。  
「その他」に 印をつけられた場合には、( ) 内に内容をご記入ください。  
ご記入は、黒や青のボールペンまたは鉛筆ではっきりとわかりやすくお願いいたします。  
ご回答が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に調査票を入れて、平成21年6月8日(月)までにお近くの郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

本調査についてご不明な点などがございましたら、下記へお問い合わせください。

奈良県総務部知事公室統計課 企画分析係  
電話 0742-27-8439(直通) 担当：神殿、藤平、北森

**あなたの生活全般に関することについてお聞きします。**

問1 あなたは、現在のご自身の暮らし向きをどのように感じていますか。あなたのお気持ちに最も近いものに1つだけ をつけてください。

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1. 満足している    | 2. 十分とはいえないが一応満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. やや不満である           |
| 5. 不満である     |                      |

問2 あなたの現在の暮らし向きは、昨年の今頃に比べて楽になっていますか。それとも苦しくなっていますか。あなたのお気持ちに最も近いものに1つだけ をつけてください。

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. とても楽になった  | -----> 問4にお進みください |
| 2. 少し楽になった   | -----> 問4にお進みください |
| 3. 変わらない     | -----> 問4にお進みください |
| 4. 少し苦しくなった  | -----> 問3にお答えください |
| 5. とても苦しくなった | -----> 問3にお答えください |

問3 問2で、「4. 少し苦しくなった」または「5. とても苦しくなった」に つけられた方にお聞きします。それはどのような理由からでしょうか。あてはまるものに5つまで をつけてください。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 給料や収益が増えない、または減少したから       |
| 2. 失業、退職、病気などで働き手が減ったから       |
| 3. 利率の低下などにより預貯金が目減りしたから      |
| 4. 家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから |
| 5. 結婚、出産、病気など特別な出費があったから      |
| 6. 教育にかかる費用が増えたから             |
| 7. 家や自動車、家電などにかかる支出が増えたから     |
| 8. 税金や保険料の支払いが増えたから           |
| 9. 家業や商売などにかかる営業経費が増えたから      |
| 10. その他 ( )                   |

問4 あなたは、日頃の生活の中で悩みや不安を感じていますか。どちらかあてはまるものに つけてください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 悩みや不安を感じている  | -----> 問5にお答えください |
| 2. 悩みや不安を感じていない | -----> 問6へお進みください |

問5 問4で、「1. 悩みや不安を感じている」に つけられた方にお聞きします。それはどのようなことについてですか。あてはまるものに5つまで をつけてください。

1. 自分の健康について
2. 家族の健康について
3. 自分の生活上（進学、就職、結婚など）の問題について
4. 家族の生活上（進学、就職、結婚など）の問題について
5. 現在の収入や資産について
6. 今後の収入や資産の見通しについて
7. 老後の生活設計について
8. 家族・親族間の人間関係について
9. 近隣・地域との関係について
10. 勤務先での仕事や人間関係について
11. 事業や家業の経営上の問題について
12. その他（ )

問6 あなたは、奈良県は全体的に見て住みやすい県だと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものに1つだけ をつけてください。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. とても住みやすい  | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. とても住みにくい  |                  |

問7 あなたは、将来も奈良県に住みたいと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものに1つだけ をつけてください。

- |                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| 1. ずっと住みたい ----->               | 問9へお進みください |
| 2. 一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい -----> |            |
| 3. 住みたくない ----->                | 問8にお答えください |
| 4. わからない ----->                 |            |

問8 問7で、「3.住みたくない」または「4.わからない」に をつけられた方にお聞きします。  
そう思うのはどのような理由からでしょうか。あてはまるものに5つまで をつけてください。

1. 買物など日常の生活環境が整っていないから
2. 奈良県や身近な地域に愛着を感じないから
3. 通勤・通学に不便だから
4. 家賃など住居費が高いから
5. 教育環境が充実していないから
6. 身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから
7. 災害を防ぐための対策が不十分だから
8. 治安を守るための対策が不十分だから
9. 医療が充実していないから
10. 福祉サービスが充実していないから
11. 騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから
12. 緑などの自然環境がよくないから
13. その他( )

**あなたの生活に関する重要度・満足度についてお聞きします。**

問9 - 次の各項目は、あなたの今の、あるいは、これからの生活にとって、どのくらい重要なことですか。以下の1～31のひとつひとつの項目について、

「5 きわめて重要」「4 かなり重要」「3 どちらともいえない」

「2 さほど重要ではない」「1 まったく重要ではない」

の5つの区分の中で、あなたのお気持ちに最も近いものにそれぞれ1つだけをつけてください。

問9 - 次に、各項目について、それぞれがどの程度満たされているかをお答えください。

問9 - と同様に、以下の1～31のひとつひとつの項目について、

「5 十分満たされている」「4 かなり満たされている」「3 どちらともいえない」

「2 あまり満たされていない」「1 ほとんど満たされていない」

の5つの区分の中で、あなたのお気持ちに最も近いものにそれぞれ1つだけをつけてください。

以下に示す項目それぞれについて、  
「問9 - 重要度」から1つ、  
「問9 - 満足度」から1つ、  
あなたのお気持ちに最も近いものを選び、  
をつけてください。

問9 - 重要度					問9 - 満足度				
5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
きわめて重要	かなり重要	どちらともいえない	さほど重要ではない	まったく重要ではない	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない

【記入例】	重要度					満足度				
について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 品揃えの豊富な店が近くにあること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 文化遺産や史跡が大事にされること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

以下に示す項目それぞれについて、  
「問9 - 重要度」から1つ、  
「問9 - 満足度」から1つ、  
あなたのお気持ちに最も近いものを選び、をつけてください。

	問9 - 重要度					問9 - 満足度				
	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	きわめて重要	かなり重要	どちらかともいえない	さほど重要ではない	まったく重要ではない	十分満たされている	かなり満たされている	どちらかともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない
12 食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 急病時に診てもらえる医療機関があること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26 自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27 一人ひとりが普段の生活においてCO <sub>2</sub> 削減に取り組むこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28 ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29 失業の不安がなく働けること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30 県内で買いたいものが販売されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31 いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

．あなたのお仕事のことについてお聞きします。

問10 あなたのお仕事は何ですか。あてはまるものに1つだけ をつけてください。

- 1．農林漁業の自営業・家族従業員
- 2．商工・サービス業の自営業・家族従業員（卸売業・飲食業・製造加工業・建設業など）
- 3．その他自営業（開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など）
- 4．企業などの役員
- 5．正規の職員・従業員
- 6．契約社員・嘱託
- 7．派遣社員
- 8．パート・アルバイト（学生を除く）

→ 問11～問14にお答えください

- 9．家事専業・家事手伝い
- 10．無職

→ 問15へお進みください

- 11．学生

→ 問17へお進みください

- 12．その他（ )

問11～問14には、問10で「1．農林漁業の自営業・家族従業員」「2．商工・サービス業の自営業・家族従業員」「3．その他自営業」「4．企業などの役員」「5．正規の職員・従業員」「6．契約社員・嘱託」「7．派遣社員」「8．パート・アルバイト」のいずれかに をつけられた方にお聞きします。

問11 あなたのお勤め先の所在地はどこですか。あてはまるものに1つだけ をつけてください。

- 1．現在お住まいの市町村

→ 問13へお進みください

- 2．県内の他の市町村

- 3．県外

→ 問12にお答えください

問12 問11で、「3．県外」に をつけられた方にお聞きします。あなたが県外で働いている理由は何ですか。最も近いものに1つだけ をつけてください。

- 1．県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため
- 2．県外の企業のほうが賃金などの雇用の条件がよいため
- 3．県外の大都市などで働きたいため
- 4．交通の便がよく、通勤に便利だから
- 5．もともと県外で働いていて、県内に転居したため
- 6．その他（ )

問13 あなたが今のお仕事を選ばれた理由は何ですか。最も近いものに2つまで をつけてください。

1. 経営が安定した会社（官公庁）だから
2. 専門的な資格や技術、経験が活かせるから
3. 親族などから家業（農林漁業・商工業・会社役員など）を引き継いだから
4. 自ら起業したから
5. 収入がよいから
6. 扶養認定などのために、就業調整（収入や労働時間の調整）をしたいから
7. 自分の都合のよい時間に働けるから
8. 勤務する時間や日数が短いから
9. 通勤時間が短いから
10. 社会保険・住まいなどの福利厚生が充実しているから
11. 家庭の事情（家事・育児・介護等）と両立しやすいから
12. 簡単な仕事で責任も少ないから
13. 組織に縛られるのは嫌だから
14. 正社員として働ける会社が見つからなかったから
15. 体力的に正社員として働けないから
16. その他（ )

問14 あなたのお仕事についての満足度をお聞きします。以下の1～9のひとつひとつの項目について、あなたのお考えに最も近いものにそれぞれ1つだけ をつけてください。

	5 満足している	4 まあ満足している	3 どちらともいえない	2 やや不満である	1 不満である
1 就労形態（正規、非正規など）	5	4	3	2	1
2 収入額	5	4	3	2	1
3 労働時間	5	4	3	2	1
4 通勤時間	5	4	3	2	1
5 専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	5	4	3	2	1
6 仕事先の育児などへの支援制度	5	4	3	2	1
7 仕事先の介護などへの支援制度	5	4	3	2	1
8 職場の人間関係	5	4	3	2	1
9 現在の仕事全体について	5	4	3	2	1



問15には、問10で「9. 家事専業・家事手伝い」または「10. 無職」に をつけられた方にお聞きします。

問15 あなたは、現在仕事を探していますか。あてはまるものに 1つだけ をつけてください。

- 1. 仕事を探している -----> 問16にお答えください
- 2. 仕事を探していないが、将来働きたいと思っている -----
- 3. 仕事を探していないし、働く気はない -----> 問17へお進みください

問16 問15で、「1. 仕事を探している」または「2. 仕事を探していないが、将来働きたいと思っている」に をつけられた方にお聞きします。あなたは、働くための条件としてどのようなことを重視しますか。あなたのお考えに近いものに 2つまで をつけてください。

- 1. 正規職員・従業員として働ける
- 2. 希望の収入額が得られる
- 3. 働く時間の融通がききやすい
- 4. 通勤時間が短い
- 5. 専門的な資格や技術、経験が活かせる
- 6. 仕事先の育児などへの支援制度が整っている
- 7. 仕事先の介護などへの支援制度が整っている
- 8. 育児・介護などの社会的サポート（保育所や社会福祉施設など）が整っている
- 9. その他（ )

問17からは、すべての方がお答えください。

問17 あなたは、定年後のお仕事、それ以外の活動についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものに 2つまで をつけてください。なお、すでに定年を迎えられた方は、現在どのように過ごしていますか。最も近いものに 2つまで をつけてください。

- 1. 農林漁業・商業などの自営業をする（している）
- 2. 同じ会社で、再雇用制度を利用して働く（働いている）
- 3. 新しい仕事を見つけて、毎日、フルタイムで働く（働いている）
- 4. 1日に数時間・週に数日という具合で定期的に働く（働いている）
- 5. シルバー人材センターのようなところに登録し、要請があった時に働く（働いている）
- 6. 現在の仕事で得た知識や技能を活かした仕事や活動を自分でする（している）
- 7. NPO・ボランティア活動などに参加する（参加している）
- 8. 自分の自由な時間を過ごす（過ごしている）
- 9. その他（ )
- 10. わからない

問18 あなたは、現在のお仕事に就くための就職活動として、何を活用しましたか。また、現在働いていない方は、これから就職活動をするにあたり、何を活用しようと思いますか。あてはまるものに2つまで をつけてください。

1. 学校でのあっせん、新卒採用の就職面接会への参加など（在学中の就職活動）
2. 中途採用、既卒者向けの就職面接会
3. 親類や友人からの紹介
4. ハローワークなどの公的な職業紹介機関
5. 新聞や折り込みチラシなどの求人広告
6. 就職情報誌やフリーペーパーなど
7. インターネットの民間就職情報サイト
8. インターネットの公的な機関の就職支援サイト
9. 派遣会社への登録
10. 就職活動はしていない。または、就職活動をしようとは思わない
11. その他（ )
12. わからない

問19 あなたは雇用や仕事について、県が重点的に力を入れることは何だとお考えですか。あてはまるものに2つまで をつけてください。

1. 県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること
2. 企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること
3. 農林漁業や医療、福祉などの分野で不足している人材を確保すること
4. 育児についての社会的なサポート（保育所など）を充実させること
5. 介護についての社会的なサポート（社会福祉施設など）を充実させること
6. 育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること
7. 仕事に関する相談支援を充実させること
8. 能力の向上・資格取得するための支援を充実すること
9. インターンシップ制度（生徒や学生が仕事の体験をすること）などで、若者の職業観を育てること
10. その他（ )

まちづくりについてお聞きします。

問20 あなたが住んでいる地域の状況についてお聞きします。以下の1～20のひとつひとつの項目について、あなたのお考えに最も近いものにそれぞれ1つだけをつけてください。

	5 その 思う	4 やや その 思う	3 どちら とも いえ ない	2 あ まり 思 わ な い	1 思 わ な い
1 日用品の買物が便利である	5	4	3	2	1
2 ショッピングセンターで買い物を楽しむことができる	5	4	3	2	1
3 飲食店や娯楽施設が充実している	5	4	3	2	1
4 気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている	5	4	3	2	1
5 総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている	5	4	3	2	1
6 子どもを安心して育てるための施設が整っている	5	4	3	2	1
7 高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている	5	4	3	2	1
8 公園や緑地が整備されている	5	4	3	2	1
9 競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている	5	4	3	2	1
10 映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている	5	4	3	2	1
11 生活道路が整備されている	5	4	3	2	1
12 公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	5	4	3	2	1
13 高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる	5	4	3	2	1
14 ごみや下水が適正に処理されている	5	4	3	2	1
15 犯罪が少なく、治安がよい	5	4	3	2	1
16 地震や水害など災害に対する備えができています	5	4	3	2	1
17 親しみやすい水辺がある	5	4	3	2	1
18 街並みが美しい	5	4	3	2	1
19 歴史・文化遺産等が身近にある	5	4	3	2	1
20 自然環境が豊かである	5	4	3	2	1

問21 あなたがお住まいの地域で、特に充実してほしいと思う施設はどれですか。あてはまるものに2つまで をつけてください。

- 1 . 日常の買い物に便利な店舗や商店街
- 2 . 買い物を楽しめるショッピングセンター
- 3 . 飲食店や娯楽施設
- 4 . 気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所
- 5 . 総合病院など救急時の対応も可能な医療施設
- 6 . 社会福祉施設（子どもや高齢者、障害者の福祉を充実させるための施設）
- 7 . 緑地や公園、広場などの憩いの場
- 8 . スポーツやレクリエーションを楽しめる施設
- 9 . 映画館、美術館など文化・芸術に親しめる施設

問22 あなたは、どのような犯罪に不安を感じますか。特にあてはまるものに2つまで をつけてください。

- 1 . 子どもに対する声かけやつきまとい
- 2 . オレオレ詐欺等のいわゆる「振り込め詐欺」
- 3 . 女性に対する痴漢行為やストーカー
- 4 . 携帯電話やインターネットを利用した犯罪
- 5 . 少年による犯罪
- 6 . 路上でのすりやひったくり
- 7 . 空き巣、忍び込み等の侵入犯罪
- 8 . 殺人、強盗、放火等の凶悪事件

問23 あなたがお住まいの地域の安全を確保し、安心して生活できるようにするためには、どのような取組が必要だと思えますか。特にあてはまるものに2つまで をつけてください。

- 1 . 防犯灯や街路灯を増設する
- 2 . 自治体、警察、学校の連携強化
- 3 . 地域住民による防犯活動を行う
- 4 . 犯罪が発生しそうな箇所に防犯カメラを設置する
- 5 . 個人の防犯意識の高揚
- 6 . 住民によるパトロールのなどの自主防犯活動
- 7 . 児童・生徒への安全教育

問24 地域での防犯活動として、現在、あなたはどのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものに2つまで をつけてください。

1. 通学路の見守りや学校周辺のパトロール活動
2. 自主的なパトロール活動
3. 地域においての声かけ、あいさつ運動
4. 「こども110番の家」等の活動
5. 何も取り組んでいない

問25 警察による防犯の取組として、あなたが特に充実・強化してほしいと思うものは何ですか。あてはまるものに2つまで をつけてください。

1. 交番や警察署における相談活動
2. 警察官によるパトロールや検挙活動
3. 犯罪発生情報や防犯対策情報の提供
4. 少年の非行防止活動
5. 交通違反の取締活動

問26 地震や風水害、火災が起こったときのために、あなたは日頃からどのような備えをしていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 水、食料、救急医薬品などの防災用品の備蓄
2. 耐火金庫に貴重品などを保管
3. 家具などの転倒防止
4. 地域や学校・職場などで実施される防災訓練などへの参加
5. 住宅の耐震診断や耐震補強工事
6. 避難経路の確認
7. ブロック塀や門柱などの安全性の点検
8. ガラスの飛散防止
9. 消火器などの用意
10. 災害時における家族との連絡方法の確認
11. 地域での浸水の危険性などの確認
12. 土砂災害（土石流、地すべり、がけ崩れ）の危険箇所の確認
13. 特に備えはしていない

問27 あなたがお住まいの地域の生活環境は、以前に比べてどのようになったと思いますか。以下の1～5のひとつひとつの項目について、あなたのお考えに最も近いものに1つだけをつけてください。

	5 よくなった	4 どちらかといえば よくなった	3 どちらとも いえない	2 どちらかといえば 悪くなった	1 悪くなった
1 空気のきれいさ	5	4	3	2	1
2 川や池のきれいさ	5	4	3	2	1
3 周辺の静けさ	5	4	3	2	1
4 緑の豊かさ	5	4	3	2	1
5 景観の美しさ	5	4	3	2	1

問28 環境への配慮のために、あなたは日頃からどのようなことを心がけていますか。あてはまるものに5つまでをつけてください。

1. 不要な照明・テレビなどの電源を切る
2. ゴミの分別を徹底する
3. 冷暖房の設定温度を控えめにする
4. 水を流しばっなしにしない
5. リサイクル商品を優先的に購入する
6. 食用油などを下水や川に流さない
7. 買い物袋を持参する
8. 自家用車をできるだけ使わず、電車、バスや自転車を利用する
9. アイドリングストップ（車の停車中に、エンジンを止めること）を心がける
10. 太陽エネルギーを利用する（ソーラーシステム、温水器など）
11. その他（ )
12. 特に何もしていない

問29 あなたがお住まいの身近な地域で、景観を損ねていると感じるものはどのようなものですか。特にあてはまるものに3つまでをつけてください。

1. 広告・看板
2. 自動販売機
3. 電柱・電話柱・電線
4. 交通標識や案内標識
5. 建物や工作物の色やデザイン
6. 不法投棄
7. 耕作放棄地
8. 山林の荒廃
9. ゴミやタバコのポイ捨て
10. ペットや鳥の排泄物
11. その他（ )

問30 美しい景観を引き続き守るために、行政は、今後どのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。あなたのお考えに最も近いものに1つだけをつけてください。

1. 景観を損なう建物や広告物などを指導・規制する
2. 地域住民や団体などの行う取組を活性化する
3. 景観を守ることにについて住民一人ひとりの意識を向上させる
4. 景観に配慮した公共施設（橋など）の整備を推進する
5. 道路沿いの草刈りなど公共施設の維持管理を推進する
6. 古い街なみを保存する
7. その他（ )

**最後に、あなたご自身のことやご家族のことについてお聞きします。**

これまでお聞きしたこととあわせて、統計としてまとめるために必要な項目ですので、ぜひお答えいただきますようお願いいたします。

問31 あなたの性別に をつけてください。

1. 男性
2. 女性

問32 あなたは何歳ですか。あてはまるものに1つだけをつけてください。

- |           |            |           |           |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳  | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳  | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70歳以上 |           |

問33 あなたはご結婚されていますか。あてはまるものに1つだけをつけてください。

1. 未婚
2. 既婚
3. 離婚・死別

問34 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。あてはまるものに1つだけをつけてください。

1. 単身（あなた1人）
2. 夫婦のみ
3. 2世代家族（親子家庭）
4. 3世代家族（親子孫家庭）
5. その他（ )

問35 あなたに就学前あるいは就学している子どもさんがいらっしゃる場合、子どもさんの成長段階についてあてはまるものすべてに をつけてください。

- |           |                      |
|-----------|----------------------|
| 1. 3歳以下   | 2. 4歳以上で小学校入学前       |
| 3. 小学生    | 4. 中学生               |
| 5. 高校生    | 6. 専門学校生・短大生・大学生(院生) |
| 7. その他( ) |                      |

問36 あなたがお住まいの地域を次のように分けるとどれに近いですか。最もあてはまると思うものに1つだけ をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 商業地域(商業施設や公共施設等がある街の中心部)             |
| 2. 住宅地域(街の中心部や駅に近いところ)                  |
| 3. 郊外の住宅地域(街の中心部や駅へは、自動車・バス等を利用して行くところ) |
| 4. 農村地域                                 |
| 5. 山間地域                                 |
| 6. その他( )                               |

問37 あなたがお住まいの市町村はどこですか。( )内に市町村名をご記入ください。

( ) 市・町・村

問38 あなたは、県政に関する情報を何から入手することが多いですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 県民だより奈良(県広報誌) | 2. テレビの広報番組 |
| 3. 新聞            | 4. 県のホームページ |
| 5. 市町村の広報誌       | 6. その他( )   |

質問は以上で終わりです。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

ご回答が済みましたら、調査票を同封の返信用封筒に入れて、平成21年6月8日(月)までにお近くの郵便ポストに投函していただきますようよろしくお願いいたします(切手は不要です)。



平城遷都1300年祭 公式マスコットキャラクター せんとかん



---

---

平成21年度  
県民アンケート調査  
報告書

平成21年10月

奈良県総務部知事公室統計課  
〒630-8501 奈良市登大路町30番地  
電話 0742-27-8439

---

---